

2008(平成 20)年度

# 自己点検・評価報告書

武庫川女子大学短期大学部

## 目 次

＜武庫川女子大学短期大学部の特色＞	1
＜評価領域Ⅰ＞ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	7
＜評価領域Ⅱ＞ 教育の内容	12
＜評価領域Ⅲ＞ 教育の実施体制	31
＜評価領域Ⅳ＞ 教育目標の達成度と教育の効果	42
＜評価領域Ⅴ＞ 学生支援	65
＜評価領域Ⅵ＞ 研 究	85
＜評価領域Ⅶ＞ 社会的活動	91
＜評価領域Ⅷ＞ 管 理 運 営	96
＜評価領域Ⅸ＞ 財 務	109
＜評価領域Ⅹ＞ 改革・改善	116
＜将来計画の策定＞	119

## < \*武庫川女子大学短期大学部の特色>

(1) 短期大学を設置する学校法人(以下「法人」という。)の沿革(概要)及び短期大学の沿革(概要)

### ① 法人の沿革

昭和 14 年 2 月、公江喜市郎によって財団法人武庫川学院を武庫川の河畔に創設。同年 4 月に武庫川高等女学校を開校。学制改革により、昭和 22 年に武庫川学院中学校(現武庫川女子大学附属中学校)、翌 23 年に武庫川学院高等学校(現武庫川女子大学附属高等学校)を開校。昭和 24 年に武庫川学院女子大学(現武庫川女子大学)、翌 25 年に武庫川学院女子短期大学(現武庫川女子大学短期大学部)を開学。昭和 26 年 3 月、財団法人武庫川学院から学校法人武庫川学院に組織変更。昭和 41 年に大学院を開設、昭和 54 年に附属幼稚園開園、昭和 60 年に大学専攻科を設置、平成 2 年に米国ワシントン州スポケーン市にムコガワ・フォート・ライト・インスティテュート(以下「MFWI」という)を設立。

\*MFWI(Mukogawa Fort Wright Institute)は本学のアメリカ分校で、アメリカ合衆国ワシントン州スポケーン市にある(スポケーン市は、本学のある西宮市の姉妹都市)。MFWI での留学プログラムには、英語コミュニケーション学科と大学英語文化学科の学生対象(各 4 ヶ月)のものと、他学科の希望者を対象(1 ヶ月)にしたものがあり、毎年 500 人以上の学生が留学している。MFWI には、日本文化を紹介する「日本文化センター」を設置し、日本の衣食住に関する図書やビデオをはじめ、民芸品などの展示を行うほか、催し物や文化講座等も開催し、地域との草の根交流を行っている。

### ② 当該短期大学の沿革

昭和 25 年(1950) 4 月	武庫川学院女子短期大学(英文科・被服科各第一部・第二部)開学
昭和 26 年(1951) 4 月	国文科・教育科・家政科(家政専攻・被服専攻)の各第一部・第二部増設(被服科を家政科被服専攻に改組)
昭和 30 年(1955) 4 月	音楽科・体育科・被服科増設(家政科家政専攻を家政科に、家政科被服専攻を被服科に改組)教育科を初等教育科に改称
昭和 33 年(1958) 4 月	武庫川学院女子短期大学を武庫川女子短期大学に改称
昭和 34 年(1959) 4 月	音楽科廃止
昭和 58 年(1983) 4 月	英文科第二部・被服科第二部廃止
昭和 60 年(1985) 4 月	武庫川女子短期大学を武庫川女子大学短期大学部に改称
昭和 62 年(1987) 4 月	人間関係科増設
昭和 63 年(1988) 4 月	初等教育科を初等教育専攻と幼児教育専攻に専攻分離し、児童教育科に改称
平成元年 (1989) 4 月	各科を国文学科・英語学科・児童教育学科・人間関係学科・体育学科・食生活学科・生活造形学科に改称
平成 4 年 (1992) 4 月	国文学科第二部・児童教育学科第二部・食生活学科第二部廃止
平成 9 年 (1997) 4 月	児童教育学科の専攻課程を廃止し、幼児教育学科に改称
平成 12 年(2000) 4 月	国文学科を日本語文化学科、英語学科を英語コミュニケーション学科、体育学科を健康・スポーツ学科に改称



### ③ 周囲の状況

本学が所在する西宮市は、兵庫県の東南部、大阪湾北部沿岸に臨み、東は武庫川・仁川を境に尼崎・宝塚両市に、西は芦屋市に、北は六甲山地北部で神戸市にそれぞれ接し、阪神地域の中央部に位置している。昭和 38 年に文教住宅都市を宣言。市内に 10 の私立大学・短大が設置されているほか、甲子園球場や酒造についても全国的に有名な地域である。平成 20 年 4 月 1 日には中核市に移行し、市民サービスの充実、よりよいまちづくりが進められている。

面積・世帯数・人口(平成 20 年 5 月 1 日)

面積	100.18km <sup>2</sup>
人口	477,844 人 (男 226,522 人、女 251,322 人)
世帯数	201,997 世帯

教育施設設置数(平成 20 年 5 月 1 日)

	私立	市立	県立	計
幼稚園	40	22		62
小学校	2	42		44
中学校	8	20		28
高等学校	8	2	7	17
短期大学	4			4
大学	6			6
合計	68	86	7	161

産 業 (平成 17 年国勢調査より)

区 分		総数	構成比	男	女
第1次産業	農業	691	0.3	457	234
	林業	7	0.0	7	-
	漁業	5	0.0	4	1
	計	703	0.3	468	235
第2次産業	鉱業	9	0.0	9	-
	建設業	14,005	6.6	12,131	1,874
	製造業	28,987	13.7	21,483	7,504
	計	43,001	20.3	33,623	9,378
第3次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	1,440	0.7	1,288	152
	情報通信業	7,236	3.4	5,501	1,735
	運輸業	11,427	5.4	9,212	2,215
	卸売・小売業	42,776	20.1	22,855	19,921
	金融・保険業	9,104	4.3	5,634	3,470
	不動産業	5,832	2.8	3,773	2,059
	飲食店・宿泊業	10,722	5.1	4,673	6,049
	医療・福祉	19,837	9.3	5,295	14,542
	教育・学習支援業	12,488	5.9	5,203	7,285
	複合サービス業	1,304	0.6	864	440
	サービス業(他に分類されないもの)	34,223	16.1	19,360	14,863
	公務	6,040	2.8	3,903	2,137
	計	162,429	76.5	87,561	74,868
分類不能	6,241	2.9	3,575	2,666	

上表のデータは、西宮市ホームページ(<http://www.nishi.or.jp/>)より引用

(3) 法人理事長、学長の氏名、連絡先及びその略歴、ALOの氏名、連絡先及びその略歴。なお、連絡先としては、TEL、FAX、E-Mail等を記載して下さい。

理事長 大河原 量 連絡先:(TEL:0798-45-3511, FAX:0798-45-3560)

略	歴
昭和 42 年 3 月	慶応義塾大学商学部卒業
昭和 59 年 5 月	学校法人武庫川学院監事(昭和 60 年3月 31 日迄)
昭和 60 年 4 月	学校法人武庫川学院理事・評議員(現在に至る)
	学校法人武庫川学院事務局長(平成 13 年9月1日迄)
平成 7 年 4 月	学校法人武庫川学院専務理事(平成 12 年5月 31 日迄)
平成 12 年 6 月	学校法人武庫川学院副理事長(平成 13 年9月1日迄)
平成 13 年 9 月	学校法人武庫川学院理事長(現在に至る)
	武庫川学院長(現在に至る)
平成 13 年 11 月	ムコガワ・フォート・ライト・インスティテュート理事長(現在に至る)
	ムコガワ・フォート・ライト・インスティテュート学長(現在に至る)

学 長 糸魚川 直祐 連絡先:(TEL:0798-45-3511, FAX:0798-45-3560)

E-Mail:itoigawa@mukogawa-u.ac.jp)

略	歴
昭和 32 年 3 月	大阪大学文学部哲学科卒業
昭和 34 年 3 月	大阪大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了
昭和 39 年 3 月	大阪大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程修了
平成 10 年 4 月	武庫川女子大学文学部教授・武庫川女子大学短期大学部教授 (現在に至る)
平成 13 年 4 月	武庫川女子大学文学部長(平成 20 年3月 31 日迄)
	武庫川女子大学大学院文学研究科長(平成 20 年3月 31 日迄)
	学校法人武庫川学院評議員(現在に至る)
平成 18 年 4 月	学校法人武庫川学院理事(現在に至る)
平成 20 年 4 月	武庫川女子大学学長・武庫川女子大学短期大学部学長(現在に至る)

ALO 共通教育科 教授 清水 良次 連絡先:(TEL・FAX:0798-45-9903)

E-Mail:shimizur@mukogawa-u.ac.jp)

略	歴
昭和 35 年 3 月	東京大学法学部卒業
平成 9 年 4 月	武庫川女子大学短期大学部・武庫川女子大学文学部教授(平成 10 年 3 月 31 日迄)
平成 10 年 4 月	武庫川女子大学共通教育部・武庫川女子大学短期大学部教授(現在 に至る)
	武庫川女子大学共通教育部長(現在に至る)
	学校法人武庫川学院評議員(現在に至る)
平成 17 年 4 月	武庫川女子大学附属図書館長(現在に至る)

(4)平成14年度から20年度までの学科・専攻ごとの入学定員、収容定員、在籍者数、定員充足率の表を作成(例あり)。廃止、募集停止等の学科を含む該当する期間内に設置された全ての学科について作成して下さい。なお、在籍者数は毎年度5月1日時点とします。

平成14年度～20年度の設置学科、入学定員等

学科名		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	備考
日本語文化学科	入学定員	100	100	100	100	100	100	100	
	収容定員	260	200	200	200	200	200	200	
	在籍者数	308	263	254	248	222	229	237	
	充足率(%)	118	132	127	124	111	115	119	
英語コミュニケーション学科	入学定員	100	100	100	100	100	100	100	
	収容定員	300	200	200	200	200	200	200	
	在籍者数	340	263	278	264	217	205	245	
	充足率(%)	113	132	139	132	109	103	123	
幼児教育学科	入学定員	150	150	150	150	150	150	150	
	収容定員	300	300	300	300	300	300	300	
	在籍者数	391	351	348	363	342	318	321	
	充足率(%)	130	117	116	121	114	106	107	
人間関係学科	入学定員	100	100	100	100	100	100	100	
	収容定員	300	200	200	200	200	200	200	
	在籍者数	375	246	259	252	217	225	245	
	充足率(%)	125	123	130	126	109	113	123	
健康・スポーツ学科	入学定員	80	80	80	80	80	80	80	
	収容定員	160	160	160	160	160	160	160	
	在籍者数	213	213	237	201	167	177	188	
	充足率(%)	133	133	148	126	104	111	118	
食生活学科	入学定員	180	180	180	180	160	160	160	
	収容定員	420	360	360	360	340	320	320	
	在籍者数	448	385	407	388	353	363	360	
	充足率(%)	107	107	113	108	104	113	113	
生活造形学科	入学定員	180	180	180	180	180	180	180	
	収容定員	360	360	360	360	360	360	360	
	在籍者数	466	430	459	436	412	404	371	
	充足率(%)	129	119	128	121	114	112	103	

(5)平成17年～19年度に入学した学生の出身地別人数及び割合(10程度の区分)の表を毎年度5月1日時点で作成。なお、短期大学の実態に沿って地域を区分して下さい。

地域	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	地域別人数(割合)	地域別人数(割合)	地域別人数(割合)
兵庫県	400 (43.8%)	389 (43.0%)	368 (39.4%)
大阪府	269 (29.5%)	262 (29.0%)	285 (30.5%)
奈良県	48 (5.3%)	49 (5.4%)	61 (6.5%)
和歌山県	31 (3.4%)	27 (3.0%)	30 (3.2%)
京都府	23 (2.5%)	27 (3.0%)	26 (2.8%)
滋賀県	9 (1.0%)	7 (0.8%)	14 (1.5%)
三重県	6 (0.7%)	6 (0.7%)	3 (0.3%)
北海道・東北	4 (0.4%)	6 (0.7%)	6 (0.6%)
関東	6 (0.7%)	3 (0.3%)	2 (0.2%)
中部	19 (2.1%)	25 (2.8%)	26 (2.8%)
中国	45 (4.9%)	55 (6.1%)	50 (5.3%)
四国	44 (4.8%)	41 (4.5%)	54 (5.8%)
九州	8 (0.9%)	6 (0.7%)	6 (0.6%)
その他	1 (0.1%)	2 (0.2%)	4 (0.4%)
計	913 (100.0%)	905 (100.0%)	935 (100.0%)

(6)法人が設置する他の教育機関の所在地、入学定員、収容定員とそれぞれの在籍者数の表を平成20年5月1日時点で作成して下さい。

教育機関名	所在地	入学定員	収容定員	在籍者数
武庫川女子大学大学院	兵庫県西宮市池開町6-46	151	323	215
武庫川女子大学	兵庫県西宮市池開町6-46	1,675	6,879	8,097
武庫川女子大学専攻科	兵庫県西宮市池開町6-46	25	25	8
武庫川女子大学附属高等学校	兵庫県西宮市枝川町4-16	800	2,400	1,305
武庫川女子大学附属中学校	兵庫県西宮市枝川町4-16	400	1,200	1,132
武庫川女子大学附属幼稚園	兵庫県西宮市池開町10-3	—	105	114

注:附属高等学校は現在、募集定員は500人、実収容定員は1,500人である。

(7)その他・・・評価員が誤解しないように事前に知ってもらいたい事項や事情があれば、記述して下さい。

特になし

## ＜ I 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標＞

### 【建学の精神、教育理念について】

(1) 建学の精神・教育理念を記述し、その意味するところ及び建学の精神・教育理念が生まれた事情や背景をできるだけ簡潔に記述して下さい。

#### 立学の精神

本学院の教育は、建国の理想に遵い、平和的な国家及び社会の形成者として、高い知性と善美な情操と高雅な徳性とを兼ね具えた有為な女性を育成するにある。特に女子総合学院の特質に鑑み、一貫教育の方針を堅持し、わが国女性の伝統的美風を尊重して、その民族的使命を自覚するとともに、個性豊かな文化を創造して、新日本の建設に貢献し得るべき女性の養成を期し、その使命達成のために学園を挙げてその力を致す。

#### 学院教育綱領

- ・ 真理を愛し、合理的に思考し、処理する能力を啓培する。
- ・ 信義と礼節を辨え、貞潔にして愛情豊かな女性を養成する。
- ・ 義務と責任を重んじ自律的に行動する態度を確立する。
- ・ 敬愛と協同の精神を養い、国家社会の興隆と民族の福祉に貢献する徳性を練磨する。
- ・ 勤労を愛好し、強靱な体力を増進し、実践躬行の精神を涵養する。

校祖公江喜市郎は、兵庫県首席視学であった 1931(昭和 6)年に欧米先進諸国の教育事情視察のなかで、英国のイートンやラグビー校、オックスフォードやケンブリッジ大学等において、伝統的な学風のなかで培われる人格陶冶に大きな感銘を受けた。帰国後もその感銘は愈々忘れ難いものとなり、官職を辞して、理想の私学の建設を志し、女子教育の重要性に鑑み、健全有為な女性を育成することを決意した。

立学の精神は、設置する全ての学校園の教育活動を包含するもので、聡明にして叡知に富み、深い愛情と豊かな情操を湛えた日本女性の育成を目指す教育理想であり、さらに学院教育綱領はその健全性・誠実性を保つ指針となっている。

◇添付資料(1)「スチューデントガイド 2008-For Academic Studies-」

(2) 現在は建学の精神・教育理念をどのような形や方法で学生や教職員に知らせているかを記述して下さい。

- ・ キャンパスガイド、ホームページで公開。
- ・ スチューデントガイド、履修便覧、シラバス等の出版物に掲載。
- ・ 新入生オリエンテーションにおいて、学長から精神、綱領を講話。
- ・ 1年次に全学科で開講する「初期演習(必修)」において、精神や綱領の理解を深める授業を担当によって展開。
- ・ 新採用教職員オリエンテーションにおいて、理事長から精神、綱領を講話。
- ・ 教務手帳に精神、綱領を印刷し、専任・非常勤教員全員に配布。
- ・ 就任 1 年目教員研修(FD)において、学長から再度 精神、綱領を説明。

- ・ 全ての講義室、実験実習室、研究室、図書館、事務室等の部屋に精神、綱領を掲示。
- ・ 5月25日の学院創立記念式典で、教職員全員と学生の代表が一同に集い、学院の歴史を回顧し、精神の継承、今後の決意を誓い、教職員・学生代表で校祖の墓前報告を実施。
- ・ 10月6日の「校祖の日」に、学院が辿ってきた歩みと創立者の想いを纏めた冊子を学生・教職員に配布。同日に、校祖の墓前に参拝。
- ・ 公江記念館 3階のメモリアルアトリウムに学院の歴史や校祖の偉業を顕彰する「校祖室」や講堂地階にも学院史料室を設け、精神、綱領、沿革、施設模型、写真等を展示。

◇添付資料(1)「スチューデントガイド 2008-For Academic Studies-」

◆参考資料(1)「校祖の日」配布資料

### 【教育目的、教育目標について】

(1)多くの短期大学が複数の学科・専攻(専攻科含む。以下「学科等」という。)を設置しています。その場合、それぞれの学科等では建学の精神や教育理念から導き出された、より具体的な教育目的や教育目標を掲げているものと思います。(例えば、学科・専攻の設置認可の際に「設置の趣旨」等で示されたもの等)。ここでは、それぞれの学科等が設定している具体的な教育目的や教育目標を記述して下さい。

#### ① 日本語文化学科

日本語日本文学とその関連分野(書道、情報等)の教育を通じて、人材の育成に努め、社会に貢献できる有為な女性を養成することを目的とする。

#### ② 英語コミュニケーション学科

実用的な英語の修得を通して、英語コミュニケーション能力と国際感覚を有する実務型の有為な女性を養成することを目的とする。

#### ③ 幼児教育学科

人間性豊かな創造的能力を持ったより資質の高い幼稚園教諭、保育士などを養成することを目的とする。

#### ④ 人間関係学科

キャリアデザインに重点を置き、情報・ビジネス・英語・レクリエーションの各分野における理論と実践的能力を涵養し、あわせて心理マインド・福祉マインドを発揮できる有為な女性を養成することを目的とする。

#### ⑤ 健康・スポーツ学科

科学的に裏づけされた体育・スポーツの実践を行い、心身の健康ならびに体力の保持増進について、指導的役割を担う有為な女性を養成することを目的とする。

#### ⑥ 食生活学科

食生活を食物科学、栄養科学、健康科学を中心として多方面から捉え、健康で豊かに暮らせる食生活を指導できる栄養士を養成することを目的とする。

#### ⑦ 生活造形学科

生活を形作る「衣」と「住」に関する基礎的な事柄を学ぶとともに、専門的な学習を通して創造性と感性を磨くことにより、生活者の視点に立ち幅広く活躍できる有為な女性を養成するこ

とを目的とする。

◇添付資料(3)「武庫川女子大学短期大学部 学則」

(2)それぞれの学科等の教育目的や教育目標を、現在ではどのような方法で学生や教職員に周知しているかを記述して下さい。

学則での規定、ホームページでの公開のほか、学生に対しては入学時のガイダンスにおいて、教職員に対しては広報誌(武庫川学院報)を通して周知を図っている。

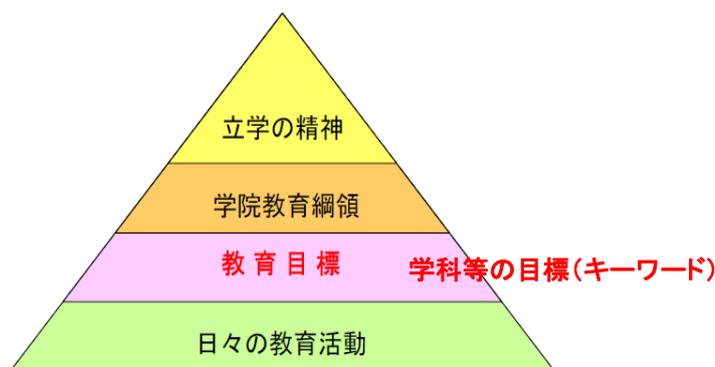
◇添付資料(1)「スチューデントガイド 2008-For Academic Studies-」

◆参考資料(2)「教育目標と教育目的」(武庫川学院報第 336 号より抜粋)

### 【定期的な点検等について】

(1)建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目的や教育目標の点検が、定期的に行われている場合はその概要を記述して下さい。また点検を行う組織、手続き等についても記述して下さい。

平成 19 年 1 月開催の常任理事会で、今後は学院の具体的な方針を示し、それに沿って各部門が計画を立案できるようにすべきとの提案がなされ、「立学の精神」や「学院教育綱領」に込められた理念・目標を受けて、日々の教育研究等の諸活動を出来るだけ客観的に評価できる指標となるもの、またそれらにうたわれているもののうち、現在或いはこれからの時代において伸張すべきものや改善すべきものなど、特に力を入れて取り組まねばならない具体的な内容を策定する「教育目標ワーキングチーム」を編成し、教育改革推進委員会や評議会等での意見を聴取しながら、平成 20 年 3 月の理事会において「教育目標」を制定した。併せて、設置する学校園・学部学科等のレベルで今後 5～7 年の間で養成しようとする人材や教育に力点を置こうとする具体的な目標の「学科等の目標(キーワード)」についても確認している。



【学院、設置する学校園の理念・目的の概念図】

## 武庫川学院の教育目標

### 社会に貢献できる女性の育成

本学院では、「立学の精神」にうたわれる高い知性、善美な情操、高雅な徳性を兼ね備えた有為な女性の育成を理念に掲げ、幅広い教養と豊かな人間性を育む全人教育を実践し人・家庭・社会に貢献できる女性の育成を目指しています。

- ・ 常に真理を追い求める、すぐれた知性 “高い知性”

自ら課題を見つけることができ、自主的・積極的に勉学する態度や習慣、考える力を身につけた、常に真理を追い求める知性。

- ・ 感性豊かな、潤いのある心 “善美な情操”

感動を覚える素直で広い心。人の心に潤いと和やかさをもたらすことのできる、深い教養に裏付けられた気品のある豊かな心。

- ・ 人を思いやり、人のために尽くす精神 “高雅な徳性”

人を思いやり、人のために尽くすまごころ。人の立場に立って物事を考えることができる、高い倫理観に支えられた規律ある実践力を発揮する精神。

### 各学科の目標(キーワード)

学 科	キ ー ワ ー ド				
	基礎的学力	教養	学習意欲	知的関心	実学
日本語文化	基礎的学力	教養	学習意欲	知的関心	実学
英語コミュニケーション	語学運用力	コミュニケーション力	実学	ITリテラシー	異文化理解
幼児教育	豊かな心	思いやり	地域社会	実践力	職業人
人間関係	総合的知識	教養	自己実現	社会貢献	職業観
健康・スポーツ	実践力	科学性	指導的役割	資格	教養
食生活	人間性	自立性	実践力	コミュニケーション力	共生能力
生活造形	創造力	豊かな感性	実践力	環境	探究心

(2) 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目的や教育目標の点検及びそれらを学生や教職員に周知する施策等の実施について、理事会または短期大学教授会がどのように関与しているかを記述して下さい。

上述のとおり、ホームページや各種印刷物に掲載し周知を図っているが、これらは常任理事会が中心に学内の各種委員会や評議会等での検討を踏まえ、決定している。

### 【特記事項について】

(1) この《I 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標について努力していることがあれば記述して下さい。また、短期大学で独自の使い方や別の語句を使っている場合はその旨記述して下さい。

特になし

(2) 特別な事由や事情があり、評価項目や評価の観点を求めることが実現(達成)できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

## <Ⅱ 教育の内容>

### 【教育課程について】

(1) 学科等の現在の教育課程表(平成20年5月1日現在)を作成して下さい(例あり)。なお学科等に複数の履修コースを設定し、学生に別の教育課程表として提示している場合はコースごとに記載して下さい。(平成20年度に学科改組等を行った場合は、平成19度の教育課程表を別途作成し、巻末に綴じて下さい。)

#### 共通教育 教育課程

(平成20年5月1日現在)

科目の種類	授業科目名	授業形態			単位			教員配置		前年度の履修人員(クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任		
共通教育	神話・伝説の世界から	○				2			○	92 (6)	
共通教育	「心中天網島」の女房「おさん」	○				2			○	4 (1)	
共通教育	むかしの大阪	○				2		○	○		
共通教育	漢詩で読む中国紀行	○				2		○	○	4 (1)	
共通教育	現代日本と戦争と平和	○				2			○	17 (4)	
共通教育	韓流ブーム	○				2		○	○		
共通教育	中国四千年の知恵を現代に生かす	○				2		○	○	2 (1)	
共通教育	合唱・合奏のための指揮法	○				2			○	2 (1)	
共通教育	感性の書	○				2		○	○	38 (2)	
共通教育	日本舞踊	○				2			○	24 (4)	
共通教育	ポップ・コミュニケーション	○				2			○		
共通教育	若者とメディア文化	○				2			○		
共通教育	生活文化史(食生活を中心に)	○				2			○	10 (1)	
共通教育	映像で学ぶ西洋服飾史	○				2		○	○		
共通教育	自分を変える話し方	○				2		○		41 (2)	
共通教育	子どもと家庭	○				2			○	33 (2)	
共通教育	社会へのパスポート	○				2			○	9 (1)	
共通教育	スポーツと栄養	○				2			○	34 (2)	
共通教育	カウンセリングスキル	○				2			○	20 (2)	
共通教育	実践カウンセリング	○				2			○	22 (2)	
共通教育	知と学びの心理学	○				2		○	○		
共通教育	福祉レクリエーションの実践	○				2			○	8 (1)	
共通教育	家族のゆくえ	○				2			○	59 (2)	
共通教育	「ふつう」を考える	○				2			○	65 (2)	
共通教育	調理と健康	○				2			○	107 (4)	
共通教育	ジャストウエイトのための食事学	○				2		○		56 (2)	
共通教育	服飾からみた生活文化	○				2		○	○	19 (1)	
共通教育	女性のためのライフプランニング	○				2			○	54 (2)	
共通教育	すぐに役立つマナー入門	○				2		○	○		
共通教育	台所空間と生活文化	○				2		○	○	8 (1)	
共通教育	日本国憲法	○				2			○	123 (2)	
共通教育	ジェンダー問題を考える	○				2			○	14 (1)	
共通教育	女性学のフロンティア	○				2			○	18 (1)	
共通教育	現代用語を理解する	○				2			○	26 (2)	
共通教育	国際航空とツーリズム	○				2		○	○		
共通教育	CSビジネスコミュニケーション	○				2		○	○		
共通教育	観光とサービス	○				2		○	○		
共通教育	悪質商法から身を守る法	○				2			○	38 (2)	
共通教育	「ゆかた」づくりに挑戦	○		○		2			○	24 (2)	
共通教育	理科を楽しむ	○				2		○	○		
共通教育	健康と環境の医科学	○				2			○	2 (1)	
共通教育	精神分析―心の深層を知る―	○				2			○	13 (1)	
共通教育	英会話入門		○			2					
共通教育	英会話基礎		○			2					
共通教育	英会話発展		○			2					
共通教育	TOEIC英語		○			2			○	17 (4)	
共通教育	特別英語演習Ⅰ		○			4				8 (2)	
共通教育	特別英語演習Ⅱ		○			4				(2)	
共通教育	TOEIC入門		○			2		○		14 (2)	
共通教育	ドイツ語Ⅰ		○			2			○	5 (2)	
共通教育	ドイツ語Ⅱ		○			2			○	1 (1)	
共通教育	フランス語Ⅰ		○			2			2	9 (3)	
共通教育	中国語Ⅰ		○			2		○	○	15 (1)	
共通教育	特別ハンゲル演習Ⅰ		○			4				(1)	
共通教育	スポーツ実技(バレーボール)			○		1			○	76 (4)	
共通教育	スポーツ実技(水泳)			○		1		○	○	4 (1)	
共通教育	スポーツ実技(運動あそび)			○		1			○	44 (4)	

日本語文化学科 教育課程

(平成20年5月1日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
基礎・専門	漢字表記の実際	○				1				○	60 (1)	
基礎・専門	近現代文学講読A		○			1		○		○	28 (1)	
基礎・専門	近現代文学講読B		○			1		○		○	21 (1)	
基礎・専門	近代語の世界A	○				2		○		○	57 (2)	
基礎・専門	近代語の世界B	○				2		○		○	38 (2)	
基礎・専門	現代語の世界ⅡA	○				2				○	59 (2)	
基礎・専門	現代語の世界ⅡB	○				2				○	20 (1)	
基礎・専門	古代語の世界A	○				2				○	40 (1)	
基礎・専門	古代語の世界B	○				2				○	28 (1)	
基礎・専門	古典文学講読A		○			1				3	61 (3)	
基礎・専門	古典文学講読B		○			1				3	49 (3)	
基礎・専門	実用書道A		○			2				2	70 (2)	
基礎・専門	実用書道B		○			2				2	69 (2)	
基礎・専門	実用文の実際	○				1				○	42 (2)	
基礎・専門	手話言語の実際A	○				1				○	46 (2)	
基礎・専門	手話言語の実際B	○				1				○	25 (2)	
基礎・専門	初期演習		○		2			2			119 (2)	
基礎・専門	書の美の世界A	○				2				○	20 (1)	
基礎・専門	書の美の世界B	○				2				○	15 (1)	
基礎・専門	書道ⅠA		○			2		○		○	67 (2)	
基礎・専門	書道ⅠB		○			2		○		○	89 (2)	
基礎・専門	書道ⅡA		○			2		○		○	63 (2)	
基礎・専門	書道ⅡB		○			2		○		○	56 (2)	
基礎・専門	情報活用の応用Ⅰ		○			2					65 (2)	
基礎・専門	情報活用の応用Ⅱ		○			2				○	50 (2)	
基礎・専門	情報活用の基礎		○		2						123 (2)	
基礎・専門	中国文学入門A	○				2		○		○	55 (2)	
基礎・専門	中国文学入門B	○				2		○		○	44 (2)	
基礎・専門	日本の敬語	○				2		○		○	98 (2)	
基礎・専門	日本の方言	○				2				○	81 (1)	
基礎・専門	日本語学入門A	○			2			○		○	122 (2)	
基礎・専門	日本語学入門B	○			2			○		○	120 (2)	
基礎・専門	日本文学と中国文学A	○				2				○	5 (1)	
基礎・専門	日本文学と中国文学B	○				2				○	5 (1)	
基礎・専門	日本文学入門A	○			2					2	127 (2)	
基礎・専門	日本文学入門B	○			2					2	130 (2)	
基礎・専門	文学実地研究A	○				1		○		○	47 (2)	
基礎・専門	文学実地研究B	○				1		○		○	47 (2)	
基礎・専門	文章表現法	○				2				○	90 (1)	
基礎・専門	英語会話Ⅰ		○		2							
基礎・専門	英語会話Ⅱ		○		2							
基礎・専門	現代語の世界A	○				2		○		○		
基礎・専門	現代語の世界B	○				2				2		
基礎・専門	話し方の実際	○				1				○		

英語コミュニケーション学科 教育課程

(平成20年5月1日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
基礎・専門	情報活用の基礎		○		2						105 (2)	
基礎・専門	TOEIC・検定英語演習A		○			1				2	63 (2)	
基礎・専門	TOEIC・検定英語演習B		○			1		○			46 (1)	
基礎・専門	TOEIC演習		○			1				2	103 (2)	
基礎・専門	アメリカの社会	○				4					101 (1)	
基礎・専門	アメリカの文化	○				4					101 (1)	
基礎・専門	アメリカの文学	○				4					101 (1)	
基礎・専門	キャリア・イングリッシュ		○			2				○	42 (2)	
基礎・専門	コミュニケーション・グラマーⅠ		○		2			○		○	112 (2)	
基礎・専門	コミュニケーション・グラマーⅡ		○		2			○			5 (1)	
基礎・専門	コンプリヘンシヴ リーディング		○			3					101 (1)	
基礎・専門	ライティング		○			2				○	3 (1)	
基礎・専門	リーディング		○			1				○	3 (1)	
基礎・専門	リスニング		○			1		○			3 (1)	
基礎・専門	英語の発音		○		2			2			107 (2)	
基礎・専門	英語の歴史と文化	○				2				○	24 (1)	
基礎・専門	英語国際事情Ⅰ		○			2		○		○	48 (2)	
基礎・専門	英語国際事情Ⅱ		○			2		○			3 (1)	
基礎・専門	英米文学鑑賞		○			2		○			54 (1)	
基礎・専門	基礎ライティング		○			2				4	86 (4)	
基礎・専門	基礎リーディング		○			1				4	80 (4)	
基礎・専門	基礎リスニング		○		1			○		2	104 (2)	
基礎・専門	検定英語演習		○			1				○	3 (1)	
基礎・専門	現代の企業実務	○				2				4	7 (1)	
基礎・専門	現代の国際社会	○				2		○		3	40 (1)	
基礎・専門	初期演習		○		2			2			104 (2)	
基礎・専門	上級ライティングA		○			2				2	51 (4)	
基礎・専門	上級ライティングB		○			2				○	14 (1)	
基礎・専門	上級リーディングA		○			1				○	17 (1)	
基礎・専門	上級リーディングB		○			1				○	7 (1)	
基礎・専門	上級リスニングA		○			1				2	74 (2)	
基礎・専門	上級リスニングB		○			1				○	29 (1)	
基礎・専門	上級英会話A		○			2				2	69 (4)	
基礎・専門	上級英会話B		○			2				○	29 (1)	
基礎・専門	秘書実務		○			2				○	65 (2)	
基礎・専門	国際ビジネスと企業英語		○			1		○			33 (2)	
基礎・専門	オフィス・マナー		○			1		○			54 (2)	
基礎・専門	ツーリズム入門	○				2		○			34 (2)	
基礎・専門	異文化事情	○				2		2			51 (2)	
基礎・専門	欧米の文化(卒業演習)A		○		2			3		3		
基礎・専門	欧米の文化(卒業演習)B		○		2			3		3		
基礎・専門	英語とインターネット発信		○			1				○		
基礎・専門	英語プレゼンテーション法		○			2				○		
基礎・専門	基礎英会話Ⅰ		○		2							
基礎・専門	基礎英会話Ⅱ		○			2						
基礎・専門	中級英会話F		○			3						
基礎・専門	中級英作文F		○			3						
基礎・専門	中級英会話		○			2				○		

幼児教育学科 教育課程

(平成20年5月1日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
基礎・専門	英語会話Ⅰ		○		2							
基礎・専門	英語会話Ⅱ		○		2							
基礎・専門	家族援助論	○				2				○	160(2)	
基礎・専門	外国語コミュニケーションⅠ		○			1				2	162(8)	
基礎・専門	外国語コミュニケーションⅡ		○			1				2	162(8)	
基礎・専門	教育課程総論	○				2				○	165(2)	
基礎・専門	教育原理	○				2				○	171(2)	
基礎・専門	教育行政学	○				2				○	98(2)	
基礎・専門	教育情報処理		○			2		○			23(2)	
基礎・専門	教科音楽		○			1				2	148(4)	
基礎・専門	教科器楽Ⅰ		○			1		○		○	150(4)	
基礎・専門	教科器楽Ⅱ		○			1		○		17	161(4)	
基礎・専門	教科器楽Ⅲ		○			1		○		○	85(2)	
基礎・専門	教科国語	○				1				○	152(2)	
基礎・専門	教科算数	○				1		○			25(1)	
基礎・専門	教科図画工作		○			1		○			152(4)	
基礎・専門	教科図画工作演習		○			1		○			96(4)	
基礎・専門	教科生活	○				1		○			5(1)	
基礎・専門	教科体育		○			1		○			150(4)	
基礎・専門	教科体育演習		○			1				○	40(2)	
基礎・専門	教職への道	○				2				3	152(2)	
基礎・専門	児童福祉	○				2				○	311(4)	
基礎・専門	社会福祉	○				2				○	150(2)	
基礎・専門	社会福祉援助技術A		○			1				2	160(2)	
基礎・専門	社会福祉援助技術B		○			1				2	162(2)	
基礎・専門	初期演習		○		2			2		2	150(4)	
基礎・専門	小児栄養		○			2				○	162(2)	
基礎・専門	小児保健A	○				2				○	161(1)	
基礎・専門	小児保健B	○				2				○	164(1)	
基礎・専門	小児保健実習			○		1				2	162(4)	
基礎・専門	障害児保育Ⅰ		○			2		○			164(2)	
基礎・専門	情報機器の操作Ⅰ		○		1						152(4)	
基礎・専門	情報機器の操作Ⅱ		○			1					151(4)	
基礎・専門	精神保健	○				2				○	161(2)	
基礎・専門	総合演習Ⅰ		○			1		3		○	162(4)	
基礎・専門	総合演習Ⅱ		○			1		2		2	164(4)	
基礎・専門	体育Ⅰ(講義)	○				1				2	150(4)	
基礎・専門	体育Ⅱ(実技)			○		1				○	152(4)	
基礎・専門	日本国憲法	○				2				○	152(2)	
基礎・専門	乳児保育Ⅰ		○			2				○	151(2)	
基礎・専門	乳幼児理解の研究		○			2				○	162(2)	
基礎・専門	発達心理学	○				2				○	152(2)	
基礎・専門	保育原理Ⅰ	○				2				○	154(2)	
基礎・専門	保育原理Ⅱ	○				2				○	160(2)	
基礎・専門	保育指導法(保育と環境)	○				1				○	28(2)	
基礎・専門	保育指導法(遊びと指導)	○				1		○			150(2)	
基礎・専門	保育実習Ⅰ			○		5		○		○	160(1)	
基礎・専門	保育実習Ⅱ			○		2		○		○	161(1)	
基礎・専門	保育内容・環境		○			2				○	151(2)	
基礎・専門	保育内容・健康		○			2				○	152(2)	
基礎・専門	保育内容・言葉		○			2				○	155(2)	
基礎・専門	保育内容・人間関係		○			2				○	161(2)	
基礎・専門	保育内容・表現Ⅰ		○			1				○	150(4)	
基礎・専門	保育内容・表現Ⅱ		○			1				○	163(2)	
基礎・専門	保育内容総論		○			2				○	154(2)	
基礎・専門	幼稚園教育実習Ⅰ	○				1		○			161(2)	
基礎・専門	幼稚園教育実習Ⅱ			○		4				3	161(1)	
基礎・専門	養護原理	○				2				○	167(2)	
基礎・専門	養護内容		○			1				○		
基礎・専門	障害児の発達教育論	○				2				○	151(2)	
基礎・専門	乳児保育Ⅱ		○			1				○	69(2)	
基礎・専門	障害児保育Ⅱ		○			1		○			66(2)	
基礎・専門	教職実践演習Ⅱ		○			2		○		2		

人間関係学科 教育課程

(平成20年5月1日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
基礎・専門	情報活用の基礎		○		2						124 (2)	
基礎・専門	英語会話Ⅰ		○		2							
基礎・専門	英語会話Ⅱ		○		2							
基礎・専門	TOEICの基礎Ⅰ		○			2		○	○		60 (2)	
基礎・専門	TOEICの基礎Ⅱ		○			2				○	34 (2)	
基礎・専門	TOEICの実践Ⅰ		○			2		○	○		30 (2)	
基礎・専門	TOEICの実践Ⅱ		○			2				○	22 (2)	
基礎・専門	カウンセリング心理学	○				2				○	45 (1)	
基礎・専門	ビジネスコンピューティングⅠ	○				2		○			73 (2)	
基礎・専門	ビジネスコンピューティングⅡ	○				2		○			56 (2)	
基礎・専門	ビジネスライティングⅠ	○				2				○	86 (2)	
基礎・専門	ビジネスライティングⅡ	○				2				○	82 (2)	
基礎・専門	レクリエーション概論	○				2		○			58 (1)	
基礎・専門	レクリエーション指導法実習			○		1		○		2	31 (1)	
基礎・専門	レクリエーション指導論	○				2		○			38 (1)	
基礎・専門	健康心理学	○				2				○	76 (1)	
基礎・専門	現代の社会保障	○				2				○	89 (1)	
基礎・専門	児童福祉	○				2		○			92 (1)	
基礎・専門	社会心理学	○				2				○	88 (1)	
基礎・専門	初期演習		○		2			2			121 (2)	
基礎・専門	情報活用の応用		○			2					85 (2)	
基礎・専門	生涯学習論Ⅰ	○				2		○			28 (1)	
基礎・専門	生涯学習論Ⅱ	○				2		○			39 (1)	
基礎・専門	臨床心理学	○				2				○	92 (1)	
基礎・専門	人間関係論	○			2			2		○	123 (1)	
基礎・専門	法学	○				2				○	61 (1)	
基礎・専門	医学一般A	○				2				○	45 (1)	
基礎・専門	医学一般B	○				2				○	26 (1)	
基礎・専門	キャリアカウンセリング	○				2		○			103 (2)	
基礎・専門	心理学基礎Ⅰ	○				2				○	120 (1)	
基礎・専門	心理学基礎Ⅱ	○				2				○	87 (1)	
基礎・専門	発達心理学	○				2				○	81 (1)	
基礎・専門	家族心理学	○				2				○	30 (1)	
基礎・専門	消費者心理学	○				2				○	36 (1)	
基礎・専門	心理臨床演習		○			2				3	8 (1)	
基礎・専門	地域福祉論	○				2				○	67 (1)	
基礎・専門	社会福祉原論A	○				2				○	54 (1)	
基礎・専門	社会福祉原論B	○				2				○	32 (1)	
基礎・専門	生涯学習推進計画	○				2		○			77 (1)	
基礎・専門	ボランティア論	○				2				○	62 (1)	
基礎・専門	介護概論	○				2				○	55 (1)	
基礎・専門	レクリエーションの実技			○		1		○			49 (2)	
基礎・専門	レクリエーション指導技術	○				2				○	88 (2)	
基礎・専門	余暇活動支援技術	○				2				○	60 (1)	
基礎・専門	障害者のスポーツ実技			○		1				○	29 (1)	
基礎・専門	プレゼンテーションⅠ	○				2				○	58 (2)	
基礎・専門	プレゼンテーションⅡ	○				2				○	45 (2)	
基礎・専門	社会学	○				2				○	69 (1)	
基礎・専門	心理実験調査演習		○			2				3		
基礎・専門	キャリア心理学	○				2				○	102 (1)	

健康・スポーツ学科 教育課程

(平成20年5月1日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
基礎・専門	情報活用の基礎		○		2						97 (2)	
基礎・専門	英語会話Ⅰ		○		2							
基礎・専門	英語会話Ⅱ		○		2							
基礎・専門	エアロビックダンス			○		1		○			44 (1)	
基礎・専門	キャンプ実習			○		1		○			29 (1)	
基礎・専門	サービスの理論と実際	○				2				○	18 (1)	
基礎・専門	スイミング			○		1		○			97 (2)	
基礎・専門	スノースポーツ実習			○		1				○	(1)	
基礎・専門	スポーツトレーニングの科学	○				2				○	47 (1)	
基礎・専門	スポーツマッサージ・テーピング		○			2				○	42 (1)	
基礎・専門	スポーツマッサージ論・実習		○			2				○	24 (1)	
基礎・専門	スポーツ医学	○				2				○	69 (1)	
基礎・専門	スポーツ運動学	○				2				○	76 (1)	
基礎・専門	スポーツ栄養学	○				2				○	46 (1)	
基礎・専門	スポーツ経営管理学	○				2				○	36 (1)	
基礎・専門	スポーツ行政・法規	○				2				○	35 (1)	
基礎・専門	スポーツ史	○				2				○	25 (1)	
基礎・専門	スポーツ指導論	○				2				○	44 (1)	
基礎・専門	スポーツ社会学	○			2				○		80 (1)	
基礎・専門	スポーツ心理学	○				2			○		103 (1)	
基礎・専門	テーピング論・実習		○			2				○	24 (1)	
基礎・専門	トラックアンドフィールド			○		1				○	97 (2)	
基礎・専門	ハンドボール			○	1					○	78 (2)	
基礎・専門	バイオメカニクス	○				2			○		49 (1)	
基礎・専門	バスケットボール			○		1				○	96 (2)	
基礎・専門	バレーボール			○		1			○		96 (2)	
基礎・専門	フィットネス指導法実習			○		1			○		22 (1)	
基礎・専門	マリンスポーツ実習			○		1			○		59 (1)	
基礎・専門	レクリエーション指導法演習		○			1				○	18 (1)	
基礎・専門	レクリエーション指導法実習			○		1				○	18 (1)	
基礎・専門	レクリエーション論	○				2				○	40 (1)	
基礎・専門	運動生理学	○				2			○		97 (1)	
基礎・専門	衛生学(公衆衛生学を含む)	○				2				○	49 (1)	
基礎・専門	海外の健康・スポーツの研究			○		2				○		
基礎・専門	学校保健Ⅰ	○				2			○		50 (1)	
基礎・専門	学校保健Ⅱ	○				2			○		49 (1)	
基礎・専門	器械運動			○		1				○	97 (2)	
基礎・専門	救急処置法・実習		○			2				○	78 (2)	
基礎・専門	健康・スポーツカウンセリング	○				2			○		40 (1)	
基礎・専門	健康・スポーツ実践実習			○		1			○		24 (1)	
基礎・専門	初期演習		○		2				○	○	96 (2)	
基礎・専門	障害者スポーツ指導法実習			○		1			○		20 (1)	
基礎・専門	障害者スポーツ論	○				2			○		19 (1)	
基礎・専門	情報活用の応用		○			2					70 (2)	
基礎・専門	生涯スポーツ論	○				2			○		67 (1)	
基礎・専門	体育原理	○			2					○	78 (1)	
基礎・専門	体操			○		1			○		97 (2)	
基礎・専門	体力の測定評価論・実習	○				2				○	45 (2)	
基礎・専門	地域スポーツ指導法演習		○			1			○		51 (2)	
基礎・専門	地域スポーツ指導法実習			○		1			○		39 (2)	
基礎・専門	健康科学総論	○			2				○			
基礎・専門	スポーツ科学総論	○			2					○		
基礎・専門	スポーツと文化	○			2					○		
基礎・専門	学校保健	○				2			○			
基礎・専門	ダンスⅠ			○	1				○			
基礎・専門	アクアエクササイズ		○			1				○		
基礎・専門	教育課程総論	○				2			○	○	52 (1)	
基礎・専門	教育原理	○				2				○	52 (1)	
基礎・専門	教育行政学	○				2				○	4 (1)	
基礎・専門	教育実習Ⅰ	○				1			○		45 (1)	
基礎・専門	教育心理学	○				2				○	47 (1)	
基礎・専門	教育相談の研究	○				2				○	48 (1)	
基礎・専門	教職への道	○				2				○	52 (1)	
基礎・専門	人権教育の研究	○				2				○	36 (1)	平成20年度開講中止
基礎・専門	生徒指導の研究	○				2				○	49 (1)	
基礎・専門	道徳教育の研究	○				2				○	50 (1)	
基礎・専門	保健体育科指導法Ⅰ	○				2			○		45 (1)	
基礎・専門	保健体育科指導法Ⅱ	○				2			○		48 (1)	

食生活学科 教育課程

(平成20年5月1日現在)

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員 (クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
基礎・専門	情報活用の基礎		○		2						196 (4)	
基礎・専門	英語会話Ⅰ		○		2							
基礎・専門	英語会話Ⅱ		○		2							
基礎・専門	フードコーディネータ論	○				2				○	194 (2)	
基礎・専門	フードスペシャリスト論	○				2				○	151 (2)	
基礎・専門	衣服構成			○		2				○	13 (1)	
基礎・専門	栄養教育論実習Ⅰ			○		1		2		2	166 (4)	
基礎・専門	栄養教育論実習Ⅱ			○		1		2			166 (4)	
基礎・専門	応用栄養学実習			○		1		○		○	167 (4)	
基礎・専門	解剖生理学実習			○		1		○		○	166 (4)	
基礎・専門	給食管理実習			○		2		○		3	194 (4)	
基礎・専門	給食実務論	○				2		○		○	166 (4)	
基礎・専門	健康スポーツ栄養学	○				2		○			167 (4)	
基礎・専門	公衆栄養学	○				2		○			168 (4)	
基礎・専門	公衆衛生学	○				2				2	197 (4)	
基礎・専門	社会福祉概論	○				2				3	168 (4)	
基礎・専門	住居学	○				2				○	12 (1)	
基礎・専門	初期演習		○		2			3		○	193 (4)	
基礎・専門	食品衛生学	○				2		○		○	198 (4)	
基礎・専門	食品衛生学実験			○		1		○		○	167 (4)	
基礎・専門	食品加工学	○				2		○		○	169 (4)	
基礎・専門	食品加工学実験			○		1		○			168 (4)	
基礎・専門	食品学各論	○				2		○		○	168 (4)	
基礎・専門	食品学実験			○		1		○			196 (4)	
基礎・専門	食糧経済学	○				2				○	152 (2)	
基礎・専門	生化学実験			○		1		○			166 (4)	
基礎・専門	生活学概論	○				2				○	18 (1)	
基礎・専門	生活美学	○				2		○				
基礎・専門	調理科学	○				2		○		○	167 (4)	
基礎・専門	調理科学実験			○		1		○		○	167 (4)	
基礎・専門	調理学	○				2		2			198 (4)	
基礎・専門	調理学実習Ⅰ			○		1				3	196 (4)	
基礎・専門	調理学実習Ⅱ			○		1				3	194 (4)	
基礎・専門	被服学	○				2		○	○		12 (1)	
基礎・専門	病理学	○				2		○		○	170 (4)	
基礎・専門	保育学	○				2				○	25 (2)	
基礎・専門	臨床栄養学概論	○				2		○			198 (4)	
基礎・専門	臨床栄養学実習Ⅰ			○		1		○		2	168 (4)	
基礎・専門	臨床栄養学実習Ⅱ			○		1		○		3	167 (4)	
基礎・専門	臨地実習			○		1		2		3	167 (2)	
基礎・専門	学校栄養教育・指導論	○				2				○	27 (2)	
基礎・専門	基礎生物化学	○				2		○				
基礎・専門	食環境文化論	○				2		○				
基礎・専門	解剖生理学Ⅰ	○				2		○				
基礎・専門	食品学	○				2		○				
基礎・専門	食品素材学	○				2		○				
基礎・専門	給食管理学	○				2		○		2		

生活造形学科（アパレルコース）教育課程

（平成20年5月1日現在）

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員 (クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
基礎・専門	英語会話Ⅰ		○		2							
基礎・専門	英語会話Ⅱ		○		2							
基礎・専門	海外語学研修			○		1		○			9 (1)	
基礎・専門	海外消費実習			○		1		○			9 (1)	
基礎・専門	住居学	○			2			○		○	122 (2)	
基礎・専門	初期演習		○		2			3		○	182 (4)	
基礎・専門	消費生活論	○				2				○	170 (2)	
基礎・専門	情報活用基礎演習		○		1						193 (4)	
基礎・専門	アパレルコンストラクション	○			2				○		100 (1)	
基礎・専門	アパレルコンスト実習Ⅰ			○		2		2		○	96 (4)	
基礎・専門	アパレルコンスト実習Ⅱ			○		2		○		○	79 (2)	
基礎・専門	アパレルデザイン論	○				2		○			97 (1)	
基礎・専門	アパレル企画演習		○			1				○	96 (2)	
基礎・専門	アパレル材料学	○			2			○			103 (1)	
基礎・専門	アパレル材料学実験			○		2		○			101 (2)	
基礎・専門	アパレル生産実習Ⅰ			○		2		○			92 (2)	
基礎・専門	アパレル生産実習Ⅱ			○		2		2			92 (2)	
基礎・専門	カラーコーディネート演習		○			1				○	73 (2)	
基礎・専門	クリエイティブデザイン実習			○		3				○	19 (1)	
基礎・専門	スタイル画演習		○			1		○			95 (2)	
基礎・専門	ドレーピング実習			○		2		2			68 (2)	
基礎・専門	ファッションビジネス論	○				2		○			97 (1)	
基礎・専門	ファッションマーケティング論	○				2				○	101 (1)	
基礎・専門	衣環境学	○				2		○			104 (1)	
基礎・専門	消費科学	○				2		○			103 (1)	
基礎・専門	消費者調査法演習		○			1				○	95 (1)	
基礎・専門	色彩学	○				2				○	79 (1)	
基礎・専門	食物栄養学	○				2				○	30 (1)	
基礎・専門	生活学概論	○				2				○	43 (1)	
基礎・専門	染色加工学	○				2				○	98 (1)	
基礎・専門	染色加工実験			○		2				○	93 (2)	
基礎・専門	繊維学	○			2			○			100 (1)	
基礎・専門	繊維学実験			○		2		○			92 (2)	
基礎・専門	調理学実習			○		2				○	23 (1)	
基礎・専門	被服整理学	○			2					○	96 (1)	
基礎・専門	被服整理学実験			○		2				○	103 (2)	
基礎・専門	服飾デザイン実習			○		1				○	90 (2)	
基礎・専門	保育学	○				2				○	17 (1)	
基礎・専門	パターンメイキング演習Ⅱ		○			1				○	57 (2)	
基礎・専門	ディスプレイ実習			○		2				○	71 (2)	
基礎・専門	ファッションコンピュータ実習Ⅰ			○		2		○			92 (2)	
基礎・専門	ファッションコンピュータ実習Ⅱ			○		1		○		○	58 (2)	
基礎・専門	テキスタイルコンピュータ実習			○		2				○	52 (2)	
基礎・専門	服飾文化史	○				2		○			76 (1)	
基礎・専門	パターンメイキング演習Ⅰ		○			1				○	87 (2)	
基礎・専門	織物実習			○		2				○	29 (2)	

生活造形学科（インテリアコース）教育課程

（平成20年5月1日現在）

科目の種別	授業科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員 (クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
基礎・専門	英語会話Ⅰ		○		2							
基礎・専門	英語会話Ⅱ		○		2							
基礎・専門	海外語学研修			○		1		○			9 (1)	
基礎・専門	海外消費実習			○		1		○			9 (1)	
基礎・専門	住居学	○				2		○		○	122 (2)	
基礎・専門	初期演習		○		2			3		○	182 (4)	
基礎・専門	消費生活論	○				2				○	170 (2)	
基礎・専門	情報活用基礎演習		○		1						193 (4)	
基礎・専門	CAD基礎実習			○		2				2	88 (2)	
基礎・専門	インテリア計画	○			2			○			100 (1)	
基礎・専門	ベーシックデザイン実習			○		2				2	77 (2)	
基礎・専門	マーケティング論	○				2				○	78 (1)	
基礎・専門	建築法規	○				2				○	93 (1)	
基礎・専門	現代デザイン論	○			2			○			95 (1)	
基礎・専門	住宅一般構造	○				2				○	76 (1)	
基礎・専門	住宅計画	○			2					○	104 (1)	
基礎・専門	住宅施工	○				2				○	90 (1)	
基礎・専門	商空間計画	○				2				○	101 (1)	
基礎・専門	人間工学	○				2				○	90 (1)	
基礎・専門	カラーコーディネート論	○				2				○	91 (1)	
基礎・専門	CG基礎実習			○		2				2	91 (2)	
基礎・専門	住宅・インテリアCAD実習			○		2				2	97 (2)	
基礎・専門	基礎・住宅製図			○		2				2	94 (2)	
基礎・専門	建築史	○				2				○	58 (1)	
基礎・専門	インテリア・家具製図			○		2				2	89 (2)	
基礎・専門	コーディネート・リフォーム実習			○		2		○		3	86 (4)	
基礎・専門	インテリアエレメント制作実習Ⅰ			○		2				3	91 (4)	
基礎・専門	インテリアエレメント制作実習Ⅱ			○		2		○		2	73 (3)	
基礎・専門	福祉住環境論・実体験			○		2				○	80 (2)	
基礎・専門	生活材料学・同実験			○		2				2	34 (2)	
基礎・専門	室内環境学	○				2				○	96 (1)	
基礎・専門	自由創作A			○		3				○	6 (1)	
基礎・専門	自由創作B			○		3		○		○	73 (2)	
基礎・専門	自由創作C			○		3				○	32 (1)	
基礎・専門	住宅設備計画	○				2				○	37 (1)	
基礎・専門	構造力学	○				2				○	67 (1)	
基礎・専門	構造力学演習		○			1				○	67 (1)	
基礎・専門	インテリアテキスタイル制作実習			○		2				3	86 (4)	
基礎・専門	住宅・店舗設計			○		2				3	69 (3)	

栄養教諭資格 教育課程

(平成20年5月1日現在)

科目区分	科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
資格	栄養教育実習(学校現場)			○		1				○	24 (1)	
資格	栄養教育実習事前・事後	○				1				○	24 (1)	
資格	教育課程の意義と運営	○				2				○	23 (1)	
資格	教育原理(栄教)	○				2				○	24 (1)	
資格	教育心理学(栄教)	○				2		○	○		25 (1)	
資格	教職への道(栄教)	○				2		○	○		25 (1)	
資格	生徒指導の理論と方法	○				2				○	23 (1)	
資格	総合演習Ⅰ(栄教)		○			1		○	○		21 (1)	
資格	総合演習Ⅱ(栄教)		○			1		○	○		26 (1)	
資格	道徳教育の理論と実践	○				2				○	28 (1)	

教員免許(教職) 教育課程

(平成20年5月1日現在)

科目区分	科目名	授業形態			単位			教員配置			前年度の履修人員(クラス数)	備考
		講義	演習	実習	必修	選択	自由	専任	兼任	兼任		
資格	英語科指導法Ⅰ	○				2		○	○		6 (1)	
資格	英語科指導法Ⅱ	○				2		○	○		6 (1)	
資格	家庭科指導法Ⅰ	○				2				○	8 (1)	
資格	家庭科指導法Ⅱ	○				2				○	7 (2)	
資格	教育課程総論	○				2				○	37 (1)	
資格	教育原理	○				2				○	40 (1)	
資格	教育行政学	○				2				○	3 (1)	
資格	教育実習Ⅰ	○				1				2	31 (2)	
資格	教育実習Ⅱ			○		2				○	80 (2)	
資格	教育実習Ⅲ			○		2				○	80 (2)	
資格	教育心理学	○				2		○	○		40 (1)	
資格	教育相談の研究	○				2				○	32 (1)	
資格	教職の研究	○				1				○	19 (1)	
資格	教職への道	○				2		○	○		34 (1)	
資格	国語科指導法Ⅰ	○				2				○	17 (1)	
資格	国語科指導法Ⅱ	○				2				○	7 (1)	平成20年度開講中止
資格	障害児の発達と教育	○				2				○	62 (1)	
資格	人権教育の研究	○				2				○	16 (1)	
資格	生徒指導の研究	○				2				○	37 (1)	
資格	総合演習Ⅰ		○			1				4	82 (3)	
資格	総合演習Ⅱ		○			1				3	81 (3)	
資格	道徳教育の研究	○				2				○	32 (1)	
資格	特別支援学校参加実習			○		1				2		

(2) 教養教育の取組み、専門教育の内容、授業形態のバランス、必修・選択のバランス、専任教員の配置等について特に強調したいことがあれば記述して下さい。

本学における教養教育は共通教育科目により主に行っており、約 300 科目を開講している。これらの科目は大学提供科目と短期大学提供科目からなっているが、単位互換により短期大学の学生はこれら全ての科目から選択が可能である。また、月曜日と水曜日を共通教育科目の履修日と設定し、多くの共通教育科目が履修できるように配慮している。全ての学科の基礎教育科目に情報活用の基礎関連科目(前期のみ必修)と英語会話関連科目(前期・後期必修)を1年生に開講している。情報活用の基礎関連科目は一定レベル以上のコンピュータスキルを修得させるために、英語会話関連科目は一定レベル以上の英語会話を全ての学生が行えるようにしている。

専門教育では、各学科で設定した取得可能な資格に関係する科目が選択科目として開講している。当然のことながら、資格に関係のない科目も学科の設置理念・目標を達成するために開講している。また、各学科の設置理念・目標を達成するために開講されている主たる

科目については専任教員を配置している。

- ◆ 参考資料(3) 「履修便覧(平成20年4月入学生用)」
- ◆ 参考資料(4) 「共通教育要覧2008」

(3) 当該教育課程を履修することによって取得が可能な免許・資格を示して下さい。また教育課程に関係なく免許・資格を取得する機会を設けている場合は、その免許・資格名とどのような履修方法であるかを記述して下さい。

学科・コース	取得できる資格	分類	履修方法
日本語文化学科	中学校教諭二種免許状(国語)	資格取得	
英語コミュニケーション学科	中学校教諭二種免許状(英語)	資格取得	
幼児教育学科	幼稚園教諭二種免許状	資格取得	
	保育士	資格取得	基礎・専門教育科目を履修
人間関係学科	社会福祉主事任用資格	資格証明	基礎・専門教育科目を履修
	社会教育主事任用資格	資格証明	基礎・専門教育科目を履修
	レクリエーション・インストラクター	資格取得	専門教育科目を履修
	障害者スポーツ指導者(初級スポーツ指導員)	資格取得	専門教育科目を履修
健康・スポーツ学科	中学校教諭二種免許状(保健体育)	資格取得	
	障害者スポーツ指導者(初級スポーツ指導員)	資格認定	専門教育科目を履修
	レクリエーション・インストラクター	資格認定	専門教育科目を履修
	日本協公認スポーツ指導者 スポーツリーダー	資格認定	専門教育科目を履修
食生活学科	中学校教諭二種免許状(家庭)	資格取得	
	栄養教諭二種免許状	資格取得	
	栄養士	資格取得	専門教育科目を履修
生活造形学科 (アパレルコース)	中学校教諭二種免許状(家庭)	資格取得	
	テキスタイルアドバイザー(衣料管理士)2級	資格取得	専門教育科目を履修
生活造形学科 (インテリアコース)	商業施設士補	資格取得	専門教育科目を履修

◇添付資料(1) 「スチューデントガイド 2008-For Academic Studies-」 p.115～p.133

(4) 選択科目を学生が適切に判断して選択できるように、学生便覧やガイダンス等でどのように指導しているか、また学生が希望する選択科目を履修しやすいように、時間割上どのような工夫を施しているか等について記述して下さい。

1年次に開講される初期演習(必修科目)の時間において、各クラス担任が履修方法(必修科目・選択科目の両方)について履修便覧やシラバスを用いて詳細に解説を行い、周知を図っている。特に資格関連科目については、履修で複雑なものもあり、より多くの時間を割いている。本学では各時限に開講される科目は1科目としており、全ての選択科目の履修が行えるように工夫をしている。

◇添付資料(1) 「スチューデントガイド 2008-For Academic Studies-」 p.19～p.42

(5) 卒業要件単位数及びその他の卒業要件(必修単位の修得、学生納付金の納付等)を示して下さい。また学生にはどのような方法で卒業要件を周知しているかを記述して下さい。

卒業要件単位数は62単位以上であり、学科によってこの62単位の履修区分を以下のように明確にしている。日本語文化学科では、共通教育科目の中から8単位以上、基礎教育科目及び専門教育科目の中から32単位以上。英語コミュニケーション学科では共通教育科目の中から6単位以上、専門教育科目の中から34単位以上。幼児教育学科及び人間関係学科では共通教育科目の中から6単位以上。健康・スポーツ学科では共通教育科目の中から4単位以上、専門教育科目の中から31単位以上。食生活学科では共通教育科目の中から4単位以上、基礎教育科目12単位、専門教育科目の中から40単位以上。生活造形学科では共通教育科目の中から6単位以上、専門教育科目の中から40単位以上。その他の卒業要件としては、2年以上の在学年数と学生納付金の納付である。

卒業要件の学生への周知は、入学後に学科別で行われるオリエンテーションにおいて各学科の教務委員から教務関係のガイダンスが行われ、授業開始後は前期の初期演習(必修科目)の授業の中で担任から履修方法を含め細やかに説明している。また学生に配布する履修便覧及びスチューデントガイドに記載し、周知徹底している。

◆参考資料(3)「履修便覧(平成20年4月入学生用)」

◇添付資料(1)「スチューデントガイド 2008-For Academic Studies-」 p.19～p.42

(6) 教育課程の見直し、改善について、学科等の現状を記述して下さい。なおこの項はできれば学科等の責任者(学科長、学科主任等。以下、「学科長等」という。)が記述して下さい。

教育改革推進委員会のもと、全学的に平成20年度入学生用カリキュラムの見直し、改善を行い、特に学生の英語力を高めるため、全学科の基礎教育科目の必修科目として、外国人教員による「英語会話」を開講することにした。各学科の教育課程については、次のとおり見直し、改善を行った。

#### ① 日本語文化学科

コア科目を明確にし、学生に履修させるべき科目の精選を行い、科目数及び開講コマ数をスリム化することにより、教育課程の体系的な枠組みをより明確にした。幅広い教養とともにより実践的な日本語能力を身につけられるよう、卒業要件として共通教育科目の中から8単位以上、基礎・専門教育科目の中から32単位以上とする。

#### ② 英語コミュニケーション学科

社会及び学生のニーズに即応するため、従来の教育課程の長所は踏襲しつつ、一層キャリア教育に重点を置き、実用英語の力を伸ばすとともに一定レベルの情報処理能力、IT能力を身に付けることができるよう見直しを行い、さらに実践的な英語力の習得を目指し、少人数制による教育効果を高めるため、2年次にゼミ制度を設ける。

#### ③ 幼児教育学科

人間性豊かで、教育・福祉に関する専門的教養を身につけた人材を育成し、幼稚園教諭二種免許状と保育士資格が取得できるようにしている。幼稚園教諭の実践的指導力の向上が社会的要請として高まっていることから、「教職実践演習」を法施行の前倒しで開設し、保

育士資格科目については、演習科目を少人数となるよう分割開講とする。

#### ④ 人間関係学科

キャリアデザインに重点を置き、情報、ビジネス、英語、レクリエーションといった実社会ですぐに役立つ能力の涵養を主眼とした教育課程の構成となるよう、科目の精選を行う。さらに、心理や社会福祉領域の基礎についても学習し、心理マインド・福祉マインドを実社会で発揮できる能力を育成するよう、基礎的な科目の充実を図る。

#### ⑤ 健康・スポーツ学科

取得可能な資格を中学校教員免許(保健体育)と健康・スポーツ指導資格の二本柱に整理し、それに対応させる形で科目の精選を行う。また、基本的に「講義」→「演習」→「実習」の流れを重視した学年、開講期の科目配当となるよう見直す。

#### ⑥ 食生活学科

プレ科目(コア科目履修に必要な科目)、コア科目(栄養士養成に不可欠な科目)、それ以外のサポート科目に分類し、体系化し、教育効果を高めるため、履修順序を基礎的な内容から段階的に高度な内容の科目に移行するよう、学年、開講期の配当を行う。

#### ⑦ 生活造形学科

アパレルとインテリアのそれぞれのコースにおいて、コアとなる必修科目の精選を行い、実験・実習科目、演習科目が1年次から体系的、かつ連動的に学習できるようにする。また、講義と演習・実習のバランスがうまくとれるよう編成し、幅広い教養を身に付けさせるため、共通教育科目の中から6単位以上を卒業要件とする。

### 【授業内容・教育方法について】

(1)シラバスあるいは講義要項を作成する際に配慮していること等を記述して下さい。

シラバス作成においては、次のような基準を全学的に設け、同一の形態で学生に示すことを申し合わせている。これらの詳細を記した作成要領を教務部で作成し、全教員に配布し、その徹底を図っている。(ア)原則として1科目1ページとするが、演習等の授業科目について半ページとすることも認める。(イ)記述する事項は次のとおりとする。科目名、科目担当者、科目目標(130字程度)、授業内容(400字程度)、授業計画(14~15回の具体的な計画を示し、各回に100字程度の授業内容を付す)、評価法(50字程度)、参考書、留意事項(受講についての心がけを含め、担当者からの要望等、150字程度)。評価法欄には、評価方法(試験、レポート、平常点)を記載するが、平常点評価を行う場合は授業の出欠状況のみで評価するのではなく、必ず小テスト又はレポート発表等も実施し、配点内訳を必ず明記する。同一科目名で担当者が複数名いる場合には、これら全てにおいて担当者間で連携して同一内容とする。

◆参考資料(5)「シラバス2008」(全学科)

(2) 学生の履修態度、学業への意欲等について、学科長等はどのように把握し受け止めているか記述して下さい。

#### ① 日本語文化学科

多くの学生は、社会に通用する日本語能力を身につけたいとか、古典文学や書道をもっと勉強したいといった、明確な目標をもって入学しており、したがって履修態度はおおむね良好で、学業への意欲も旺盛である。ただし、欠席や遅刻をくり返すなど、勉学に不適應を示す学生が少数ながら存在するので、学科長は学級担任や科目担当者、教務委員等との連携を密にし、それら一人一人の実状に即した対応を指示、助言している。

#### ② 英語コミュニケーション学科

短大生の進路は、早く社会に出て活躍したいと考えている者、3年次編入を目指す者に二分されるが、双方とも十分な動機を持っているため、全体的に履修態度は良好で意欲的に授業に取り組んでいると言える。特に基本である英米文化文学系科目の他に、より実践的なビジネス系、キャリア教育系科目も多数開講しており、学生はこれらにも意欲的に取り組んでいる。

#### ③ 幼児教育学科

幼稚園教諭や保育士を目指すという目標を明確にもたせることが重要であり、1年次「教育演習」でその使命感や仕事の理解を図っている結果、勉学への意欲は高いといえる。また教員には、講義科目であっても、学生が主体的、意欲的に教員と双方向で授業参加できる手立てを講じるように要請している。

#### ④ 人間関係学科

キャリアデザインに重点を置き、心理マインド・福祉マインドをあわせ持つ社会人の育成を目的としている。学習への方向づけの科目として1年次前期に専任教員による必修科目「人間関係論」を開講し、学科の学習全体の動機づけを行っている。そのため、世情一般に言われている履修態度の悪化、学習意欲の低下については、月2回の学科会議においても指摘はなく、非常勤講師による評価も良好である。

#### ⑤ 健康・スポーツ学科

30%前後の学生が学友会運動部に所属、他の学生も身体活動をする機会が多い。この為、疲労による受講態度の乱れも予想されたが、授業アンケートの報告では特に問題点は見当たらない。また学科会議での意見交換でも受講態度等に関する評価は高い。この要因は少人数授業(40名)によるものと分析している。

#### ⑥ 食生活学科

栄養士養成のカリキュラム編成のため、授業密度は高く、学習量は多いにもかかわらず、授業アンケート結果では、私語は少なく、質問する態度が認められ、履修態度は良好である。また卒業延期者や栄養士資格未取得者は極めて少ないことから、学業意欲は高いと評価される。一方、毎年の栄養士実力試験、フードスペシャリスト認定試験に受験率や成績の伸び悩みが見られるので、学科教育検討委員会ですらなる意欲向上策を検討中である。

#### ⑦ 生活造形学科

授業評価アンケート等からみて、講義と実習科目とで学生の意識に差がある。講義では授業への参加意欲が乏しい学生が目立つのに対し、実習では課題達成へ熱意がある学生が

多い。学科として学生に目的意識を持たせるため、カリキュラムでは実習と講義をほぼ同じ割合にし、さらに課題により得られたデザイン、作品、設計等の優秀なものは学生作品集への掲載、学科展への展示、コンペへの出品をするなどの工夫をしている。

### 【教育改善への努力について】

(1) 学生による授業評価を行っている場合はその概要を記述して下さい。行っていない場合にはその事由等を記述して下さい。

平成4年度より学生による授業評価アンケート調査を導入した。本学では2種類のアンケート、①共通教育委員会が実施する共通教育科目についてのアンケート、②自己評価委員会が前期・後期の全学の授業科目の中の講義科目に実施しているアンケートがある。アンケートは全学共通であり、質問項目を5段階評価し、さらに各項目に自由記述する部分を有する用紙と5段階評価をマークするマークシートよりなる。当該アンケートは、授業時間中に行い、最終授業時以前に学生へのフィードバックを義務付けるとともに、学科単位で統計処理された結果を、ホームページに公開している。また教員個人は集計された結果の主たる事項を整理して、これを学科長に報告し、学生からの意見等で特記すべきものや学科に共通するような課題については学科会議で、短期大学全体に共通するものは短期大学自己評価委員会で検討される仕組みになっている。平成20年度より、学科長に提出した報告書は学科毎にまとめられ、全ての学生が閲覧できるようにした。

- ◆ 参考資料(6-1)「学生による授業評価アンケート 質問・回答用紙」
- ◆ 参考資料(6-2)「平成19年度後期 授業評価アンケート結果集計表」

(2) 短期大学全体の授業改善(FD活動等)への組織的な取り組み状況について記述して下さい。また短期大学の責任者(以下、「学長等」という。)は授業改善の現状について、どのように受け止めているかを記述して下さい。

本学のFD活動は種々試行を重ね、①1年担任会、共通教育説明会、司書教育説明会、丹嶺学苑説明会等、②非常勤講師懇談会、③合同教授会、④教学局会議、教学局研修会及び各部局の常任委員会、委員会等、⑤新任教職員オリエンテーションや就任1年目教員研修会、⑥その他人権教育や就職問題連絡協議会等、多くの連絡会・説明会・協議会・研修会を実施している。これらのFD活動は、主に教学局の各部局を中心に組織的に取り組み、定期的に行っている。教員間の連絡・調整には①、②、③、④などが利用され、学生に対して公正で偏りのない教育指導が実施されるように努めている。④は授業科目と直接関係するものではないが、教学局の各部局の委員に全学的な教育指導への自覚を促し、各学科における教育指導に主導的な役割を求めている。⑤は特に新任教員に対して実施しているもので、年度初めと年度末に新任教員の研修会を行っている。これらの研修会を通じて、新任教員に対して、本学の教育理念・目標、教育の実態等の理解を求めるとともに、授業科目の内容、教育指導の方法等の改善について研修をしている。これら従来から行われてきた組織的FD活動の取り組みに加え、平成20年1月にFD活動をさらに推進することを目的とし

てFD推進委員会を設置した。現在までの活動は、各学科が個別で行ってきたFD活動の把握と全学的なFD活動の方向性の検討である。

授業改善に対する各教員の意識は高く、各教員が板書やプレゼンテーションの工夫、資料教材の作成などにより実践している。また教員によっては、レポートの提出と添削によるフィードバックを行い、教育効果の向上を試みており、今後さらに教育効果の向上を目指した授業改善に取り組んでいく。

◆参考資料(7)「武庫川女子大学FD推進委員会規程」

(3) 担当授業について教員間の意思の疎通や協力体制、または兼任教員との意思の疎通について、学科長等は現状をどのように受け止めているのかを記述して下さい。

① 日本語文化学科

全ての授業科目に設定する「科目目標」は、担当教員の意見を勘案しつつ、学科のカリキュラム検討委員会において原案を作成した上で、学科会議で検討を加えて決定している。このように「科目目標」の策定に専任教員全員が主体的にかかわることによって、教員間の意思の疎通や協力体制は維持されている。兼任教員には「科目目標」に基づいてシラバスを作成するよう依頼し、年度初めの非常勤講師懇談会においては、率直な意見交換を行っている。

② 英語コミュニケーション学科

英語の基幹科目(「コミュニケーション・グラマー」や「英語の発音」など)については、専任教員がコーディネータとなって、授業内容や進め方などを兼任教員とも綿密な打ち合わせをし、また担当者によって評価の大きな違いがでないように目安となる評価基準を配布している。さらに学科内でグラマープロジェクトとリーディング・ライティングプロジェクトを立ち上げ、意見交換をしながら各授業の到達目標を設定している。

③ 幼児教育学科

学科のカリキュラム委員会において、教育課程や授業運営等にかかわる検討を進め、学科会議において教務事項や学生指導にかかわる課題や問題を提起し、理解と協力を求めている。兼任教員に対しては、年度初めに非常勤講師懇談会を実施し、学科運営方針と学生指導の理解を図り、徹底させるために書面も作成して協力を要請している。

④ 人間関係学科

心理、社会福祉各コースの専門授業に関しては、定期的にコース会議を開催し、問題点等の検討を行っているので、専任教員間の意思疎通や協力体制には問題がないと考える。しかし情報領域、レクリエーション領域を含む学科全体のカリキュラム体系に関する認識には専任・兼任を問わず個人差が見られるので、本年度、学科カリキュラム体系の明確化という目標のもとに、兼任教員も含めた共通理解の醸成に努めているところである。

⑤ 健康・スポーツ学科

コース別の教育方針やカリキュラムについては、学科内の教育内容検討委員会で協議や改革を行って方針に沿って修正をしている。また、授業担当者間では、系列する専門分野ごとに担当内容について打ち合わせを行い、学習効果を上げるための研修を行った。兼任教員とは年度開始前のオリエンテーションにおいて、学科方針や理念を伝えて意思の疎通を図

っている。また年度末反省会においては、成果の確認と修正を行い、協力体制を整えている。

#### ⑥ 食生活学科

担当授業の現状と様々な問題点について、学年担任会や学年間連絡運営委員会で討議し、さらに学科の教育検討委員会で審議する協力体制を作り、専任教員間の意思の疎通を図っている。兼任教員との意思の疎通は、授業アンケートや非常勤講師懇談会によって進めている。学科諸委員会から提出された教育上の問題点や課題解決方法について、最終的に学科会議で審議して改善方針と具体策を決定して、教育効果を上げている。

#### ⑦ 生活造形学科

カリキュラム改定とその実施は、学科会議で提案・討議しており、担当授業に関する教員間での意思の疎通や協力体制は、必然的に図られている。非常勤も含む兼任教員については、年度初めに開催するオリエンテーションで、学科の教育方針や理念を伝えることで、意思の疎通を図っている。

### 【特記事項について】

(1)この《Ⅱ 教育の内容》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば、他の教育機関との単位互換制度、習熟度別授業、情報・メディア教育、国際理解教育、海外研修制度、インターンシップ、女子教育の伝統継承と発展への取組み等、学科等において努力していることがあれば記述して下さい。

#### ① 初期演習

本学では昭和44年度入学生より、基礎教育科目として「初期演習」を開設している。「初期演習」では、教育目標や教育内容の理解、ノートの取り方、図書館の利用について、といった学生としての基本的知識を身につけさせたいと、次に本学が所有する研修施設(丹嶺学苑)での2泊3日の宿泊研修や体育祭といった行事の計画を通じて協調性や自立性を養えるような授業展開を実施している。さらに、グループ研究や企画書の作成といった演習の中から専門領域に関する入門的指導を行うことにより、学生の学習意欲を掻きたて、勉学することの喜びを覚えさせることを実現させている。

#### ② 特別教育科目

本学では、学生の「自己教育力」を伸長するため、2～3月を特別学期として『特別教育科目』を開講している。学生自身が「学びとる」という面を強調し、卒業要件に含めない「自由科目」として開講し、多様な選択の機会を与え、バランスのとれた人間教育を行っている。語学・情報のリテラシーを向上させ、表現力が身につく内容も多く開講している他、社会の様々な方面で活躍している著名人を講師として招くなど、幅広い知識・教養が身につく講座や、資格取得、就職対策講座なども充実している。

#### ③ 単位互換制度

放送大学、兵庫県の34の大学・短期大学が参加する船上での夏季集中講義「大学洋上セミナー」、西宮市に所在する10大学・短期大学による「西宮市大学共通単位講座」において単位互換協定を締結し、単位認定している。

#### ④ 習熟度別授業

全学科1年次必修科目の英会話科目及び情報教育科目において、初回の授業時に高校までの学習理解度を判断するテストを行い、その結果に基づき習熟度別にクラス編成し、授業を展開している。英語コミュニケーション学科においては、「基礎リスニング」と「TOEIC演習」においても入学時に実施する高校までの学習理解度を判断するテストの結果に基づき編成したクラスで、習熟度別授業を実施している。

#### ⑤ 情報・メディア教育

全学科1年次において情報活用に関する基礎的な知識とスキルを身につけることを目的とした科目「情報活用の基礎」を必修として開講している。また、特別学期においても教養講座の一環として、「携帯電話用ホームページの作成」や「BLOG 入門」といった通常の授業では実施しない内容の講座を展開している。学生は学生生活を過ごしていく中で web を利用した学生支援システムにより情報を収集することになっており、主に履修登録やシラバス、成績参照といった教務事項や希望進路登録や求人参照といったキャリア支援等を中心にパソコンで手続申請・結果確認を行っている。

#### ⑥ 国際理解教育

共通教育科目において、学生の国際理解を深めるための諸科目を開講しているほか、特別学期に「アメリカ先住民の文化」や「広告表現の国際比較」といった異文化理解を促進する科目を全学科生対象に開講している。また英語コミュニケーション学科においては、テレビ会議システムを利用し、MFWI の現地教員と学生が会話を交わす時間を提供している。全学的には国際交流室において留学生や外国人教員との異文化交流を体験できるインターナショナルカフェを開設している他、留学生の授業ボランティア等、留学生と交流する機会をもつことができる環境が整えられている。

#### ⑦ 海外留学制度

英語コミュニケーション学科では、1年生が本学の MFWI において4ヶ月間の留学を行う。また、日本語文化学科は韓国、幼児教育学科、健康・スポーツ学科はアメリカ、生活造形学科ではスペイン・フランス・イタリアといった専門分野に応じた国々に、長期休暇期間中を利用して実施している他、全学科学生対象にアメリカ又はオーストラリアでのホームステイを含む約3週間の英語研修を実施している。

#### ⑧ インターンシップ

キャリアセンターを中心に、全学科学生に対して企業や自治体、経営者協会主催の企業への参加を促進しているほか、学科独自に企業と連携し、インターンシップに参加している。平成20年度より本学を通じて学生が行うインターンシップ活動に対して卒業要件に含まない特別単位として単位認定を行う。

#### ⑨ 女子教育の伝統継承と発展への取り組み

本学の立学の精神でうたわれている「高い知性と善美な情操と高雅な徳性」を兼ね具えた有為な女性の育成について、学生に分かりやすい言葉で表現した教育目標を策定し、入学時に全学科生に対し、「学長特別講義」で学長自らが分かりやすい表現や事例を用いて説明を行っている。それ以外に、全学科1年次必修科目「初期演習」においても担任から「立学の精神」の理解を深めるよう指導している。

◇添付資料(1)「スチューデントガイド 2008-For Academic Studies-」

(2) 特別の事由や事情があり、この《Ⅱ 教育の内容》の評価項目や評価の観点が求めることが実現(達成)できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

### <Ⅲ 教育の実施体制>

#### 【教育組織について】

(1)現在の専任教員数の表(平成20年5月1日現在)を作成して下さい。

学科	専任教員数				設置基準で定める教員数		助手	〔ハ〕副手	備考
	教授	准教授	講師	計	〔イ〕	〔ロ〕			
日本語文化学科	2	2	1	5	4	-	-	-	
英語コミュニケーション学科	3	3	1	7	4	-	-	-	
幼児教育学科	3	4	4	11	10	-	-	1	
人間関係学科	4	-	2	6	4	-	-	-	
健康・スポーツ学科	3	3	2	8	8	-	-	-	
食生活学科	2	5	8	15	6	-	5	-	
生活造形学科	2	4	2	8	6	-	4	3	
共通教育科	-	1	1	2	-	-	-	-	
小計	19	22	21	62	42	-	9	4	
〔ロ〕	-	-	-	-	-	8	-	-	
合計	19	22	21	62	42	8	9	4	

(2)短期大学の教員にふさわしい資格と資質の有無については、訪問調査の際に、教員の個人調書(①履歴書、②研究業績書、③担当授業科目名、④その他)を提示していただきます。したがって、個人調書をこの報告書に添付する必要はありません。

#### ◆参考資料(8)「教員個人調書」

(3)教員の採用、昇任が適切に行われている状況を記述して下さい。その際、選考基準等を示した規程等があれば訪問調査の際にご準備をお願いいたします。

採用手続きについては、各学科において、次年度の教育職員人員計画案が作成され、学部長会で学科毎の採用枠を審議し、全学的な了解のもと決定される。教員については、各学科において募集する教員の担当分野、年齢、研究業績、教育歴等について充分検討し、決定された候補者が学科長から人事課に提出され、「武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部教育職員選考規程」(以降「規程」と言う。)に基づいて、全学的な了解のもと、資格・身分も併せて審査を行い、適格者について人事委員会(人事教授会)に提案され、その適否が審議し決定される。助手は欠員が生じた場合に、採用している。

昇格については、業績に関して、より詳細な検討が行えるよう平成16年度に昇格審査の項目について見直しを行った。従来の教育研究、学内役職、社会活動の評価要素について概括的であったものを、①学術、研究業績②教育(教授方法、学生への指導方法)③学内における役職の歴任状況④社会活動(社会への貢献度等)⑤勤務状況の5要素に細分化し、具体的かつ客観的な昇格判定を可能とした。

#### ◆参考資料(9)「武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部教育職員選考規程」

(4) 教員の年齢構成について表を作成し現状を記載してください。(平成 20 年 4 月 1 日現在)

専任教員等の年齢構成表

区 分	年齢ごとの専任教員数(助教以上)						助手等の 平均年齢	備考
	60～69	50～59	40～49	30～39	29 以下	平均年齢		
合計人数 ( 60 )	9	26	18	6	1	51.2	25	
割合(%)	15.0	43.3	30.0	10.0	1.7			

(5) 専任教員は、(a)授業、(b)研究、(c)学生指導、(d)その他教育研究上の業務に対して意欲的に取り組んでいるか。また、上記 4 つの分野の業務取り組み状況にはどのような傾向があるかを学長等が記述して下さい。その際、過去 3 ヶ年(平成 17 年度～19 年度)程度の教員の担当コマ数(担当コマ基準、平均担当コマ数等を含む)、教員の研究業績、教員が参画する学生指導の業務、教員が参画するその他の教育研究上の業務概要を示して下さい。

専任教員の授業担当コマ数を表 1 に、研究業績の概要は 85 ページ(VI 研究)に、教員が参画している学生指導業務の概要を表 2 に、それぞれ示す。

授業に関して、内規で専任教員は年間 14 コマを担当することになっている。また、役職に応じてコマの減数も規定されている。本学では、大学を併設しており、担当基準コマ数は、大学と短大の合計であるため、短大だけのコマ数では基準よりも少ない教員が多い。また、開学以来、クラス担任制をとっており、専任教員は日々、学生の様々な指導にあたっている。表 2 に示したように学内の各種委員会役職を兼務し教育活動の中、多様な校務もこなしている。一方、研究面でも熱心に取り組んでおり、学科により、多少状況は異なるが論文作成、学会発表、社会貢献等について積極的に推進するよう学科会議等でよびかけている。なお、過去 4 年間を示した理由は平成 20 年度教員組織に合わせたことによる。

表 1

(注)教員の平均担当コマ数については、担当年数で除している。教員により年数が異なるため、縦の計は算出せず。

	所属名称略称	氏名	資格	年間担当コマ数 (年度)				平均担当コマ数	学生指導等
				20	19	18	17		
1	日本語文化学科	柴田 清継	教授	7	8	8	6	7.3	
2	日本語文化学科	菅 宗次	教授	9	7	4	6	6.5	クラス担任
3	日本語文化学科	寺島 修一	准教授	4	7	6	6	5.8	クラス担任
4	日本語文化学科	西山 明美	准教授	6	6	8	8	7	
5	日本語文化学科	羽生 紀子	講師	4	4	2	4	3.5	クラス担任
6	英語コミュニケーション学科	大槻 和子	教授	13.2				13.2	
7	英語コミュニケーション学科	竹島 信夫	教授	13				13	
8	英語コミュニケーション学科	西嶋 久雄	教授	6	5	2	2	3.8	クラス担任
9	英語コミュニケーション学科	郷路 行生	准教授	5	4	2	2	3.3	クラス担任
10	英語コミュニケーション学科	笹部 徹	准教授	3	3	2	2	2.5	
11	英語コミュニケーション学科	山根 明敏	准教授	3	3	2	2	2.5	
12	英語コミュニケーション学科	三宅 弘晃	講師	2	4	2	5	3.3	
13	幼児教育学科	生地 加代	教授	8	6	6	5	6.3	クラス担任
14	幼児教育学科	藤谷 智子	教授	4	3	4	4	3.8	
15	幼児教育学科	萬代 悟	教授	2	4	9	4	4.8	
16	幼児教育学科	大貝 茂	准教授	5	5	6	6	5.5	
17	幼児教育学科	小野 賢太郎	准教授	1	3	1	9	3.5	クラス担任
18	幼児教育学科	木本 素美子	准教授	5	5	4	4	4.5	クラス担任
19	幼児教育学科	宮澤 是	准教授	1	3			2	クラス担任
20	幼児教育学科	大津 尚志	講師	3				3	クラス担任
21	幼児教育学科	崎山 ゆかり	講師	4	6	8		6	
22	幼児教育学科	山下 由佐	講師	4.7	6	6		5.6	クラス担任
23	幼児教育学科	山田 隆	講師	8				8	
24	人間関係学科	本玉 元	教授	4	3	3.3	4	3.6	
25	人間関係学科	水田 英男	教授	6.3	8.3	6.3	6.3	6.8	クラス担任
26	人間関係学科	井関 良美	講師	3.3				3.3	クラス担任
27	人間関係学科	長岡 雅美	講師	6	6	8	8	7	クラス担任
28	健康・スポーツ学科	伊達 萬里子	教授	3	3	3	3	3	
29	健康・スポーツ学科	永田 隆子	教授	8	6	9	7	7.5	クラス担任
30	健康・スポーツ学科	目連 淳司	教授	3	3	3	3	3	
31	健康・スポーツ学科	北島 見江	准教授	5	5	7	7	6	
32	健康・スポーツ学科	田嶋 恭江	准教授	2	4	2	3	2.8	クラス担任
33	健康・スポーツ学科	中西 匠	准教授	2.5	3	3	3	2.9	
34	健康・スポーツ学科	松本 裕史	講師	4	7	9	7	6.8	
35	健康・スポーツ学科	保井 俊英	講師	5	7	12	10	8.5	
36	食生活学科	谷郷 悦子	教授	4	4	4	1	3.3	
37	食生活学科	松井 徳光	教授	3	2.5	3.5	6	3.8	クラス担任
38	食生活学科	小関 泰平	准教授	4	4	4	4	4	
39	食生活学科	鈴木 一永	准教授	9	12	8	10	9.8	クラス担任
40	食生活学科	花崎 憲子	准教授	2	4	6	4	4	
41	食生活学科	升井 洋至	准教授	6	5	5.5	4	5.1	
42	食生活学科	吉田 徹	准教授	7				7	クラス担任
43	食生活学科	石井 裕子	講師	14	11.5	15	12	13.1	
44	食生活学科	石崎 由美子	講師	2	3	4	6	3.8	
45	食生活学科	岸本 三香子	講師	5	10.5			7.8	
46	食生活学科	澤田 小百合	講師	12	10			11	クラス担任
47	食生活学科	谷野 永和	講師	5	4	6		5	
48	食生活学科	堤 理恵	講師	12.8				12.8	
49	食生活学科	長尾 幸子	講師	8	9	10	11	9.8	クラス担任
50	食生活学科	山本 周美	講師	12				12	
51	生活造形学科	奥野 温子	教授	7	7	6	6	6.5	
52	生活造形学科	濱田 雅子	教授	9	10	9	7	8.8	クラス担任
53	生活造形学科	黒田 智子	准教授	5	5	8	8	6.5	
54	生活造形学科	中尾 時枝	准教授	11	11	13	9	11	クラス担任
55	生活造形学科	森 幹雄	准教授	7	5.4	10	10	8.1	クラス担任
56	生活造形学科	吉田 恭子	准教授	7	9	7	9	8	クラス担任
57	生活造形学科	田中 由佳理	講師	10				10	クラス担任
58	生活造形学科	山本 泉	講師	6	7	5	16	8.5	
59	共通教育科	小西 すず	准教授	2	6	6	6	5	
60	共通教育科	木村 麻衣子	講師	7	14	14	14	12.3	
		合計		369.8	320.2	309.6	296.3		
		平均コマ数		6.2	6.3	6.5	6.6	6.4	

平均コマ数 (4年間) 6.4

表2

(平成20年5月1日現在)

指導項目	指導内容
1 学科別オリエンテーション	立学の精神に基づく教育目標及び学科毎の教育目標等の説明、履修規程等諸規程の説明、教育課程の構造及び履修便覧の見方、卒業要件の説明、教職課程、学科資格等の概略説明、学生の意欲付け
2 クラス別オリエンテーション	担任の紹介および担任制度の説明
3 カリキュラムに関する履修指導	シラバス等を併用しながらの科目選択も含めた履修指導
4 授業に関する事項	専任教員によるオフィスアワーの制度化
5 学籍異動に関する事項	クラス担任による学科適正及び学力相談
6 キャリア形成に関する事項	クラス担任による資格取得も含めた履修指導と適正な将来設計相談、キャリアセンターによる希望業務職種とも関連する履修相談
7 進路に関する事項	クラス担任による併設大学への編入学受験指導及び就職相談、キャリアセンターによる就職、併設大学への編入試験受験の意義、活動の助言指導、各種ガイダンスへの参加指導、進路報告の指導と確認、初期演習におけるキャリアガイダンスの実施
8 出席不良に関する事項	クラス担任、授業担当者からの指導助言、学習意欲喚起の助言
9 成績不良に関する事項	クラス担任による本人への学習意欲喚起、学習方法への助言
10 課外活動に関する事項	運動部、文化部を問わず、クラブ活動における意義、活動の助言指導
11 学生相談・保健相談	学生相談員によるカウンセリング及び自助活動支援、授業・資格・就職・部活動に係る相談、健康管理全般に関する指導
12 学友会活動	クラス担任による体育祭・文化祭等、学友会主催の年間行事の活動への指導助言及び健康管理全般に関する指導助言
13 スーパービジョン	学生相談員に対する指導・助言とともに、直接保護者ならびに学生に対して相談・助言を行う。
14 図書館利用に関すること	クラス担任による図書館利用全般に関するガイダンス
15 指定図書・参考書の利用に関すること	指定図書の必読、参考書の参照などの指導
16 学院キャンパスネットワーク利用講習会	利用方法、オンラインサービスの概要、ID・パスワードの意味、インターネット利用に当たっての情報倫理・ネチケット及びセキュリティ対策の必要性
17 情報教育研究センター利用説明会	情報教育研究センターが全学向けに提供している施設・装置・システム等についての説明と、学習活動における利活用方法の指導
18 教育実習ガイダンスでの指導	実習等の心得、実習記録・指導案の作成方法、学習指導・同和・安全指導に関する留意点
19 編入学生・所属変更学生への個別履修指導	諸資格対策委員から担任へ、特に注意(指導)を要する学生への履修指導依頼
20 実習引率指導	実習中の引率・相談・激励・研究授業講評
21 教育実習履修要件の指導、判定要件不足者への指導	教育実習履修要件を充足させるための事前履修指導、実習要件を充足できなかった者に対する指導
22 資格及び免許状取得のための相談、履修指導、受験指導	資格取得・免許状取得のための、事前履修指導、その他の要件(受験・申請)の指導
23 科目等履修指導	資格取得ができなかった学生に対する卒業後の履修指導、進路指導
24 課外活動に関する事項	運動部・文化部を問わず、クラブ活動における意義・活動の助言指導

(6) 助手、副手、補助職員、技術職員等を十分に、あるいは可能な限り配置しているか。また助手等が教育研究活動等において適切に機能しているかを学長等が現状を記述して下さい。

実験・実習科目には嘱託助手・副手及び非常勤助手・副手がそれぞれ配置され、授業補助体制は整備されている。授業担当者と連携を保ちながら円滑な授業運営に寄与するなど、特に情報処理関連教育に関しては、大学での取り組みと連携し全学的な支援のもと、大学附置の情報教育研究センターの非常勤助手を、従来の4名体制から平成14年度以降8名に増員した。また基礎教育として重要な1年次必修科目「情報活用の基礎関連科目」を習熟

度別講座編成として個々の学生へのサポートを徹底し、講座ごとに主講師1名に加え副講師1名を配置し、人的補助体制を強化している。教育研究支援職員のうち、専任助手、嘱託助手・副手は、常時勤務しているので、教員とは実験・実習等の授業計画、各研究に対する補助や協力関係の点検等、学科会議などで役割等の確認がなされて、教育研究効果を高めるための体制がとられている。

### 【教育環境について】

(1)校舎・校地一覧表を作成して下さい。(平成20年5月1日現在)

区 分	収容 定員	校 舎			校 地		
		基準面積	現有面積	差異	基準面積	現有面積	差異
武庫川女子大学 短期大学部	人 1,740	m <sup>2</sup> 12,200	m <sup>2</sup> 147,702	m <sup>2</sup> 135,502	m <sup>2</sup> 17,400	m <sup>2</sup> 178,475	m <sup>2</sup> 161,075
(併設) 武庫川女子大学	人 7,227	m <sup>2</sup> 48,891	m <sup>2</sup> 192,407	m <sup>2</sup> 143,516	m <sup>2</sup> 72,270	m <sup>2</sup> 268,333	m <sup>2</sup> 196,063
その他共用			— m <sup>2</sup>			— m <sup>2</sup>	
計			192,407 m <sup>2</sup>			268,333 m <sup>2</sup>	

校地基準面積 [収容定員] 1,740 人 × 10 m<sup>2</sup> = 17,400 m<sup>2</sup>

注① 短期大学部の現有面積(校地・校舎)は全て武庫川女子大学と共用している。

注② 武庫川女子大学の現有面積は短期大学部の現有面積を含んでいる。

(2)校舎について、まず設置基準第31条の規定による短期大学全体の基準面積(基準面積を算出する計算式を含む)を示して下さい。また校舎を法人が設置する他の学校等と共用している場合は、他の学校の校舎の基準面積も記載して下さい。さらに校舎の配置図、用途(室名)を示した各階の図面を準備しておいて下さい。なお主要校舎については訪問調査の際にご案内いただきます。

校舎の設置基準面積の算出式は以下のとおりである。また、現有の校舎面積(147,702 m<sup>2</sup>)は全て武庫川女子大学と共用している(武庫川女子大学校舎基準面積:48,891 m<sup>2</sup>)。

	収容定員(人)	基準面積(m <sup>2</sup> )	短大設置基準 別表第二
日本語文化学科	200	2,300	ロ表:文学関係
英語コミュニケーション学科	200		
幼児教育学科	300	2,050	ロ表:教育学・保育学関係
人間関係学科	200	1,300	ロ表:文学、社会学・社会福祉学関係を按分
健康・スポーツ学科	160	1,700	ロ表:体育関係
食生活学科	320	4,850	イ表:家政関係
生活造形学科	360		
計	1,740	12,200	

◆参考資料(10)「各階教室平面図」

(3) 教育研究に使用する情報機器を設置するパソコン室、マルチメディア室、学内LAN、LL教室及び学生自習室の整備状況(機種、台数等を含む)について記述して下さい。またその使用状況(使用頻度等)についても記述して下さい。

### ① 整備状況

情報機器を設置する教室及び自習室は表 3 のとおりである(全ての教室は大学と共用)。主に情報処理関連の授業で使用している。表 3 の自習室以外の教室については、空き時間に学生の自習室として開放している。

学内 LAN について、教職員は各 PC から LAN 接続によりメール連絡・データのやり取りができるようになっている。学生に対してもメールアドレス及びパスワードを配付しており、学内の PC や自宅の PC からアクセスできるため、連絡や課題提出にも利用している。

表 3 情報機器を設置する教室等

建物名	教室名		PC台数 (教員用含む)	主要機種名
マルチメディア館 (MM)	MM-109		21台	Apple PowerMacG3
	MM-201	オープンフロア	81台	Mint Wave ridotto A-PA 73台、 英語 Apple iMac 4台、 HP dc5100SF 4台
	MM-301	コンピュータ実習室	100台	NEC Mate TYPE-ME
	MM-302	コンピュータ実習室	61台	
	MM-303	コンピュータ実習室	63台	
	MM-304	コンピュータ実習室	63台	
	MM-305	コンピュータ実習室	62台	
	MM-306	コンピュータ実習室	61台	
	MM-307	コンピュータ実習室	25台	
	MM-401	コンピュータ実習室	100台	
	MM-402	コンピュータ実習室	62台	
	MM-403	コンピュータ実習室	62台	
	MM-406	コンピュータ実習室	63台	
	MM-407	コンピュータ実習室	62台	
MM-408	コンピュータ実習室	25台		
文学1号館(L1)	L1-202	視聴覚教室	64台	Dell celeron GX60
	L1-204	コンピュータ教室	62台	富士通 FMV
文学2号館(L2)	L2-21	LL教室	64台	Dell celeron GX60
	L2-24	LL自習室	32台	Dell GX270
	L2-27	コンピュータ教室	62台	HP dc 5100 SFF
	L2-41	コンピュータ実習室	60台	COMPAQ
	L2-42	コンピュータ実習室	60台	Dell OptiPlex
	L2-43	コンピュータ実習室	60台	Dell OptiPlex

## ② 使用状況

平成 19 年度における各教室の授業使用状況は、表 4 のとおりである。

表 4 教室の使用状況(授業コマ数・短大のみ)

教室名		前期	後期	教室名		前期	後期
MM-301	コンピュータ実習室	2	2	MM-404	コンピュータ実習室	0	1
MM-302	コンピュータ実習室	3	4	MM-406	コンピュータ実習室	3	1
MM-303	コンピュータ実習室	7	3	MM-407	コンピュータ実習室	0	3
MM-304	コンピュータ実習室	4	3	L1-202	視聴覚教室	4	1
MM-305	コンピュータ実習室	2	1	L1-204	コンピュータ教室	1	0
MM-306	コンピュータ実習室	5	1	L2-21	LL 教室	8	6
MM-307	コンピュータ実習室	4	1	L2-27	コンピュータ教室	3	1
MM-401	コンピュータ実習室	1	0	L2-42	コンピュータ実習室	5	7
MM-402	コンピュータ実習室	5	0	L2-43	コンピュータ実習室	2	2
MM-403	コンピュータ実習室	4	1				

◇添付資料(1)「スチューデントガイド 2008-For Academic Studies-」p.153～p.158

(4) 授業用の機器・備品の整備状況及び整備システム(管理の状況、整備計画等を含む)について、その概要を記述して下さい。なお、機器・備品の整備状況については訪問調査の際に校舎等をご案内いただく際にご説明いただきます。

主要な教室のマルチメディア化(プロジェクター、ビデオ、PC 接続口等の設置)に向けて取り組んでおり、平成 19 年度には未対応の 15 教室をマルチメディア化させることでその課題を達成することができた。現在、約 70 教室のマルチメディア教室があり、授業に活用されている。

(5) 校地・校舎の安全性、障害者への対応、運動場、体育館、学生の休息場所等について記述して下さい。訪問調査の際にご案内いただき、ご説明願います。

安全で良好な構内環境のため、警備については各門への警備員配置、夜間の防犯カメラによる各門有人監視・機械警備を行うとともに、IC 化された学生証・身分証明書(M.I.C.)による小門開錠システムの導入や学校周囲への外灯設置を行っている。設備管理については、24 時間オンライン監視システムを設置している。なお、「武庫川学院安全衛生委員会」を設置し、教職員及び学生・生徒の危険・災害防止と健康の保持増進に関する審議及び改善を行っている。

バリアフリー化に向けて年次計画的にエレベーター、エスカレーター、スロープ、多目的トイレ、自動水栓、照明の人感センサーなどの設置を進めている。また、1階での出入口がバリアフリー化していない建物についても、併設された建物を通り、上下のエレベーターにより、2階から建物間を移動できるよう各建物の 2 階を渡り廊下・連絡橋で結んでいる。今後も該当部署と共通理解を深め、計画的に整備を行っていきたい。

運動場は 2 施設あり陸上競技、サッカー、ソフトボール、タッチフットボール、ラクロス場を備

えている。体育館は3施設あり、それぞれの教育に応じて温水プール、体操室、ダンス室、コンディショニングルーム、トレーニング室などを設置している。授業・部活動などの環境整備のため運動場・体育館の増設・増築、改修など常に改善を行っている。

学生の休息場所として「もみの木広場」を設けたほか、構内の庭園各所にベンチの設置、屋上庭園の新築を行った。また、学生食堂の改修や、「マクドナルド」、「ファミリーマート」、「紀伊國屋書店ブックセンター」、「丸善テキスト販売コーナー」を導入し、学生サービス向上のための整備を行った。

在学生満足度調査や学友会活動により学生の意見を聞き、施設・設備等の改善を行っている。学生アンケートでも以前に比べて良い結果が出ている。

◇添付資料(2)「スチューデントガイド 2008-For Campus Life-」p.21～p.29、p.77～p.80

◆参考資料(11)「武庫川学院安全衛生委員会規程」

### 【図書館・学習資源センター等（以下「図書館等」という。）について】

(1)図書館等の概要について、全体の配置図、座席数、年間図書館予算、購入図書等選定システム、図書等廃棄システム、司書数、情報化の進捗状況等を含めて記述して下さい。なお図書館等には訪問調査の際にご案内いただきます。

本学附属図書館は、中央図書館、薬学分館、及び甲子園会館分室で構成され、有機的に連携している。短期大学部(以下短大部)の図書館施設は大学と共用しており、短大部学生は、主に中央図書館を利用している。中央図書館棟は13階建の建物で、地下1階から6階までの7フロアを使用しており、特徴としては①全面開架方式の導入、②構造的に将来の融通性を考えたモジュラープランニングの採用、③原則として主題別制を導入、④全利用者数の10%以上の座席数の確保、などが挙げられる。

地階は学習図書閲覧室で全分野の利用頻度の高い学習用図書が整備されている。1階メインフロアは参考図書閲覧室、入退館システム、メインカウンター、レファレンスデスクなどが配置されている。2階はCDプレーヤー・DVDデッキ等の視聴覚設備とAV資料を備えている。3階から5階までは専門分野別の研究図書閲覧室、6階は主として製本雑誌閲覧室となっている。総座席数は中央図書館では1,090席、図書館システムは、業務用端末31台、そして利用者用端末が42台からなり、OPACの他、各種データベース・電子ジャーナル・CD-ROM・インターネットの利用も可能で、様々な情報にアクセスできる情報収集の拠点となっている。

附属図書館の面積は10,532㎡、座席数は1,275席、収容可能冊数は721,236冊ある。1座席あたりの学生数は7.8人で学生数9,733人に対して座席数の割合は13.1%になる。附属図書館員数は館長含め15人(うち司書10人)、ほか臨時職員1人、委託及び派遣職員は14名である。

平成19年度の入館者数は250,059人(短大部43,128人含)、館外貸出冊数68,654冊(短大部8,725冊含)、館外AV貸出数は14,384件(短大部3,317件含)である。資料数はこの数年のうちに増加し、現在、中央図書館では508,484冊の蔵書冊数となっている。総数にすると約560,000冊を超え、雑誌は約8,700タイトル、視聴覚資料は約15,000点、電子資料は約300点の図書館資料を整備している。また、平成19年度の図書館資料購入費の内訳は図書購入費が約65,000,000円、雑誌費が約76,000,000円、電子ジャーナル等が約44,000,000円、合計

185,000,000 円である。

図書等の選定については、基本的には館内の選書連絡会により利用の多い分野及び利用率の高い学科の資料を選定し購入している。本学教員による選定としては学科予算によるほか、学生用図書を教員が推薦する制度を設け、図書館委員会で協議して行っている。

学生の参画については学生購入希望図書による選定や学生サポーター(選書活動を行う学生有志)が選定する制度を採用している。

図書館資料収集・管理規程に除籍の基準を設け、「登録した資料で破損が甚だしく使用不能なもの、資料としての価値を失い保存の理由がないと認められるもの、その他図書館長が除籍を適当と認めたもの」と定められているところに従い、適切に運用されている。

◆参考資料(12)「図書館利用案内 2008」

◇添付資料(1)「スチューデントガイド 2008-For Academic Studies-」p.137～p.152

(2) 図書館に備えられている蔵書数(和書、洋書、学術雑誌数、AV資料数等)の表を作成してください(平成 20 年 5 月 1 日現在)。

#### 図書館蔵書数一覧

蔵書冊数	568,408 冊	(内洋書 141,677 冊)
所蔵雑誌種数	8,729 種	(内外国語 1,819 種)
年間受入図書冊数	9,971 冊	(内洋書 437 冊)
年間受入雑誌種数	881 種	(内外国語 315 冊)
年間受入新聞種数	8 種	(内外国語 2 種)

#### 視聴覚資料別所蔵数

種類	ビデオ	LD	DVD	CD	カセット テープ	マイクロ フィルム	CD-ROM	その他	計
所蔵数	6,909	476	1,996	2,308	1,402	1,881	491	52	15,515

(3) 図書館等には学生が利用できる授業に関連する参考図書、その他学生用の一般図書等は整備されているか。また学生の図書館等の利用は活発かを、図書館等の責任者(図書館長等)が現状をどのように捉えているかを記述して下さい。

学生が利用できる授業に関連する図書については研究用図書と区分し、中央図書館地階の学習用図書閲覧室には約 10 万冊に及ぶ全分野の学習用図書を配架している。また、授業に直結する指定図書も整備して利用しやすい学習環境を形成している。

そのほか、一般の辞典類などについては利用の便を図るため、1階に約 13,000 冊を備えている。1階にはメインカウンターのほか、レファレンスデスクや充実した参考図書閲覧室、学術電子資料(データベース、電子ジャーナルなど)が利用できる検索コーナーなどが整備されており、さらに教員免許や諸資格の取得を支援するために教員・学生が選定した資格関

連図書教育後援会費で購入し、コーナーを設置して利用促進に繋げている。

学生の利用状況については前述のとおりであるが、大学生も含め、1日約 1,000 人の学生が入館し、図書を貸し出しするなど学生が図書館を利活用している。さらに学生の関心を高めるために館内においてテーマを設けた企画展示を行うほか、学生サポーターを募集するなどの措置を講じている。

(4) 図書館等から学内外への情報発信、他の図書館等との連携等、現在の図書館活動について、図書館長等がどのように受け止めているかを記述して下さい。

図書館ホームページの立ち上げについては館内に図書館ホームページワーキンググループを設置して内容の充実を図り、現在では「蔵書検索」「情報検索(Web データベース等)」などのコンテンツ用ボタンを整備している。図書館ホームページからは OPAC 検索だけでなく、大型データベース SciFinder Scholar や Academic Search Elite を代表とする各種データベース、及び Elsevier 社が提供する Science Direct をはじめとする各種電子ジャーナルを提供している。個人向けの連絡には、図書館システムからの自動送信によるメールも活用し、インターネットの利点を最大限に有用している。

LIMEDIO システムでは、学院キャンパスネットワークに接続し、インターネットを介して学内のみならず学外へも OPAC での目録所在情報を提供している。国立情報学研究所の「研究紀要電子化支援事業」を活用して本学の研究紀要を電子化し、本文を一般公開している。本学で収集した学術情報を学外へ発信すべく、学術機関リポジトリの立ち上げを図書館委員会で検討・協議し、実現に向けて進めている。

他大学図書館等との協力関係については、国公私の大学図書館協会、大学図書館協議会加盟館はもとより国立国会図書館、各公共図書館などあらゆる関係諸機関との連携強化を図り、相互利用サービスの拡大を推進している。なかでも私立大学図書館協会西地区部会阪神地区協議会、兵庫県大学図書館協議会加盟館と相互利用協定を結んで相互利用の連携・強化を図っている。一方、他の国公立大学その他の教育研究機関との所蔵文献の提供、入手(多くは文献複写)が活発に行われている。これらは国立情報学研究所の ILL システムに接続することによって現物の貸借、文献複写の相互協力業務の効率化が図られている。中央図書館と薬学分館、及び甲子園会館分室の間では資料の現物貸借サービスを行っており、学内の相互利用システムが構築されている。

◆ 参考資料(12)「図書館利用案内 2008」

#### 【特記事項について】

(1) この《Ⅲ 教育の実施体制》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば外国人教員の採用、授業の公開、学習評価活動等、努力していることがあれば記述して下さい。

特になし

(2) 特別な事由や事情があり、この《Ⅲ 教育の実施体制》の評価項目や評価の観点を求めることが実現(達成)できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

#### <Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果>

##### 【単位認定について】

(1)「単位認定の状況表」(平成 19 年度卒業生、学科別、例あり)を作成し、単位認定の方法と評価の実態を記載して下さい。なお、この表は平成 19 年度卒業生が入学時より卒業までに履修した科目について作成して下さい。

日本語文化学科の単位認定の状況表

(平成19年度卒業生)

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
					本試	再試等	計	A	B	C	不合格
日本語文化学科	英会話・初級	演習	55	平常点	94.5	0.0	94.5	21.8	49.1	23.6	5.5
	英会話・中級	演習	25	平常点	100.0	0.0	100.0	52.0	32.0	16.0	0.0
	漢字表記の実際	講義	77	試験、平常点	89.6	0.0	89.6	24.7	20.8	44.2	10.4
	近現代文学講読A	演習	27	レポート、平常点	85.2	0.0	85.2	37.0	44.4	3.7	14.8
	近現代文学講読B	演習	22	レポート、平常点	77.3	0.0	77.3	31.8	9.1	36.4	22.7
	近代語の世界A	講義	55	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	47.3	21.8	30.9	0.0
	近代語の世界B	講義	37	試験、レポート、平常点	97.3	0.0	97.3	48.6	32.4	16.2	2.7
	現代語の世界 I A	講義	88	試験、平常点	90.9	0.0	90.9	50.0	20.5	20.5	9.1
	現代語の世界 I B	講義	49	試験、平常点	67.3	0.0	67.3	42.9	12.2	12.2	32.7
	現代語の世界 II A	講義	58	レポート、平常点	98.3	0.0	98.3	55.2	19.0	24.1	1.7
	現代語の世界 II B	講義	21	レポート、平常点	95.2	0.0	95.2	66.7	14.3	14.3	4.8
	古代語の世界A	講義	37	試験	94.6	0.0	94.6	35.1	37.8	21.6	5.4
	古代語の世界B	講義	26	試験	100.0	0.0	100.0	53.8	30.8	15.4	0.0
	古典文学講読A	演習	60	試験、レポート、平常点	95.0	0.0	95.0	66.7	21.7	6.7	5.0
	古典文学講読B	演習	48	試験、レポート、平常点	97.9	0.0	97.9	64.6	29.2	4.2	2.1
	実用書道A	講義	55	レポート、平常点	96.4	0.0	96.4	32.7	63.6	0.0	3.6
	実用書道B	講義	65	レポート、平常点	96.9	0.0	96.9	40.0	56.9	0.0	3.1
	実用文の実際	講義	48	レポート、平常点	89.6	0.0	89.6	29.2	35.4	25.0	10.4
	手話言語の実際A	講義	43	試験、平常点	88.4	0.0	88.4	58.1	20.9	9.3	11.6
	手話言語の実際B	講義	24	試験、平常点	95.8	0.0	95.8	83.3	8.3	4.2	4.2
	初期演習	演習	105	レポート、平常点	98.1	0.0	98.1	84.8	9.5	3.8	1.9
	書の美の世界A	講義	20	レポート、平常点	95.0	0.0	95.0	30.0	50.0	15.0	5.0
	書の美の世界B	講義	15	レポート、平常点	80.0	0.0	80.0	40.0	13.3	26.7	20.0
	書道 I A	講義	67	レポート、平常点	98.5	0.0	98.5	64.2	32.8	1.5	1.5
	書道 I B	講義	76	レポート、平常点	98.7	0.0	98.7	80.3	18.4	0.0	1.3
	書道 II A	演習	62	レポート、平常点	90.3	0.0	90.3	56.5	25.8	8.1	9.7
	書道 II B	演習	55	レポート、平常点	96.4	0.0	96.4	50.9	45.5	0.0	3.6
	情報活用の応用 I	演習	82	平常点	97.6	0.0	97.6	58.5	26.8	12.2	2.4
	情報活用の応用 II	演習	48	平常点	93.8	0.0	93.8	66.7	20.8	6.3	6.3
	情報活用の基礎	演習	106	平常点	97.2	0.0	97.2	72.6	17.9	6.6	2.8
	中国文学入門A	講義	37	試験、レポート、平常点	86.5	0.0	86.5	48.6	24.3	13.5	13.5
	中国文学入門B	講義	36	試験、レポート、平常点	80.6	0.0	80.6	69.4	2.8	8.3	19.4
	日本の敬語	講義	42	試験、レポート、平常点	81.0	0.0	81.0	26.2	28.6	26.2	19.0
	日本の方言	講義	83	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	80.7	12.0	7.2	0.0
	日本語学入門A	講義	105	試験、平常点	94.3	3.8	98.1	50.5	29.5	18.1	1.9
	日本語学入門B	講義	105	試験、平常点	98.1	0.0	98.1	43.8	37.1	17.1	1.9
	日本文学と中国文学A	講義	5	試験、平常点	80.0	0.0	80.0	0.0	40.0	40.0	20.0
	日本文学と中国文学B	講義	5	試験、平常点	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0	60.0
	日本文学史A	講義	64	試験、平常点	89.1	0.0	89.1	76.6	3.1	9.4	10.9
	日本文学史B	講義	40	試験、平常点	95.0	0.0	95.0	90.0	5.0	0.0	5.0
	日本文学入門A	講義	110	試験、平常点	77.2	16.4	93.6	28.2	27.3	38.2	6.4
	日本文学入門B	講義	114	試験、平常点	72.9	17.5	90.4	22.8	31.6	36.0	9.6
	文学実地研究A	講義	44	レポート	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	文学実地研究B	講義	45	レポート、平常点	97.8	0.0	97.8	88.9	6.7	2.2	2.2
	文章表現法	講義	40	試験、レポート、平常点	95.0	0.0	95.0	20.0	37.5	37.5	5.0
	話し方の実際A	講義	65	平常点	96.9	0.0	96.9	44.6	49.2	3.1	3.1
	話し方の実際B	講義	36	平常点	94.4	0.0	94.4	47.2	36.1	11.1	5.6
近代文学講読A	演習	5	レポート、平常点	80.0	0.0	80.0	60.0	0.0	20.0	20.0	
中古文学講読A	演習	6	試験、レポート、平常点	83.3	0.0	83.3	33.3	16.7	33.3	16.7	
中古文学講読B	演習	5	試験、平常点	60.0	0.0	60.0	60.0	0.0	0.0	40.0	
中国文学 I B	講義	4	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	75.0	25.0	0.0	0.0	
中世文学講読A	講義	6	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	
中世文学講読B	講義	4	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	25.0	50.0	25.0	0.0	
教育課程総論	講義	12	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	41.7	33.3	25.0	0.0	
教育原理	講義	18	試験、平常点	88.9	0.0	88.9	22.2	22.2	44.4	11.1	
教育行政学	講義	3	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
教育実習 I	講義	12	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	83.3	16.7	0.0	0.0	
教育実習 II	学外実習	12	平常点	100.0	0.0	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	
教育実習 III	学外実習	12	平常点	100.0	0.0	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	
教育心理学	講義	18	試験、レポート、平常点	88.9	0.0	88.9	38.9	5.6	44.4	11.1	
教育相談の研究	講義	12	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
教職の研究	講義	5	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
教職への道	講義	17	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	88.2	11.8	0.0	0.0	
国語科指導法 I	講義	12	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	25.0	50.0	25.0	0.0	

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)				
					本試	再試等	計	A	B	C	不合格	
日本語 化学 理科	国語科指導法Ⅱ	講義	7	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	障害児の発達と教育	講義	7	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	28.6	57.1	14.3	0.0	
	人権教育の研究	講義	9	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	88.9	0.0	11.1	0.0	
	生徒指導の研究	講義	12	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	83.3	16.7	0.0	0.0	
	総合演習Ⅰ	演習	12	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	83.3	16.7	0.0	0.0	
	総合演習Ⅱ	演習	12	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	75.0	25.0	0.0	0.0	
	道徳教育の研究	講義	12	試験、レポート、平常点	91.7	0.0	91.7	41.7	33.3	16.7	8.3	
	コミュニケーション論	講義	16	試験、レポート、平常点	93.8	0.0	93.8	93.8	0.0	0.0	6.3	
	レファレンスサービス演習	演習	31	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	80.6	16.1	3.2	0.0	
	資料組織演習Ⅰ	演習	33	試験	87.9	0.0	87.9	48.5	12.1	27.3	12.1	
	資料組織演習Ⅱ	演習	28	試験、レポート	89.3	0.0	89.3	17.9	35.7	35.7	10.7	
	資料組織概説	講義	32	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	59.4	12.5	28.1	0.0	
	資料特論	講義	20	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	児童サービス論	講義	28	平常点	96.4	0.0	96.4	96.4	0.0	0.0	3.6	
	情報サービス概説	講義	32	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	情報機器論	講義	8	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	87.5	12.5	0.0	0.0	
	情報検索演習	演習	32	レポート、平常点	96.9	0.0	96.9	34.4	37.5	25.0	3.1	
	図書館サービス論	講義	33	試験、平常点	84.9	3.0	87.9	9.1	21.2	57.6	12.1	
	図書館概論	講義	32	試験、平常点	96.9	0.0	96.9	50.0	28.1	18.8	3.1	
	図書館経営論	講義	33	試験、平常点	90.9	0.0	90.9	45.5	36.4	9.1	9.1	
	図書館資料論	講義	32	試験、平常点	93.8	0.0	93.8	56.3	15.6	21.9	6.3	
	図書館特論	学外実習	4	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	図書及び図書館史	講義	18	試験、平常点	94.4	0.0	94.4	33.3	11.1	50.0	5.6	
	生涯学習概論	講義	28	試験、レポート、平常点	96.4	0.0	96.4	42.9	46.4	7.1	3.6	
	専門資料論	講義	28	試験、レポート、平常点	96.4	0.0	96.4	89.3	7.1	0.0	3.6	
	共通 教育 科目	神話・伝説の世界から	講義	5	試験、平常点	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0	60.0
		ミステリーの物語学	講義	15	試験	73.3	0.0	73.3	40.0	20.0	13.3	26.7
児童文学の世界		講義	36	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	83.3	8.3	8.3	0.0	
コンピュータ音楽入門		講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
感性の書		講義	11	レポート、平常点	90.9	0.0	90.9	81.8	9.1	0.0	9.1	
日本舞踊		講義	7	レポート、平常点	85.7	0.0	85.7	85.7	0.0	0.0	14.3	
子どもと家庭		講義	8	平常点	75.0	0.0	75.0	37.5	37.5	0.0	25.0	
社会へのパスポート		講義	3	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
カウンセリングスキル		講義	4	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	25.0	25.0	0.0	
実践カウンセリング		講義	3	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	
家族のゆくえ		講義	18	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	38.9	11.1	0.0	
「ふつう」を考える		講義	11	レポート、平常点	90.9	0.0	90.9	63.6	27.3	0.0	9.1	
調理と健康		講義	20	試験、平常点	65.0	0.0	65.0	20.0	25.0	20.0	35.0	
ジャストウエイのための食事学		講義	5	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
台所空間と生活文化		講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
日本国憲法		講義	14	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	7.1	28.6	64.3	0.0	
ジェンダー問題を考える		講義	9	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	88.9	11.1	0.0	0.0	
女性学のフロンティア		講義	5	レポート、平常点	80.0	0.0	80.0	80.0	0.0	0.0	20.0	
テレビの時代－報道の視点から		講義	8	試験	100.0	0.0	100.0	12.5	50.0	37.5	0.0	
悪質商法から身を守る法		講義	8	試験	100.0	0.0	100.0	62.5	37.5	0.0	0.0	
「ゆかた」づくりに挑戦		講義	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
スポーツの医学		講義	1	試験、レポート	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
精神分析－心の深層を知る－		講義	3	試験、レポート、平常点	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3	
英語Ⅰ		講義	12	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	41.7	25.0	33.3	0.0	
英語Ⅱ		演習	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
TOEIC英語		演習	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
特別英語演習Ⅰ		演習	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
フランス語Ⅰ		演習	2	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	
中国語Ⅰ		演習	2	試験、平常点	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	
スポーツ実技(バレーボール)		実験実習等	7	平常点	100.0	0.0	100.0	71.4	14.3	14.3	0.0	
スポーツ実技(バドミントン)		実験実習等	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
スポーツ実技(卓球)		実験実習等	15	平常点	100.0	0.0	100.0	93.3	6.7	0.0	0.0	
スポーツ実技(フィットネス)		実験実習等	6	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	
中国四千年の知恵を現代に生かす		講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
TOEIC入門		演習	3	レポート、平常点	66.7	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3	33.3	
スポーツ実技(運動あそび)		実験実習等	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
スポーツ育児学のすすめ		講義	2	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
人を健康にする行動科学		講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
自分を変える話し方		講義	8	レポート、平常点	87.5	0.0	87.5	62.5	25.0	0.0	12.5	
女性のためのライフプランニング		講義	12	レポート、平常点	91.7	0.0	91.7	41.7	33.3	16.7	8.3	
現代用語を理解する		講義	24	試験、平常点	95.8	0.0	95.8	83.3	8.3	4.2	4.2	
女性キャリアの磨き方		講義	5	レポート、平常点	80.0	0.0	80.0	80.0	0.0	0.0	20.0	
「心中天網島」の女房「おさん」		講義	1	試験	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
中国文化へのいざない		講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
現代日本と戦争と平和		講義	5	レポート、平常点	80.0	0.0	80.0	0.0	40.0	40.0	20.0	
福祉レクリエーションの実践		講義	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
漢詩で読む中国紀行		講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
見てわかる日本の文化	講義	3	レポート	100.0	0.0	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0		
日本史の中の女性たち	講義	5	レポート	80.0	0.0	80.0	60.0	20.0	0.0	20.0		
生活文化史(食生活を中心に)	講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0		

(注)「主な単位認定の方法」欄の平常点とは、授業中の小テスト、課題、発表、受講態度などによる総合的な評価を表す。

英語コミュニケーション学科の単位認定の状況表

(平成19年度卒業生)

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
					本試	再試等	計	A	B	C	不合格
英語コミュニケーション学	情報活用の基礎	演習	99	平常点	99.0	0.0	99.0	77.8	13.1	8.1	1.0
	TOEIC・検定英語演習A	演習	61	試験、平常点	91.8	0.0	91.8	59.0	21.3	11.5	8.2
	TOEIC・検定英語演習B	演習	45	試験、平常点	86.7	0.0	86.7	31.1	33.3	22.2	13.3
	TOEIC演習	演習	98	試験、平常点	95.9	0.0	95.9	48.0	34.7	13.3	4.1
	アメリカの社会	講義	97	平常点	97.9	0.0	97.9	42.3	44.3	11.3	2.1
	アメリカの文化	講義	97	平常点	100.0	0.0	100.0	94.8	5.2	0.0	0.0
	アメリカの文学	講義	97	平常点	100.0	0.0	100.0	54.6	39.2	6.2	0.0
	キャリア・イングリッシュ	演習	40	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	62.5	25.0	12.5	0.0
	コミュニケーション・グラマー I	講義	106	試験、平常点	91.6	0.9	92.5	56.6	20.8	15.1	7.5
	コミュニケーション・グラマー II	講義	2	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	コンプリヘンシヴ リーディング	演習	97	平常点	100.0	0.0	100.0	46.4	47.4	6.2	0.0
	ライティング	演習	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	リーディング	演習	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	リスニング	演習	1	レポート	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	英会話	演習	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	英語とインターネット発信A	演習	14	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	78.6	14.3	7.1	0.0
	英語とインターネット発信B	演習	6	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	83.3	16.7	0.0	0.0
	英語の発音	演習	101	試験、平常点	94.0	3.0	97.0	44.6	32.7	19.8	3.0
	英語の歴史と文化	講義	22	試験、レポート、平常点	95.5	0.0	95.5	54.5	18.2	22.7	4.5
	英語プレゼンテーション法A	演習	12	レポート、平常点	91.7	0.0	91.7	58.3	16.7	16.7	8.3
	英語プレゼンテーション法B	演習	4	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	英語国際事情 I	演習	80	試験、平常点	92.5	0.0	92.5	58.8	25.0	8.8	7.5
	英語国際事情 II	演習	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	英米文学鑑賞	演習	53	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	64.2	26.4	9.4	0.0
	欧米の文化A	演習	98	平常点	99.0	1.0	100.0	79.6	16.3	4.1	0.0
	欧米の文化B	演習	98	平常点	100.0	0.0	100.0	85.7	10.2	4.1	0.0
	基礎ライティング	演習	91	レポート、平常点	95.6	0.0	95.6	61.5	27.5	6.6	4.4
	基礎リーディング	演習	87	試験、平常点	94.3	0.0	94.3	64.4	20.7	9.2	5.7
	基礎リスニング	演習	98	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	40.8	37.8	21.4	0.0
	基礎英会話	演習	100	平常点	98.0	0.0	98.0	74.0	15.0	9.0	2.0
	検定英語演習	演習	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	現代の企業実務	講義	7	レポート、平常点	71.4	0.0	71.4	57.1	14.3	0.0	28.6
	現代の国際社会	講義	39	レポート、平常点	92.3	0.0	92.3	74.4	15.4	2.6	7.7
	初期演習	演習	98	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	94.9	2.0	3.1	0.0
	上級ライティングA	演習	49	平常点	85.7	0.0	85.7	44.9	32.7	8.2	14.3
	上級ライティングB	演習	13	平常点	100.0	0.0	100.0	76.9	15.4	7.7	0.0
	上級リーディングA	演習	16	試験、平常点	81.3	0.0	81.3	50.0	25.0	6.3	18.8
	上級リーディングB	演習	6	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	66.7	16.7	16.7	0.0
	上級リスニングA	演習	72	平常点	94.4	0.0	94.4	65.3	12.5	16.7	5.6
	上級リスニングB	演習	27	平常点	100.0	0.0	100.0	51.9	14.8	33.3	0.0
	上級英会話A	演習	68	レポート、平常点	98.5	0.0	98.5	72.1	22.1	4.4	1.5
	上級英会話B	演習	28	平常点	100.0	0.0	100.0	35.7	60.7	3.6	0.0
	情報活用の応用	演習	60	平常点	95.0	0.0	95.0	85.0	8.3	1.7	5.0
	中級英会話	演習	97	平常点	99.0	0.0	99.0	57.7	40.2	1.0	1.0
	中級英作文	演習	97	平常点	100.0	0.0	100.0	55.7	38.1	6.2	0.0
	秘書実務	演習	64	試験、平常点	93.8	0.0	93.8	53.1	34.4	6.3	6.3
	国際ビジネスと企業英語	演習	32	平常点	96.9	0.0	96.9	68.8	15.6	12.5	3.1
	オフィス・マナー	演習	53	レポート、平常点	98.1	0.0	98.1	56.6	37.7	3.8	1.9
	ツールズ入門	講義	33	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	57.6	42.4	0.0	0.0
	異文化事情	講義	79	レポート、平常点	98.7	0.0	98.7	63.3	29.1	6.3	1.3
	英語科指導法 I	講義	16	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	81.3	18.8	0.0	0.0
	英語科指導法 II	講義	6	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	83.3	16.7	0.0	0.0
	教育課程総論	講義	12	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	25.0	66.7	8.3	0.0
	教育原理	講義	17	試験、平常点	94.1	0.0	94.1	17.6	41.2	35.3	5.9
	教育実習 I	講義	16	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	93.8	6.3	0.0	0.0
	教育実習 II	学外実習	11	平常点	100.0	0.0	100.0	72.7	27.3	0.0	0.0
教育実習 III	学外実習	11	平常点	100.0	0.0	100.0	72.7	27.3	0.0	0.0	
教育心理学	講義	18	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	38.9	38.9	22.2	0.0	
教育相談の研究	講義	12	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
教職への道	講義	18	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	77.8	22.2	0.0	0.0	
障害児の発達と教育	講義	3	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
人権教育の研究	講義	17	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	64.7	29.4	5.9	0.0	
生徒指導の研究	講義	12	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
総合演習 I	演習	12	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
総合演習 II	演習	12	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	83.3	16.7	0.0	0.0	
道徳教育の研究	講義	12	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	58.3	25.0	16.7	0.0	
レファレンスサービス演習	演習	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
資料組織演習 I	演習	3	試験	66.7	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3	
資料組織演習 II	演習	1	試験、レポート	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
資料組織概説	講義	3	試験、レポート、平常点	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	66.7	
資料特論	講義	3	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
児童サービス論	講義	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
情報サービス概説	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
情報機器論	講義	3	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
情報検索演習	演習	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
図書館サービス論	講義	2	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	
図書館概論	講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
図書館経営論	講義	3	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
図書館資料論	講義	2	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
生涯学習概論	講義	3	試験、レポート、平常点	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	66.7	
専門資料論	講義	4	試験、レポート、平常点	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	50.0	

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
					本試	再試等	計	A	B	C	不合格
共通教育科目	神話・伝説の世界から	講義	3	試験、平常点	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7
	ミステリーの物語学	講義	2	試験	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	児童文学の世界	講義	5	レポート、平常点	80.0	0.0	80.0	40.0	40.0	0.0	20.0
	日本舞踊	講義	3	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	子どもと家庭	講義	5	平常点	100.0	0.0	100.0	40.0	60.0	0.0	0.0
	カウンセリングスキル	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	実践カウンセリング	講義	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	家族のゆくえ	講義	7	レポート、平常点	71.4	0.0	71.4	14.3	28.6	28.6	28.6
	「ふつう」を考える	講義	4	レポート、平常点	75.0	0.0	75.0	25.0	0.0	50.0	25.0
	子ども「遊び」	講義	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	調理と健康	講義	3	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	33.3	66.7	0.0
	ジャストウエイトのための食事学	講義	6	試験、レポート、平常点	83.3	0.0	83.3	50.0	33.3	0.0	16.7
	服飾からみた生活文化	講義	4	レポート、平常点	75.0	0.0	75.0	50.0	25.0	0.0	25.0
	日本国憲法	講義	12	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	ジェンダー問題を考える	講義	2	レポート、平常点	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	女性学のフロンティア	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	テレビの時代－報道の視点から	講義	1	試験	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	悪質商法から身を守る法	講義	2	試験	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	「ゆかた」づくりに挑戦	講義	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	精神分析－心の深層を知る－	講義	1	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	TOEIC英語	演習	1	平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	ドイツ語Ⅰ	演習	3	平常点	100.0	0.0	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	ドイツ語Ⅱ	演習	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	フランス語Ⅰ	演習	16	試験、レポート、平常点	93.7	0.0	93.7	31.3	43.6	18.8	6.3
	中国語Ⅰ	演習	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	スポーツ実技(バレーボール)	実験実習等	3	平常点	100.0	0.0	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	スポーツ実技(卓球)	実験実習等	3	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	スポーツ実技(フィットネス)	実験実習等	5	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	自分を変える話し方	講義	10	レポート、平常点	80.0	0.0	80.0	60.0	20.0	0.0	20.0
	女性のためのライフプランニング	講義	7	レポート、平常点	71.4	0.0	71.4	28.6	14.3	28.6	28.6
	現代用語を理解する	講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性キャリアの磨き方	講義	13	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	中国文化へのいざない	講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	福祉レクリエーションの実際	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	見てわかる日本の文化	講義	1	レポート	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	日本史の中の女性たち	講義	2	レポート	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0

(注)「主な単位認定の方法」欄の平常点とは、授業中の小テスト、課題、発表、受講態度などによる総合的な評価を表す。

幼児教育学科の単位認定の状況表

(平成19年度卒業生)

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
					本試	再試等	計	A	B	C	不合格
幼児教育学科	家族援助論	講義	161	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	67.1	30.4	2.5	0.0
	外国語コミュニケーションⅠ	演習	163	平常点	100.0	0.0	100.0	57.7	31.3	11.0	0.0
	外国語コミュニケーションⅡ	演習	164	平常点	99.4	0.0	99.4	25.0	59.8	14.6	0.6
	教育課程総論	講義	163	試験、レポート、平常点	98.2	0.6	98.8	58.9	38.7	1.2	1.2
	教育原理	講義	182	試験、平常点	89.6	0.0	89.6	33.0	37.4	19.2	10.4
	教育行政学	講義	88	試験、平常点	96.6	0.0	96.6	68.2	12.5	15.9	3.4
	教育情報処理	演習	23	レポート、平常点	95.7	0.0	95.7	91.3	0.0	4.3	4.3
	教育心理学	講義	165	試験、平常点	98.8	0.0	98.8	41.2	46.1	11.5	1.2
	教科音楽	演習	155	平常点	99.4	0.0	99.4	58.7	29.7	11.0	0.6
	教科音楽Ⅰ	演習(レ)	170	試験、平常点	95.9	0.0	95.9	49.4	42.9	3.5	4.1
	教科音楽Ⅱ	演習(レ)	164	試験、平常点	99.4	0.0	99.4	76.2	21.3	1.8	0.6
	教科音楽Ⅲ	演習(レ)	74	試験、平常点	98.6	0.0	98.6	94.6	4.1	0.0	1.4
	教科国語	講義	145	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	77.9	15.9	6.2	0.0
	教科算数	講義	28	平常点	89.3	0.0	89.3	75.0	10.7	3.6	10.7
	教科図画工作	演習	162	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	43.8	46.3	9.9	0.0
	教科図画工作演習	演習	102	平常点	100.0	0.0	100.0	58.8	34.3	6.9	0.0
	教科生活	講義	8	レポート、平常点	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	教科体育	演習	164	レポート、平常点	98.8	0.0	98.8	92.7	5.5	0.6	1.2
	教科体育演習	演習	39	レポート、平常点	87.2	0.0	87.2	69.2	10.3	7.7	12.8
	教職への道	講義	163	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	90.2	9.2	0.6	0.0
	児童福祉	講義	161	試験、平常点	98.8	0.6	99.4	53.4	29.2	16.8	0.6
	社会福祉	講義	161	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	64.0	27.3	8.7	0.0
	社会福祉援助技術A	演習	161	試験、レポート、平常点	99.4	0.0	99.4	77.0	16.8	5.6	0.6
	社会福祉援助技術B	演習	160	試験、レポート、平常点	99.4	0.0	99.4	84.4	11.9	3.1	0.6
	初期演習	演習	163	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	96.9	3.1	0.0	0.0
	小児栄養	演習	162	試験、平常点	99.4	0.6	100.0	50.0	44.4	5.6	0.0
	小児保健A	講義	162	試験、平常点	99.4	0.0	99.4	45.7	30.2	23.5	0.6
	小児保健B	講義	161	試験、平常点	94.4	3.7	98.1	51.6	35.4	11.2	1.9
	小児保健実習	実験実習等	161	平常点	98.8	0.0	98.8	66.5	23.0	9.3	1.2
	障害児の発達と教育	講義	2	試験	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	障害児保育Ⅰ	演習	175	試験、平常点	92.6	0.0	92.6	11.4	38.9	42.3	7.4
	障害児保育ⅡA	演習	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	障害児保育ⅡB	演習	1	レポート、平常点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	情報機器の操作Ⅰ	演習	163	平常点	100.0	0.0	100.0	85.9	12.9	1.2	0.0
	情報機器の操作Ⅱ	演習	163	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	98.2	1.2	0.6	0.0
	人権教育と福祉の研究	講義	137	レポート、平常点	98.5	0.0	98.5	78.1	17.5	2.9	1.5
	精神保健	講義	161	試験、レポート、平常点	93.2	6.2	99.4	37.3	40.4	21.7	0.6
	総合演習Ⅰ	演習	163	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	74.8	22.1	3.1	0.0
	総合演習Ⅱ	演習	164	レポート、平常点	98.2	0.0	98.2	67.7	28.7	1.8	1.8

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
					本試	再試等	計	A	B	C	不合格
幼児教育学科	体育Ⅰ(講義)	講義	163	平常点	100.0	0.0	100.0	32.5	59.5	8.0	0.0
	体育Ⅱ(実技)	実験実習等	163	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	49.7	48.5	1.8	0.0
	日本国憲法	講義	163	試験、平常点	99.4	0.6	100.0	41.1	47.9	11.0	0.0
	乳児保育Ⅰ	演習	163	試験、レポート、平常点	99.4	0.0	99.4	63.2	33.1	3.1	0.6
	乳児保育ⅡB	演習	1	試験、平常点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	乳幼児理解の研究	演習	164	レポート、平常点	98.2	0.0	98.2	89.0	9.1	0.0	1.8
	発達心理学	講義	165	試験、平常点	98.2	0.0	98.2	85.5	9.1	3.6	1.8
	保育原理Ⅰ	講義	167	試験、レポート、平常点	96.4	0.6	97.0	53.3	21.0	22.8	3.0
	保育原理Ⅱ	講義	172	試験、平常点	92.4	0.6	93.0	47.1	25.6	20.3	7.0
	保育指導法(保育と環境)	講義	28	平常点	78.6	0.0	78.6	78.6	0.0	0.0	21.4
	保育指導法(遊びと指導)	講義	162	試験、平常点	99.4	0.0	99.4	79.0	14.8	5.6	0.6
	保育実習Ⅰ	学外実習	161	平常点	100.0	0.0	100.0	38.5	52.8	8.7	0.0
	保育実習Ⅱ	学外実習	161	レポート、平常点	99.4	0.0	99.4	88.2	10.6	0.6	0.6
	保育内容・環境	演習	163	試験、レポート、平常点	99.4	0.6	100.0	76.1	18.4	5.5	0.0
	保育内容・健康	演習	164	試験、レポート、平常点	98.2	0.6	98.8	40.2	43.9	14.6	1.2
	保育内容・言葉	演習	169	試験、レポート、平常点	95.9	0.0	95.9	65.7	27.2	3.0	4.1
	保育内容・人間関係	演習	163	試験、平常点	97.6	1.8	99.4	78.5	16.0	4.9	0.6
	保育内容・表現Ⅰ	演習	164	平常点	99.4	0.0	99.4	76.2	17.1	6.1	0.6
	保育内容・表現Ⅱ	演習	163	試験、平常点	98.2	0.6	98.8	80.4	12.9	5.5	1.2
	保育内容総論	演習	165	試験、レポート、平常点	98.2	0.6	98.8	60.6	24.8	13.3	1.2
	幼稚園教育実習Ⅰ	講義	163	試験、レポート、平常点	98.2	0.6	98.8	82.2	14.1	2.5	1.2
	幼稚園教育実習Ⅱ	学外実習	161	平常点	99.4	0.0	99.4	82.0	16.8	0.6	0.6
	養護原理	講義	179	試験、平常点	88.8	0.6	89.4	55.9	15.6	17.9	10.6
	養護内容	演習	161	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	85.7	7.5	6.8	0.0
	障害児の発達教育論	講義	151	試験	94.7	0.0	94.7	44.4	35.8	14.6	5.3
	乳児保育Ⅱ	演習	68	平常点	95.6	0.0	95.6	63.2	26.5	5.9	4.4
	障害児保育Ⅱ	演習	65	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	95.4	3.1	1.5	0.0
	レファレンスサービス演習	演習	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	資料組織演習Ⅰ	演習	1	試験	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	資料組織演習Ⅱ	演習	1	試験、レポート	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	資料組織概説	講義	2	試験、レポート、平常点	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	資料特論	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	児童サービス論	講義	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	情報サービス概説	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	情報機器論	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	情報検索演習	演習	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	図書館サービス論	講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	図書館概論	講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	図書館経営論	講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	図書館資料論	講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	生涯学習概論	講義	2	試験、レポート、平常点	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	専門資料論	講義	1	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	共通教育科目	ミステリーの物語学	講義	2	試験	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
児童文学の世界		講義	7	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	85.7	14.3	0.0	0.0
感性の書		講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
日本舞踊		講義	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
子どもと家庭		講義	6	平常点	66.7	0.0	66.7	0.0	50.0	16.7	33.3
家族のゆくえ		講義	4	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	75.0	25.0	0.0	0.0
「ふつう」を考える		講義	2	レポート、平常点	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0
子ども「遊び」		講義	2	レポート、平常点	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0
調理と健康		講義	6	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	16.7	33.3	50.0	0.0
ジャストウエイトのための食事学		講義	2	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
服飾からみた生活文化		講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
悪質商法から身を守る法		講義	1	試験	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
スポーツの医学		講義	1	試験、レポート	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
精神分析ー心の深層を知るー		講義	2	試験、レポート、平常点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
TOEIC英語		演習	2	平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0
ドイツ語Ⅰ		演習	1	平常点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
フランス語Ⅰ		演習	1	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
スポーツ実技(バレーボール)		実験実習等	6	平常点	83.3	0.0	83.3	66.7	16.7	0.0	16.7
スポーツ実技(バドミントン)		実験実習等	2	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
スポーツ実技(卓球)		実験実習等	7	平常点	57.1	0.0	57.1	57.1	0.0	0.0	42.9
スポーツ実技(水泳)		実験実習等	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
スポーツ実技(フィットネス)		実験実習等	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
TOEIC入門		演習	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
スポーツ実技(運動あそび)		実験実習等	6	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	33.3	50.0	16.7	0.0
スポーツ育児学のすすめ		講義	6	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	33.3	50.0	16.7	0.0
中国文化へのいざない		講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
ポディワーク入門		講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
現代日本と戦争と平和		講義	1	レポート、平常点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
日本史の中の女性たち		講義	1	レポート	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0

(注)「主な単位認定の方法」欄の平常点とは、授業中の小テスト、課題、発表、受講態度などによる総合的な評価を表す。

人間関係学科の単位認定の状況表

(平成19年度卒業生)

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
					本試	再試等	計	A	B	C	不合格
人間関係学科	情報活用の基礎	演習	103	平常点	98.1	0.0	98.1	78.6	14.6	4.9	1.9
	TOEICの基礎 I	演習	29	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	72.4	24.1	3.4	0.0
	TOEICの基礎 II	演習	36	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	52.8	47.2	0.0	0.0
	TOEICの実践 I	演習	29	平常点	93.1	0.0	93.1	69.0	13.8	10.3	6.9
	TOEICの実践 II	演習	21	レポート、平常点	85.7	0.0	85.7	61.9	14.3	9.5	14.3
	カウンセリング心理学	講義	47	試験、平常点	80.9	0.0	80.9	36.2	23.4	21.3	19.1
	ビジネスコンピューティング I	講義	75	レポート、平常点	96.0	0.0	96.0	82.7	5.3	8.0	4.0
	ビジネスコンピューティング II	講義	58	レポート、平常点	96.6	0.0	96.6	56.9	13.8	25.9	3.4
	ビジネスライティング I	講義	75	レポート、平常点	98.7	0.0	98.7	88.0	6.7	4.0	1.3
	ビジネスライティング II	講義	91	レポート、平常点	97.8	0.0	97.8	86.8	8.8	2.2	2.2
	レクリエーション概論	講義	61	試験、平常点	86.9	0.0	86.9	52.5	18.0	16.4	13.1
	レクリエーション指導法実習	実験実習等	42	レポート、平常点	90.5	0.0	90.5	90.5	0.0	0.0	9.5
	レクリエーション指導論	講義	40	試験、平常点	90.0	0.0	90.0	57.5	25.0	7.5	10.0
	健康心理学	講義	76	試験	89.5	1.3	90.8	50.0	23.7	17.1	9.2
	現代の社会保障	講義	45	試験、平常点	82.2	0.0	82.2	66.7	13.3	2.2	17.8
	児童福祉	講義	101	試験、レポート、平常点	84.1	2.0	86.1	26.7	37.6	21.8	13.9
	社会心理学	講義	67	試験	95.5	0.0	95.5	31.3	49.3	14.9	4.5
	初期演習	演習	104	平常点	97.1	0.0	97.1	69.2	24.0	3.8	2.9
	情報活用の応用	演習	96	平常点	92.7	0.0	92.7	60.4	27.1	5.2	7.3
	人格心理学	講義	85	試験	97.6	0.0	97.6	15.3	60.0	22.4	2.4
	生涯学習論 I	講義	60	平常点	95.0	0.0	95.0	55.0	23.3	16.7	5.0
	生涯学習論 II	講義	71	平常点	91.6	1.4	93.0	47.9	21.1	23.9	7.0
	余暇活動支援論	講義	64	試験、平常点	92.2	0.0	92.2	54.7	31.3	6.3	7.8
	臨床心理学	講義	74	試験、平常点	82.4	0.0	82.4	33.8	27.0	21.6	17.6
	人間関係論	講義	101	レポート、平常点	99.0	0.0	99.0	90.1	8.9	0.0	1.0
	法学	講義	69	試験、平常点	79.7	0.0	79.7	42.0	20.3	17.4	20.3
	医学一般A	講義	45	試験、レポート	77.8	0.0	77.8	35.6	24.4	17.8	22.2
	医学一般B	講義	27	試験、レポート	66.7	0.0	66.7	25.9	18.5	22.2	33.3
	キャリアカウンセリング	講義	83	レポート、平常点	95.2	0.0	95.2	80.7	7.2	7.2	4.8
	心理学基礎 I	講義	93	試験、レポート	95.7	0.0	95.7	83.9	7.5	4.3	4.3
	心理学基礎 II	講義	85	試験	87.1	0.0	87.1	48.2	17.6	21.2	12.9
	発達心理学	講義	70	試験、平常点	95.7	0.0	95.7	31.4	30.0	34.3	4.3
	心理学研究法	講義	15	試験	93.3	0.0	93.3	60.0	26.7	6.7	6.7
	家族心理学	講義	32	試験、平常点	78.1	0.0	78.1	71.9	6.3	0.0	21.9
	消費者心理学	講義	36	試験	77.8	0.0	77.8	47.2	11.1	19.4	22.2
	ライフサイクル心理学	講義	78	レポート、平常点	98.7	0.0	98.7	35.9	39.7	23.1	1.3
	心理実験演習	演習	4	レポート、平常点	75.0	0.0	75.0	50.0	25.0	0.0	25.0
	心理調査演習	演習	4	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	心理臨床演習	演習	8	レポート	75.0	0.0	75.0	62.5	12.5	0.0	25.0
	キャリア選択と適性	講義	64	レポート、平常点	96.9	0.0	96.9	89.1	6.3	1.6	3.1
	地域福祉論	講義	58	試験、レポート、平常点	93.1	0.0	93.1	87.9	5.2	0.0	6.9
	社会福祉原論A	講義	54	試験、レポート、平常点	96.3	0.0	96.3	61.1	31.5	3.7	3.7
	社会福祉原論B	講義	33	試験、レポート、平常点	81.8	0.0	81.8	48.5	18.2	15.2	18.2
	生涯学習推進計画	講義	78	試験、レポート、平常点	85.9	1.3	87.2	38.5	34.6	14.1	12.8
	ボランティア論	講義	64	レポート、平常点	98.4	0.0	98.4	87.5	6.3	4.7	1.6
	介護概論	講義	57	試験、レポート、平常点	87.7	0.0	87.7	70.2	15.8	1.8	12.3
	レクリエーションの実技	実験実習等	46	レポート、平常点	97.8	0.0	97.8	82.6	10.9	4.3	2.2
レクリエーション指導技術	講義	43	平常点	95.3	0.0	95.3	83.7	9.3	2.3	4.7	
余暇活動支援技術	講義	61	試験、レポート、平常点	95.1	0.0	95.1	62.3	29.5	3.3	4.9	
障害者のスポーツ実技	実験実習等	30	レポート、平常点	93.3	0.0	93.3	80.0	13.3	0.0	6.7	
キャリア開発の実践	講義	2	レポート、平常点	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	
プレゼンテーション I	講義	60	レポート、平常点	91.7	0.0	91.7	68.3	16.7	6.7	8.3	
プレゼンテーション II	講義	47	レポート、平常点	95.7	0.0	95.7	51.1	31.9	12.8	4.3	
社会学	講義	73	試験、レポート	97.3	0.0	97.3	64.4	24.7	8.2	2.7	
コミュニケーション論	講義	2	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	
レファレンスサービス演習	演習	10	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	90.0	10.0	0.0	0.0	
資料組織演習 I	演習	11	試験	90.9	0.0	90.9	27.3	18.2	45.5	9.1	
資料組織演習 II	演習	10	試験、レポート	100.0	0.0	100.0	30.0	10.0	60.0	0.0	
資料組織概説	講義	10	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	30.0	20.0	0.0	
資料特論	講義	8	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
児童サービス論	講義	10	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
情報サービス概説	講義	10	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
情報機器論	講義	7	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
情報検索演習	演習	10	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
図書館サービス論	講義	10	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	30.0	20.0	50.0	0.0	
図書館概論	講義	10	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	70.0	10.0	20.0	0.0	
図書館経営論	講義	10	試験、平常点	80.0	0.0	80.0	30.0	50.0	0.0	20.0	
図書館資料論	講義	10	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
図書館特論	学外実習	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
図書及び図書館史	講義	3	試験、平常点	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3	
生涯学習概論	講義	2	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	
専門資料論	講義	10	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
共通教育科目	神話・伝説の世界から	講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	ミステリーの物語学	講義	6	試験	83.3	0.0	83.3	50.0	16.7	16.7	16.7
	児童文学の世界	講義	20	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	85.0	15.0	0.0	0.0
	感性の書	講義	5	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	60.0	20.0	20.0	0.0
	日本舞踊	講義	2	レポート、平常点	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	子どもと家庭	講義	11	平常点	100.0	0.0	100.0	27.3	63.6	9.1	0.0
	社会へのパスポート	講義	1	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	スポーツと健康	講義	1	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	スポーツと栄養	講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	カウンセリングスキル	講義	9	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	55.6	22.2	22.2	0.0

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
					本試	再試等	計	A	B	C	不合格
共通教育科目	実践カウンセリング	講義	13	レポート、平常点	92.3	0.0	92.3	76.9	15.4	0.0	7.7
	家族のゆえ	講義	8	レポート、平常点	87.5	0.0	87.5	25.0	37.5	25.0	12.5
	「ふつう」を考える	講義	15	レポート、平常点	73.3	0.0	73.3	20.0	40.0	13.3	26.7
	子どもと「遊び」	講義	4	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	調理と健康	講義	19	試験、平常点	78.9	0.0	78.9	5.3	36.8	36.8	21.1
	ジャストウエイトのための食事学	講義	6	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	83.3	16.7	0.0	0.0
	服飾からみた生活文化	講義	2	レポート、平常点	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	ジェンダー問題を考える	講義	4	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	女性学のフロンティア	講義	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	テレビの時代－報道の視点から	講義	3	試験	100.0	0.0	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	悪質商法から身を守る法	講義	2	試験	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	スポーツの医学	講義	2	試験、レポート	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	精神分析－心の深層を知る－	講義	3	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	66.7	0.0	33.3	0.0
	スポーツ実技(バレーボール)	実験実習等	9	平常点	88.9	0.0	88.9	22.2	33.3	33.3	11.1
	スポーツ実技(バドミントン)	実験実習等	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	スポーツ実技(卓球)	実験実習等	7	平常点	85.7	0.0	85.7	85.7	0.0	0.0	14.3
	スポーツ実技(水泳)	実験実習等	2	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	スポーツ実技(フィットネス)	実験実習等	2	レポート、平常点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	楽譜作り曲作りの楽しさ	講義	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	スポーツ育児のすすめ	講義	7	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	57.1	28.6	14.3	0.0
	人を健康にする行動科学	講義	5	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	自分を変える話し方	講義	8	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	62.5	37.5	0.0	0.0
	女性のためのライフプランニング	講義	4	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	現代用語を理解する	講義	4	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	75.0	0.0	25.0	0.0
	女性キャリアの磨き方	講義	6	レポート、平常点	83.3	0.0	83.3	83.3	0.0	0.0	16.7
	「心中天網島」の女房「おさん」	講義	1	試験	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	健康と環境の医科学	講義	2	試験	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	中国文化へのいざない	講義	2	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	ボディワーク入門	講義	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	現代日本と戦争と平和	講義	13	レポート、平常点	61.5	0.0	61.5	0.0	23.1	38.5	38.5
	福祉クリエイションの実際	講義	3	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	日本史の中の女性たち	講義	7	レポート	85.7	0.0	85.7	57.1	28.6	0.0	14.3
	生活文化史(食生活を中心に)	講義	2	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	ジェイクスピアの子供たち	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	生涯スポーツを考える	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0

(注)「主な単位認定の方法」欄の平常点とは、授業中の小テスト、課題、発表、受講態度などによる総合的な評価を表す。

### 健康・スポーツ学科の単位認定の状況表

(平成19年度卒業生)

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
					本試	再試等	計	A	B	C	不合格
健康・スポーツ学科	情報活用の基礎	演習	76	平常点	100.0	0.0	100.0	82.9	10.5	6.6	0.0
	エアロビックダンス	実験実習等	22	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	86.4	13.6	0.0	0.0
	キャンプ実習	学外実習	29	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	サービスの理論と実際	講義	18	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	16.7	50.0	33.3	0.0
	スミシング	実験実習等	76	平常点	92.1	7.9	100.0	18.4	50.0	31.6	0.0
	スノースポーツ実習	学外実習	37	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	スポーツトレーニングの科学	講義	47	試験、レポート	93.6	2.1	95.7	66.0	17.0	12.8	4.3
	スポーツマッサージ・テーピング	演習	41	平常点	100.0	0.0	100.0	51.2	36.6	12.2	0.0
	スポーツマッサージ論・実習	演習	24	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	スポーツ医学	講義	69	試験	98.6	1.4	100.0	81.2	13.0	5.8	0.0
	スポーツ運動学	講義	74	平常点	100.0	0.0	100.0	40.5	43.2	16.2	0.0
	スポーツ栄養学	講義	46	試験、平常点	97.8	0.0	97.8	78.3	19.6	0.0	2.2
	スポーツ経営管理学	講義	36	試験、平常点	97.2	2.8	100.0	75.0	19.4	5.6	0.0
	スポーツ行政・法規	講義	35	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	68.6	28.6	2.9	0.0
	スポーツ史	講義	41	平常点	100.0	0.0	100.0	41.5	29.3	29.3	0.0
	スポーツ指導論	講義	45	試験、レポート、平常点	97.8	0.0	97.8	48.9	37.8	11.1	2.2
	スポーツ社会学	講義	76	平常点	100.0	0.0	100.0	31.6	46.1	22.4	0.0
	スポーツ心理学	講義	83	試験、平常点	73.5	18.1	91.6	48.2	25.3	18.1	8.4
	スポーツ心理学実験	実験実習等	19	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	84.2	10.5	5.3	0.0
	スポーツ組織経営論	講義	71	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	52.1	42.3	5.6	0.0
	ダンス	実験実習等	76	平常点	100.0	0.0	100.0	48.7	43.4	7.9	0.0
	テーピング論・実習	演習	24	平常点	100.0	0.0	100.0	62.5	25.0	12.5	0.0
	トラックアンドフィールド	実験実習等	76	平常点	100.0	0.0	100.0	60.5	23.7	15.8	0.0
	ハンドボール	実験実習等	76	平常点	100.0	0.0	100.0	78.9	18.4	2.6	0.0
	バイオメカニクス	講義	49	試験、平常点	98.0	0.0	98.0	65.3	26.5	6.1	2.0
	バスケットボール	実験実習等	76	平常点	100.0	0.0	100.0	53.9	38.2	7.9	0.0
	バレーボール	実験実習等	76	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	フィットネス指導法演習	演習	24	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	70.8	25.0	4.2	0.0
	フィットネス指導法実習	実験実習等	22	平常点	100.0	0.0	100.0	90.9	9.1	0.0	0.0
	マリンスポーツ実習	学外実習	36	平常点	94.4	0.0	94.4	83.3	11.1	0.0	5.6
	レクリエーション指導法演習	演習	18	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	レクリエーション指導法実習	実験実習等	18	平常点	100.0	0.0	100.0	94.4	5.6	0.0	0.0
	レクリエーション論	講義	25	試験、平常点	68.0	0.0	68.0	60.0	8.0	0.0	32.0
	運動処方	講義	24	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	83.3	12.5	4.2	0.0
	運動生理学	講義	77	試験、レポート、平常点	84.4	14.3	98.7	68.8	15.6	14.3	1.3
	衛生学(公衆衛生学を含む)	講義	48	試験	93.7	2.1	95.8	60.4	14.6	20.8	4.2
	学校保健Ⅰ	講義	48	試験、平常点	97.9	2.1	100.0	20.8	31.3	47.9	0.0
	学校保健Ⅱ	講義	48	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	52.1	35.4	12.5	0.0
	看護・介護法	講義	24	平常点	95.8	0.0	95.8	75.0	16.7	4.2	4.2
	器械運動	実験実習等	76	平常点	100.0	0.0	100.0	97.4	2.6	0.0	0.0
	救急処置法・実習	演習	76	平常点	100.0	0.0	100.0	71.1	27.6	1.3	0.0

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)				
					本試	再試等	計	A	B	C	不合格	
健康・スポーツ学科	健康・スポーツカウンセリング	講義	40	平常点	97.5	0.0	97.5	40.0	40.0	17.5	2.5	
	健康・スポーツ実践実習	学外実習	24	平常点	100.0	0.0	100.0	95.8	4.2	0.0	0.0	
	健康学概論	講義	24	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	70.8	12.5	16.7	0.0	
	健康産業論	講義	24	試験	83.3	16.7	100.0	79.2	4.2	16.7	0.0	
	初期演習	演習	76	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	93.4	5.3	1.3	0.0	
	障害者スポーツ指導法実習	実験実習等	20	平常点	100.0	0.0	100.0	85.0	10.0	5.0	0.0	
	障害者スポーツ論	講義	19	平常点	94.7	0.0	94.7	73.7	15.8	5.3	5.3	
	情報活用の応用	演習	48	平常点	100.0	0.0	100.0	52.1	31.3	16.7	0.0	
	生涯スポーツ論	講義	67	試験、レポート、平常点	97.0	1.5	98.5	73.1	11.9	13.4	1.5	
	生理解剖学	講義	79	試験、平常点	91.1	5.1	96.2	44.3	22.8	29.1	3.8	
	体育原理	講義	76	平常点	100.0	0.0	100.0	39.5	39.5	21.1	0.0	
	体操	実験実習等	76	平常点	100.0	0.0	100.0	21.1	31.6	47.4	0.0	
	体力の測定評価論・実習	演習	45	レポート、平常点	97.8	0.0	97.8	48.9	48.9	0.0	2.2	
	地域スポーツ指導法演習	演習	51	試験、レポート、平常点	98.0	0.0	98.0	80.4	9.8	7.8	2.0	
	地域スポーツ指導法実習	実験実習等	39	平常点	100.0	0.0	100.0	59.0	25.6	15.4	0.0	
	発育発達・老化論	講義	76	試験、平常点	98.7	1.3	100.0	77.6	15.8	6.6	0.0	
	教育課程総論	講義	51	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	90.2	9.8	0.0	0.0	
	教育原理	講義	51	試験、平常点	96.1	3.9	100.0	43.1	27.5	29.4	0.0	
	教育行政学	講義	4	試験、平常点	75.0	0.0	75.0	75.0	0.0	0.0	25.0	
	教育実習 I	講義	50	試験、レポート、平常点	96.0	4.0	100.0	38.0	50.0	12.0	0.0	
	教育実習 II	学外実習	48	平常点	100.0	0.0	100.0	77.1	20.8	2.1	0.0	
	教育実習 III	学外実習	48	平常点	100.0	0.0	100.0	77.1	20.8	2.1	0.0	
	教育心理学	講義	51	試験、レポート、平常点	96.0	2.0	98.0	21.6	41.2	35.3	2.0	
	教育相談の研究	講義	48	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	81.3	12.5	6.3	0.0	
	教職の研究	講義	13	平常点	92.3	0.0	92.3	92.3	0.0	0.0	7.7	
	教職への道	講義	51	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	70.6	29.4	0.0	0.0	
	障害児の発達と教育	講義	46	試験、平常点	78.3	15.2	93.5	39.1	26.1	28.3	6.5	
	人権教育の研究	講義	51	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	80.4	19.6	0.0	0.0	
	生徒指導の研究	講義	51	試験、平常点	94.1	5.9	100.0	88.2	7.8	3.9	0.0	
	総合演習 I	演習	51	レポート、平常点	98.0	0.0	98.0	74.5	17.6	5.9	2.0	
	総合演習 II	演習	48	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	45.8	52.1	2.1	0.0	
	道徳教育の研究	講義	48	試験、レポート、平常点	83.4	8.3	91.7	29.2	25.0	37.5	8.3	
	保健体育科指導法 I	講義	50	試験、平常点	92.0	8.0	100.0	36.0	38.0	26.0	0.0	
	保健体育科指導法 II	講義	46	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	84.8	8.7	6.5	0.0	
	児童文学の世界	講義	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	共通教育科目	感性の書	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		日本舞踊	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
		スポーツと健康	講義	16	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	93.8	6.3	0.0	0.0
		スポーツと栄養	講義	10	試験、平常点	90.0	0.0	90.0	60.0	30.0	0.0	10.0
		実践カウンセリング	講義	4	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
家族のゆくえ		講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
「ふつ」を考える		講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
子どもと「遊び」		講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
調理と健康		講義	8	試験、平常点	62.5	0.0	62.5	0.0	25.0	37.5	37.5	
ジャストウエイのための食事学		講義	8	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
日本国憲法		講義	48	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	39.6	39.6	20.8	0.0	
ジェンダー問題を考える		講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
女性学のフロンティア		講義	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
テレビの時代ー報道の視点から		講義	1	試験	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
スポーツの医学		講義	6	試験、レポート	83.3	0.0	83.3	83.3	0.0	0.0	16.7	
英語 I		講義	76	試験、平常点	97.4	0.0	97.4	67.1	14.5	15.8	2.6	
TOEIC英語		演習	2	平常点	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	
特別英語演習 I		演習	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
スポーツ実技 (バレーボール)		実験実習等	13	平常点	100.0	0.0	100.0	69.2	30.8	0.0	0.0	
スポーツ実技 (バドミントン)		実験実習等	9	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
スポーツ実技 (卓球)		実験実習等	3	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
スポーツ実技 (水泳)		実験実習等	8	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
スポーツ実技 (フィットネス)		実験実習等	3	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	
スポーツ実技 (運動あそび)		実験実習等	4	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
スポーツ育児学のすすめ		講義	13	試験、平常点	69.2	0.0	69.2	23.1	15.4	30.8	30.8	
人を健康にする行動科学		講義	8	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
女性のためのライフプランニング		講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
ボディワーク入門		講義	3	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
現代日本と戦争と平和		講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

(注)「主な単位認定の方法」欄の平常点とは、授業中の小テスト、課題、発表、受講態度などによる総合的な評価を表す。

食生活学科の単位認定の状況表

(平成19年度卒業生)

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
					本試	再試等	計	A	B	C	不合格
食生活学科	情報活用の基礎	演習	165	平常点	98.8	0.0	98.8	83.0	12.7	3.0	1.2
	フードコーディネーター論	講義	163	試験	98.8	0.0	98.8	77.9	18.4	2.5	1.2
	フードスペシャリスト論	講義	149	試験、平常点	99.3	0.7	100.0	69.8	20.1	10.1	0.0
	衣服構成	実験実習等	15	レポート、平常点	93.3	0.0	93.3	46.7	46.7	0.0	6.7
	運動生理学	講義	165	試験、平常点	98.8	0.0	98.8	69.1	21.8	7.9	1.2
	栄養教育論	講義	165	試験、平常点	94.6	4.2	98.8	33.9	32.7	32.1	1.2
	栄養教育論実習Ⅰ	実験実習等	163	レポート、平常点	98.8	0.0	98.8	52.8	32.5	13.5	1.2
	栄養教育論実習Ⅱ	実験実習等	162	レポート、平常点	97.5	0.0	97.5	69.1	22.8	5.6	2.5
	応用栄養学	講義	163	試験、平常点	87.7	12.3	100.0	0.0	20.2	79.8	0.0
	応用栄養学実習	実験実習等	162	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	29.0	56.8	14.2	0.0
	解剖生理学	講義	166	試験	39.8	57.8	97.6	4.2	13.9	79.5	2.4
	解剖生理学実習	実験実習等	163	レポート、平常点	96.9	0.6	97.5	55.8	27.0	14.7	2.5
	基礎栄養学	講義	166	試験	95.8	2.4	98.2	38.6	43.4	16.3	1.8
	基礎化学	講義	144	試験、平常点	77.1	0.0	77.1	27.1	18.1	31.9	22.9
	給食管理実習	実験実習等	165	レポート、平常点	98.8	0.0	98.8	40.6	36.4	21.8	1.2
	給食計画論	講義	164	試験、平常点	93.9	5.5	99.4	61.6	17.7	20.1	0.6
	給食実務論	講義	163	試験、平常点	96.3	2.5	98.8	60.7	19.6	18.4	1.2
	健康スポーツ栄養学	講義	164	試験、平常点	86.6	11.6	98.2	18.9	35.4	43.9	1.8
	健康情報分析論	講義	164	試験、平常点	99.4	0.0	99.4	78.7	20.7	0.0	0.6
	公衆栄養学	講義	164	試験、平常点	93.9	4.3	98.2	11.0	39.6	47.6	1.8
	公衆衛生学	講義	164	試験	94.5	4.9	99.4	42.1	28.7	28.7	0.6
	社会福祉概論	講義	163	試験、レポート、平常点	92.1	6.1	98.2	51.5	20.2	26.4	1.8
	住居学	講義	9	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	88.9	11.1	0.0	0.0
	初期演習	演習	166	平常点	98.2	0.0	98.2	85.5	12.0	0.6	1.8
	食環境論	講義	7	レポート、平常点	85.7	0.0	85.7	85.7	0.0	0.0	14.3
	食品衛生学	講義	165	試験	90.9	7.9	98.8	61.8	22.4	14.5	1.2
	食品衛生学実験	実験実習等	163	レポート、平常点	98.2	0.0	98.2	89.6	5.5	3.1	1.8
	食品加工学	講義	164	試験	98.8	0.6	99.4	55.5	23.8	20.1	0.6
	食品加工学実験	実験実習等	164	レポート、平常点	98.8	0.0	98.8	94.5	3.0	1.2	1.2
	食品学各論	講義	164	試験、平常点	74.4	23.8	98.2	22.6	25.6	50.0	1.8
	食品学実験	実験実習等	165	レポート、平常点	96.4	2.4	98.8	83.6	9.7	5.5	1.2
	食品学総論	講義	163	試験	93.9	6.1	100.0	59.5	20.9	19.6	0.0
	食品微生物学	講義	105	試験	95.2	0.0	95.2	55.2	26.7	13.3	4.8
	食文化論	講義	12	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	91.7	8.3	0.0	0.0
	食糧経済学	講義	151	試験	92.7	5.3	98.0	79.5	7.3	11.3	2.0
	生化学	講義	165	試験	98.8	0.0	98.8	57.6	35.2	6.1	1.2
	生化学実験	実験実習等	163	レポート、平常点	98.8	0.0	98.8	87.7	8.6	2.5	1.2
	生活学概論	講義	12	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	25.0	25.0	0.0
	調理科学	講義	164	試験	86.0	12.8	98.8	41.5	23.8	33.5	1.2
	調理科学実験	実験実習等	162	レポート、平常点	98.8	0.0	98.8	71.6	23.5	3.7	1.2
	調理学	講義	167	試験、平常点	83.2	14.4	97.6	29.3	37.1	31.1	2.4
	調理学実習Ⅰ	実験実習等	164	レポート、平常点	98.8	0.6	99.4	77.4	18.9	3.0	0.6
	調理学実習Ⅱ	実験実習等	164	レポート、平常点	98.2	1.2	99.4	88.4	7.3	3.7	0.6
	被服学	講義	6	試験	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	病理学	講義	162	試験	66.0	30.9	96.9	24.7	18.5	53.7	3.1
	保育学	講義	12	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	41.7	8.3	0.0
	臨床栄養学概論	講義	167	試験	94.0	3.6	97.6	54.5	25.1	18.0	2.4
	臨床栄養学実習Ⅰ	実験実習等	164	レポート、平常点	98.2	0.0	98.2	68.3	26.8	3.0	1.8
	臨床栄養学実習Ⅱ	実験実習等	162	レポート、平常点	99.4	0.0	99.4	50.0	40.7	8.6	0.6
	臨床実習	学外実習	163	レポート、平常点	98.8	0.0	98.8	50.3	36.2	12.3	1.2
	学校栄養教育・指導論	講義	27	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	55.6	37.0	7.4	0.0
	食物英語	講義	77	試験、平常点	98.7	0.0	98.7	96.1	1.3	1.3	1.3
	家庭科指導法Ⅰ	講義	4	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	家庭科指導法Ⅱ	講義	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	教育課程総論	講義	4	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	教育原理	講義	7	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	71.4	28.6	0.0	0.0
	教育実習Ⅰ	講義	4	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	25.0	75.0	0.0	0.0
教育実習Ⅱ	学外実習	3	平常点	100.0	0.0	100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	
教育実習Ⅲ	学外実習	3	平常点	100.0	0.0	100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	
教育心理学	講義	7	試験、レポート、平常点	71.4	0.0	71.4	57.1	14.3	0.0	28.6	
教育相談の研究	講義	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
教職への道	講義	7	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	85.7	14.3	0.0	0.0	
人権教育の研究	講義	3	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	
生徒指導の研究	講義	4	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
総合演習Ⅰ	演習	4	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
総合演習Ⅱ	演習	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
道徳教育の研究	講義	2	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
教職への道(栄教)	講義	42	平常点	100.0	0.0	100.0	52.4	35.7	11.9	0.0	
教育原理(栄教)	講義	42	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	73.8	16.7	9.5	0.0	
教育心理学(栄教)	講義	42	試験	100.0	0.0	100.0	23.8	57.1	19.0	0.0	
教育課程の意義と運営	講義	27	平常点	100.0	0.0	100.0	77.8	11.1	11.1	0.0	
道徳教育の理論と実践	講義	27	平常点	100.0	0.0	100.0	85.2	14.8	0.0	0.0	
生徒指導の理論と方法	講義	27	試験	100.0	0.0	100.0	22.2	77.8	0.0	0.0	
総合演習Ⅰ(栄教)	演習	26	平常点	100.0	0.0	100.0	92.3	7.7	0.0	0.0	
総合演習Ⅱ(栄教)	演習	26	平常点	100.0	0.0	100.0	46.2	53.8	0.0	0.0	
栄養教育実習事前・事後	講義	24	平常点	100.0	0.0	100.0	95.8	4.2	0.0	0.0	
栄養教育実習(学校現場)	学外実習	24	平常点	100.0	0.0	100.0	83.3	16.7	0.0	0.0	
情報サービス概説	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
図書館サービス論	講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
図書館概論	講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
					本試	再試等	計	A	B	C	不合格
共通教育科目	ミステリーの物語学	講義	1	試験	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	感性の書	講義	6	レポート、平常点	66.7	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3
	日本舞踊	講義	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	子ども家庭	講義	3	平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	66.7	33.3	0.0
	社会へのパスポート	講義	2	試験、レポート、平常点	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	スポーツと健康	講義	4	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	スポーツと栄養	講義	10	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	90.0	0.0	10.0	0.0
	カウンセリングスキル	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	家族のゆくえ	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	「ふつ」を考える	講義	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	調理と健康	講義	32	試験、平常点	96.9	0.0	96.9	18.8	43.8	34.4	3.1
	ジャストウエイトのための食事学	講義	20	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	85.0	15.0	0.0	0.0
	日本国憲法	講義	27	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	37.0	63.0	0.0	0.0
	女性学のフロンティア	講義	3	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	「ゆかた」づくりに挑戦	講義	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	スポーツの医学	講義	2	試験、レポート	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	精神分析ー心の深層を知るー	講義	1	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	TOEIC英語	演習	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	特別英語演習 I	演習	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	ドイツ語 I	演習	1	平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	フランス語 I	演習	2	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	中国語 I	演習	4	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	25.0	25.0	0.0
	スポーツ実技(バレーボール)	実験実習等	9	平常点	77.8	0.0	77.8	77.8	0.0	0.0	22.2
	スポーツ実技(バドミントン)	実験実習等	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	スポーツ実技(卓球)	実験実習等	3	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	スポーツ実技(フィットネス)	実験実習等	3	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	楽譜作り曲作りの楽しさ	講義	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	TOEIC入門	演習	7	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	57.1	42.9	0.0	0.0
	人を健康にする行動科学	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	自分を変える話し方	講義	3	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性のためのライフプランニング	講義	4	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	25.0	75.0	0.0	0.0
	女性キャリアの磨き方	講義	3	レポート、平常点	66.7	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	33.3
	ポドワーク入門	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

(注)「主な単位認定の方法」欄の平常点とは、授業中の小テスト、課題、発表、受講態度などによる総合的な評価を表す。

生活造形学科の単位認定の状況表

(平成19年度卒業生)

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
					本試	再試等	計	A	B	C	不合格
生活造形学科	CAD基礎実習	実験実習等	97	平常点	95.9	0.0	95.9	82.5	6.2	7.2	4.1
	CG基礎実習 I	実験実習等	2	平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	CG基礎実習 II	実験実習等	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	アパレルコンストラクション	講義	100	試験、レポート、平常点	98.0	0.0	98.0	49.0	33.0	16.0	2.0
	アパレルコンスト実習 I	実験実習等	96	レポート、平常点	99.0	0.0	99.0	71.9	18.8	8.3	1.0
	アパレルコンスト実習 II	実験実習等	81	レポート、平常点	95.1	0.0	95.1	69.1	24.7	1.2	4.9
	アパレルデザイン論	講義	99	試験、レポート	73.8	23.2	97.0	16.2	49.5	31.3	3.0
	アパレル企画演習	演習	92	レポート、平常点	97.8	0.0	97.8	55.4	42.4	0.0	2.2
	アパレル材料学	講義	106	試験、レポート、平常点	87.8	4.7	92.5	38.7	28.3	25.5	7.5
	アパレル材料学実験	実験実習等	95	レポート、平常点	92.6	3.2	95.8	64.2	18.9	12.6	4.2
	アパレル生産実習 I	実験実習等	95	平常点	94.7	1.1	95.8	65.3	27.4	3.2	4.2
	アパレル生産実習 II	実験実習等	88	平常点	98.9	0.0	98.9	72.7	26.1	0.0	1.1
	インテリアCAD実習	実験実習等	1	平常点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	インテリアエレメント	講義	1	試験、平常点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	インテリアコーディネート概論	講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	インテリア計画	講義	103	試験	87.3	7.8	95.1	47.6	28.2	19.4	4.9
	インテリア設計A	実験実習等	1	平常点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	カラーコーディネート演習	演習	67	平常点	92.5	0.0	92.5	79.1	11.9	1.5	7.5
	クリエイティブデザイン実習	実験実習等	17	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	52.9	23.5	23.5	0.0
	コスチューム文化史	講義	1	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	スタイル画演習	演習	95	平常点	100.0	0.0	100.0	95.8	4.2	0.0	0.0
	ドレーピング実習	実験実習等	65	平常点	93.8	0.0	93.8	52.3	41.5	0.0	6.2
	パターンメイキング演習	演習	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	ファッションビジネス論	講義	98	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	62.2	27.6	10.2	0.0
	ファッションマーケティング論	講義	98	試験	100.0	0.0	100.0	31.6	55.1	13.3	0.0
	ファッション情報論	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	ベーシックデザイン実習	実験実習等	87	レポート、平常点	97.7	0.0	97.7	67.8	21.8	8.0	2.3
	マーケティング論	講義	74	試験、平常点	95.9	0.0	95.9	52.7	18.9	24.3	4.1
	衣環境学	講義	97	試験、レポート、平常点	90.7	7.2	97.9	41.2	35.1	21.6	2.1
	英語表現 I	演習	1	平常点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	英語表現 II	演習	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	家具デザイン I	演習	1	平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	家具デザイン II	演習	1	平常点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	海外語学研修	学外実習	9	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	海外消費実習	学外実習	9	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	絵画	実験実習等	1	平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	基礎製図	講義	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	建築法規	講義	88	試験、レポート	97.7	0.0	97.7	48.9	31.8	17.0	2.3
	現代デザイン論	講義	98	試験	100.0	0.0	100.0	57.1	36.7	6.1	0.0
	住居学	講義	121	試験、レポート	93.3	1.7	95.0	50.4	34.7	9.9	5.0
住宅CAD実習	実験実習等	1	平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
住宅一般構造	講義	71	試験、平常点	94.4	0.0	94.4	64.8	21.1	8.5	5.6	
住宅計画	講義	108	試験	70.3	20.4	90.7	30.6	25.0	35.2	9.3	

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)			
					本試	再試等	計	A	B	C	不合格
生活造形学科	住宅構造	講義	1	試験	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	住宅構造演習	演習	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	住宅材料	講義	1	試験	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	住宅施工	講義	86	試験	90.7	0.0	90.7	73.3	5.8	11.6	9.3
	住宅設計A	実験実習等	1	レポート、平常点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	住宅設計製図Ⅰ	演習	1	平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	住宅設計製図Ⅱ	演習	1	平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	住宅設備	講義	1	試験	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	初期演習	演習	196	平常点	100.0	0.0	100.0	83.2	14.8	2.0	0.0
	商空間計画	講義	96	レポート、平常点	96.9	0.0	96.9	50.0	30.2	16.7	3.1
	消費科学	講義	95	試験、レポート、平常点	95.7	1.1	96.8	76.8	13.7	6.3	3.2
	消費者調査法演習	演習	89	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	49.4	38.2	12.4	0.0
	消費生活論	講義	166	試験、レポート、平常点	87.4	1.8	89.2	22.9	33.1	33.1	10.8
	情報活用基礎演習	演習	196	平常点	100.0	0.0	100.0	77.6	16.3	6.1	0.0
	色彩学	講義	96	レポート、平常点	99.0	0.0	99.0	80.2	15.6	3.1	1.0
	食物栄養学	講義	22	試験、平常点	90.9	0.0	90.9	50.0	18.2	22.7	9.1
	人間工学	講義	98	試験、平常点	95.9	0.0	95.9	43.9	38.8	13.3	4.1
	生活デザイン(プロダクト)	実験実習等	1	平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	生活デザイン(ヴィジュアル)	実験実習等	1	平常点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	生活マナー論	講義	1	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	生活学概論	講義	30	レポート、平常点	93.3	0.0	93.3	60.0	26.7	6.7	6.7
	西洋建築史	講義	1	レポート	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	染色加工学	講義	92	試験	71.7	19.6	91.3	37.0	28.3	26.1	8.7
	染色加工実験	実験実習等	86	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	64.0	23.3	12.8	0.0
	繊維学	講義	100	試験、平常点	78.0	20.0	98.0	34.0	41.0	23.0	2.0
	繊維学実験	実験実習等	94	レポート、平常点	95.7	1.1	96.8	60.6	31.9	4.3	3.2
	測量実習	実験実習等	1	レポート、平常点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	調理学実習	実験実習等	22	レポート、平常点	90.9	0.0	90.9	59.1	0.0	31.8	9.1
	日本建築史	講義	1	試験	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	被服整理学	講義	99	試験	99.0	0.0	99.0	85.9	6.1	7.1	1.0
	被服整理学実験	実験実習等	96	レポート、平常点	89.5	6.3	95.8	52.1	25.0	18.8	4.2
	美学概論	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	服飾デザイン実習	実験実習等	91	レポート、平常点	97.8	0.0	97.8	52.7	24.2	20.9	2.2
	福祉住環境論同演習	演習	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	保育学	講義	14	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	85.7	14.3	0.0	0.0
	アパレル英語Ⅰ	演習	39	平常点	94.9	0.0	94.9	56.4	25.6	12.8	5.1
	アパレル英語Ⅱ	演習	4	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	カラーコーディネート論	講義	97	レポート、平常点	96.9	0.0	96.9	57.7	29.9	9.3	3.1
	CG基礎実習	実験実習等	92	平常点	98.9	0.0	98.9	44.6	53.3	1.1	1.1
	住宅・インテリアCAD実習	実験実習等	92	レポート、平常点	97.8	0.0	97.8	62.0	31.5	4.3	2.2
	基礎・住宅製図	実験実習等	97	レポート、平常点	99.0	0.0	99.0	42.3	51.5	5.2	1.0
	パターンメイキング演習Ⅱ	演習	63	平常点	85.7	0.0	85.7	22.2	60.3	3.2	14.3
	建築史	講義	95	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	30.5	64.2	5.3	0.0
	ディスプレイ実習	実験実習等	64	平常点	96.9	0.0	96.9	40.6	56.3	0.0	3.1
	ファッションコンピュータ実習Ⅰ	実験実習等	84	レポート、平常点	95.2	0.0	95.2	90.5	4.8	0.0	4.8
	ファッションコンピュータ実習Ⅱ	実験実習等	56	レポート、平常点	82.1	0.0	82.1	78.6	0.0	3.6	17.9
	テキスタイルコンピュータ実習	実験実習等	49	平常点	95.9	0.0	95.9	67.3	24.5	4.1	4.1
	インテリア・家具製図	実験実習等	94	レポート、平常点	97.9	0.0	97.9	58.5	38.3	1.1	2.1
	コーディネート・リフォーム実習	実験実習等	90	レポート、平常点	95.6	0.0	95.6	52.2	30.0	13.3	4.4
	インテリアエレメント制作実習Ⅰ	実験実習等	90	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	82.2	14.4	3.3	0.0
	インテリアエレメント制作実習Ⅱ	実験実習等	68	レポート、平常点	91.2	0.0	91.2	50.0	38.2	2.9	8.8
	福祉住環境論・実体験	実験実習等	75	レポート、平常点	93.3	0.0	93.3	48.0	41.3	4.0	6.7
	生活材料学・同実験	実験実習等	33	レポート、平常点	90.9	0.0	90.9	54.5	30.3	6.1	9.1
	室内環境学	講義	92	試験	96.7	0.0	96.7	64.1	28.3	4.3	3.3
	自由創作A	実験実習等	6	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	自由創作B	実験実習等	69	レポート、平常点	98.6	0.0	98.6	53.6	36.2	8.7	1.4
	自由創作C	実験実習等	28	レポート、平常点	92.9	0.0	92.9	67.9	25.0	0.0	7.1
服飾文化史	講義	85	試験、レポート、平常点	85.9	0.0	85.9	37.6	23.5	24.7	14.1	
パターンメイキング演習Ⅰ	演習	93	平常点	97.8	0.0	97.8	57.0	36.6	4.3	2.2	
織物実習	実験実習等	25	レポート、平常点	92.0	0.0	92.0	76.0	16.0	0.0	8.0	
住宅設備計画	講義	32	試験	100.0	0.0	100.0	78.1	18.8	3.1	0.0	
構造力学	講義	61	試験	72.1	0.0	72.1	49.2	11.5	11.5	27.9	
構造力学演習	演習	61	平常点	90.2	0.0	90.2	59.0	19.7	11.5	9.8	
インテリアテキスタイル制作実習	実験実習等	78	平常点	94.9	0.0	94.9	62.8	29.5	2.6	5.1	
インテリア英語Ⅰ	演習	70	平常点	95.7	0.0	95.7	58.6	22.9	14.3	4.3	
インテリア英語Ⅱ	演習	20	平常点	100.0	0.0	100.0	75.0	25.0	0.0	0.0	
住宅・店舗設計	実験実習等	64	レポート、平常点	92.2	0.0	92.2	29.7	42.2	20.3	7.8	
家庭科指導法Ⅰ	講義	5	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	60.0	20.0	20.0	0.0	
家庭科指導法Ⅱ	講義	5	レポート、平常点	80.0	0.0	80.0	60.0	20.0	0.0	20.0	
教育課程総論	講義	5	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	20.0	20.0	60.0	0.0	
教育原理	講義	7	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	14.3	28.6	57.1	0.0	
教育実習Ⅰ	講義	5	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	40.0	60.0	0.0	0.0	
教育実習Ⅱ	学外実習	5	平常点	100.0	0.0	100.0	40.0	40.0	20.0	0.0	
教育実習Ⅲ	学外実習	5	平常点	100.0	0.0	100.0	40.0	40.0	20.0	0.0	
教育心理学	講義	7	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	14.3	71.4	14.3	0.0	
教育相談の研究	講義	5	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	80.0	20.0	0.0	0.0	
教職への道	講義	7	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	85.7	14.3	0.0	0.0	
障害児の発達と教育	講義	4	試験、平常点	75.0	0.0	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	
人権教育の研究	講義	6	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	
生徒指導の研究	講義	5	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
総合演習Ⅰ	演習	5	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	60.0	20.0	20.0	0.0	
総合演習Ⅱ	演習	5	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	40.0	40.0	20.0	0.0	
道徳教育の研究	講義	5	試験、レポート、平常点	80.0	0.0	80.0	60.0	20.0	0.0	20.0	
コミュニケーション論	講義	1	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	

種別	授業科目名	授業形態	履修人員	主な単位認定の方法	単位取得状況 (%)			最終の評価 (%)					
					本試	再試等	計	A	B	C	不合格		
生活造形学科	レファレンスサービス演習	演習	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	資料組織演習Ⅰ	演習	2	試験	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	資料組織演習Ⅱ	演習	2	試験、レポート	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	資料組織概説	講義	2	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	資料特論	講義	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	児童サービス論	講義	2	平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	情報サービス概説	講義	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	情報機器論	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	情報検索演習	演習	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	図書館サービス論	講義	3	試験、平常点	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	
	図書館概論	講義	2	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	図書館経営論	講義	2	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	図書館資料論	講義	2	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	生涯学習概論	講義	2	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	専門資料論	講義	2	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	共通教育科目	神話・伝説の世界から	講義	2	試験、平常点	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
		ミステリーの物語学	講義	7	試験	85.7	0.0	85.7	57.1	0.0	28.6	14.3	0.0
		児童文学の世界	講義	10	レポート、平常点	90.0	0.0	90.0	70.0	10.0	10.0	10.0	0.0
		コンピュータ音楽入門	講義	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		感性の書	講義	8	レポート、平常点	87.5	0.0	87.5	87.5	0.0	0.0	12.5	0.0
		日本舞踊	講義	7	レポート、平常点	85.7	0.0	85.7	85.7	0.0	0.0	14.3	0.0
		子どもと家庭	講義	7	平常点	85.7	0.0	85.7	42.9	42.9	0.0	14.3	0.0
		スポーツと健康	講義	5	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
		スポーツと栄養	講義	4	試験、平常点	75.0	0.0	75.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0
		カウンセリングスキル	講義	3	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
家族のゆくえ		講義	10	レポート、平常点	90.0	0.0	90.0	40.0	30.0	20.0	10.0	0.0	
「ふつう」を考える		講義	10	レポート、平常点	60.0	0.0	60.0	10.0	10.0	40.0	40.0	0.0	
子どもと「遊び」		講義	7	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	
調理と健康		講義	29	試験、平常点	79.3	0.0	79.3	3.4	31.0	44.8	20.7	0.0	
ジャストウエイのための食事学		講義	10	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
服飾からみた生活文化		講義	13	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
台所空間と生活文化		講義	17	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	35.3	64.7	0.0	0.0	0.0	
日本国憲法		講義	14	試験、レポート、平常点	78.6	0.0	78.6	21.4	28.6	28.6	21.4	0.0	
ジェンダー問題を考える		講義	4	レポート、平常点	75.0	0.0	75.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	
女性学のフロンティア		講義	4	レポート、平常点	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
テレビの時代—報道の視点から		講義	4	試験	75.0	0.0	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	
販賣商法から身を守る法		講義	12	試験	100.0	0.0	100.0	25.0	66.7	8.3	0.0	0.0	
「ゆかた」づくりに挑戦		講義	5	平常点	100.0	0.0	100.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	
スポーツの医学		講義	1	試験、レポート	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
精神分析—心の深層を知る—		講義	3	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	
TOEIC英語	演習	5	平常点	80.0	0.0	80.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0		
特別英語演習Ⅰ	演習	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
ドイツ語Ⅰ	演習	2	平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
フランス語Ⅰ	演習	2	試験、レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0		
中国語Ⅰ	演習	2	試験、平常点	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0		
スポーツ実技(バレーボール)	実験実習等	7	平常点	100.0	0.0	100.0	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0		
スポーツ実技(バドミントン)	実験実習等	6	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
スポーツ実技(卓球)	実験実習等	14	平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
スポーツ実技(フィットネス)	実験実習等	7	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0		
中国四千年の知恵を現代に生かす	講義	1	試験、平常点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0		
TOEIC入門	演習	1	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
スポーツ実技(運動あそび)	実験実習等	2	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
スポーツ育児学のすすめ	講義	5	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0		
自分を変える話し方	講義	17	レポート、平常点	82.4	0.0	82.4	47.1	23.5	11.8	17.6	0.0		
女性のためのライブプランニング	講義	21	レポート、平常点	85.7	0.0	85.7	33.3	42.9	9.5	14.3	0.0		
現代用語を理解する	講義	4	試験、平常点	100.0	0.0	100.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0		
女性キャリアの磨き方	講義	10	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
現代日本と戦争と平和	講義	3	レポート、平常点	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
見てわかる日本の文化	講義	2	レポート	100.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0		
日本史の中の女性たち	講義	6	レポート	100.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0		

(注)「主な単位認定の方法」欄の平常点とは、授業中の小テスト、課題、発表、受講態度などによる総合的な評価を表す。

(2) 学科長等がそれぞれの学科について、単位認定の方法、単位の取得状況及び担当教員による評価の現状についてどのように受け止めているかを記述して下さい。

各学科の履修及び単位認定方法は、学則第 25～34 条に従って行っており、各科目の担当者がシラバスに評価方法を詳細に記載し、学生への徹底は図っている。また、本学では厳正な出席制度を設けており、半期 4 回以下の欠席の学生については評価対象とするが 5 回以上欠席した学生については評価を行わない。再試験については、各学科の必修科目と資格関連課目(学科が指定)のみについて実施し、選択科目については実施していない。

### ① 日本語文化学科

ほとんどの科目において、学期末の試験のみで評価を行うのではなく、レポートや平常点

(小テストや授業中の態度等)を組み合わせる評価しており、単位認定の方法に問題はないと考える。単位取得状況はおおむね良好であり、教員による評価についても、適切であると受け止めている。

#### ② 英語コミュニケーション学科

学科の科目の特性上、多くの科目でレポートや平常点(小テストや授業中の態度等)により評価しており、学期末の試験を行う科目においてもレポートや平常点(小テストや授業中の態度等)を組み合わせる評価しており、単位認定の方法に問題はないと考える。単位取得状況も適切であると受け止めている。

#### ③ 幼児教育学科

多くの科目において学期末の試験とレポート、平常点(小テストや授業中の態度等)を組み合わせる。また、試験を行わない科目においてもレポートと平常点(小テストや授業中の態度等)を併用しており、単位認定の方法に問題はないと考える。単位取得状況はおおむね良好であるが、受講者が極端に少ない一部の科目では、単位修得率が低くなっている。

#### ④ 人間関係学科

学期末試験のみで評価をする科目も見受けられるが、多くの科目でレポートと平常点(小テストや授業中の態度等)や試験と平常点など複数の評価方法で評価しており担当の先生の工夫が見取れる。単位取得状況が極端に低い科目も見受けられず、適切に運用していると受け止めている。

#### ⑤ 健康・スポーツ学科

科目の性質により、平常点で評価を行っている科目が比較的多い。また、その他の科目において複数の評価方法を用いていることは、担当教員が適切に評価している現れであると判断する。単位取得状況にも大きな問題も見受けられず、適切であると受け止めている。

#### ⑥ 食生活学科

評価方法として、講義科目では試験や試験とレポート、平常点などの併用、実験実習や演習科目では平常点やレポートを併用しており、科目の性質を考えて評価していると判断している。再試験の割合が少し高い科目も見受けられるが、学生の状況からみて妥当であると受け止めており、単位取得状況にも問題がないと判断する。

#### ⑦ 生活造形学科

実験実習や演習科目では、レポートや平常点で評価をしており、講義科目では試験やレポート、平常点との併用で評価をしており、評価方法は適切であると思われる。再試験科目も少なく、単位取得状況も適切であると受け止めている。

◇添付資料(3)「武庫川女子大学短期大学部学則」

◆参考資料(13)「武庫川女子大学短期大学部履修規程」

(3) 学長等は、単位認定の方法、単位の取得状況及び担当教員による評価の現状について、短期大学全体の状況をどのように受け止めているかを記述して下さい。

科目の目的や性質を考慮に入れ、単位認定のための評価方法を考える必要があると思う。科目によっては学期末の試験のみの評価、試験とレポートや平常点を併用するケースというように考えられる。重要なことは、教員が担当する科目の内容をいかに学生に身につけさせ

定着させるのか。そして、そこからいかにして学生自ら思考する力を養わせるのか、また学ぶ面白さを発見させるのかである。本学で開講している多くの科目で複数の評価方法が採用されている。これは、上記のことがらを各教員が考え、それを実践している現れであると判断する。今後もより学生に身につけさせるために、授業方法や評価方法のさらなる工夫も行っていきたい。

本学では、必修科目と資格関連科目で再試験を実施しており、それ以外の科目では再試験を行っていない。当然、再試験を比較的多く行う学科、ほとんど再試験を行わない学科に分かれる。食生活学科では比較的再試験が多いが、単位取得状況を見るとほぼ90%以上の学生が単位を取得している。その他の学科においても単位取得率が高く、最終評価についても大きな問題は見受けられず、総合的に適切に行われているものと判断する。

### 【授業に対する学生の満足度について】

(1)各授業について、終了後に「学生の満足度」の調査を実施していればその調査の概要を記述して下さい。また調査票の様式等を訪問調査の際にご準備下さい。

《Ⅱ教育の内容》の【教育改善への努力について】(1)で記述(P.26)したほか、さらに魅力ある短大を目指して、全学規模での「在学生満足度アンケート調査」を平成14年秋と平成17年秋に実施した。

本設問に該当する内容のものは、以下のとおりである。

- ・第1回:平成14年実施分の設問及び質問項目数
  - ① 共通教育科目について(具体的な質問は12項目)
  - ② 専門教育科目について(具体的な質問は12項目)
  - ③ 特別教育科目について(具体的な質問は10項目)
  - ④ 資格取得受験対策講座について(具体的な質問は9項目)
- ・第2回:平成17年実施分の設問及び質問項目等
  - ① 本学での学業について(授業の理解度、授業を理解できない理由、単位修得状況)
  - ② 本学に対する評価について
    - ・ 本学での授業について(具体的な質問は8項目)
    - ・ 本学のカリキュラムや履修システムについて(具体的な質問は8項目)

当該アンケート調査結果は、いずれも報告書としてまとめられ、全教職員に配布の上、報告会を開催するほか、アンケート回答者である学生のみならず、その結果をホームページで公開している。アンケート結果から浮かびあがった改善・改革すべき事項に対しては、学科・事務局の各組織単位で具体的な改善・改革方策の検討が行われ、自己評価委員会での審議を経て、「今後の取り組み」としてその内容もホームページで公開している。

- ◆ 参考資料(14)「学生満足度アンケート在学生アンケート2002 報告書」
- ◆ 参考資料(15)「在学生満足度アンケート調査 結果報告書(平成17年度)」

(2) 担当教員が授業終了後の学生の満足度に配慮しているかについて、学科長等が現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

授業評価や満足度での結果については、教員個人のみならず学科としてもその結果を真摯に受け止め、学生に対するフィードバックや改善に鋭意取り組んでいる。

(3) 学長等は短期大学全体の現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

平成 17 年秋に実施した満足度アンケートの結果において、本学の授業については興味がもてる授業が多いことや専門分野のカリキュラムが充実していることなど、学生から高い評価(満足度)を得ている。また同時に、授業内容の理解度、授業が理解できない理由、単位修得状況に対する学生自身の認識も把握することができ、有意義な調査であったと考えている。

これまで2度にわたる満足度アンケート調査によって、教職員には学生の満足度向上が短大の充実・発展に直結するという意識が浸透し、改善・改革に向けた取り組みを積極的に進めているが、今後も一層の努力を傾け、魅力ある短大を創造していきたい。

- ◆ 参考資料(14) 「学生満足度アンケート在学学生アンケート2002 報告書」
- ◆ 参考資料(15) 「在学学生満足度アンケート調査 結果報告書(平成 17 年度)」

## 【退学、休学、留年等の状況について】

(1) 過去3ヶ年(平成17年度～19年度)の退学、休学、留年等の数を表にして(平成20年3月31日現在、例あり)、学科等ごとに記載し、学科等の状況を明らかにして下さい。

退学者等一覧表

(平成20年3月31日現在)

学科・コース	区分	17年度入学	18年度入学	19年度入学	備考
日本語文化学科	入学者数	117	105	120	
	うち退学者数	3	4	2	
	うち休学者数	2	2	1	
	休学者のうちの復学者数	2	0	0	
	うち留年者数	5	2	0	
	卒業生数	113	99		
英語コミュニケーション学科	入学者数	112	102	104	
	うち退学者数	1	2	2	
	うち休学者数	0	0	0	
	休学者のうちの復学者数	-	-	-	
	うち留年者数	0	2	0	
	卒業生数	111	98		
幼児教育学科	入学者数	172	166	152	
	うち退学者数	2	4	1	
	うち休学者数	1	3	1	
	休学者のうちの復学者数	1	0	0	
	うち留年者数	1	2	0	
	卒業生数	170	161		
人間関係学科	入学者数	107	102	122	
	うち退学者数	3	3	0	
	うち休学者数	3	0	1	
	休学者のうちの復学者数	1	-	1	
	うち留年者数	2	1	0	
	卒業生数	104	99		
健康スポーツ学科 (健康教育コース)	入学者数	39	59	53	
	うち退学者数	3	2	1	
	うち休学者数	2	0	0	
	休学者のうちの復学者数	0	-	-	
	うち留年者数	1	1	0	
	卒業生数	34	52		
健康スポーツ学科 (生涯スポーツコース)	入学者数	43	26	44	
	うち退学者数	0	1	0	
	うち休学者数	0	1	0	
	休学者のうちの復学者数	-	1	-	
	うち留年者数	0	1	0	
	卒業生数	41	24		
食生活学科	入学者数	184	166	195	
	うち退学者数	3	1	3	
	うち休学者数	1	0	2	
	休学者のうちの復学者数	0	-	0	
	うち留年者数	3	3	0	
	卒業生数	180	162		
生活造形学科 (アパレルコース)	入学者数	96	107	96	
	うち退学者数	3	2	4	
	うち休学者数	1	1	0	
	休学者のうちの復学者数	1	0	-	
	うち留年者数	2	8	0	
	卒業生数	92	97		
生活造形学科 (インテリアコース)	入学者数	97	105	92	
	うち退学者数	5	3	2	
	うち休学者数	3	1	0	
	休学者のうちの復学者数	1	1	-	
	うち留年者数	5	6	0	
	卒業生数	91	97		

(2) 退学者の退学理由割合、退学理由の最近の傾向及び退学者、休学者(復学者を含む)及び留年者に対する指導(ケア)の現状について学科等ごとに記述して下さい。

(3) 退学、休学、留年等の現状を、学科長等がどのように受け止めているかを学科等ごとに記述して下さい。

### ① 日本語文化学科

退学者は、平成17年度入学生3名2.6%、平成18年度入学生4名3.8%、平成19年度入学生2名1.7%である。理由別に見ると、進路変更4名、修学意志の喪失4名、経済的な事情1名となっている。退学・休学希望者の指導は主にクラス担任が行っており、願出用紙を提出する前に担任と十分に相談し、その際担任から保護者に対しても確認するようにしている。留年者の数が平成17年度の5名から平成18年度2名に減少しているのは、担任による履修指導によるものと考えられる。

### ② 英語コミュニケーション学科

退学者は、平成17年度入学生1名0.9%、平成18年度入学生2名2.0%、平成19年度入学生2名1.9%である。理由は進路変更4名、経済的な事情1名である。留学、休退学については担任による指導が行われている。休学者は3年間を通じて0名となっており、留年者も少ない状況で推移している。

### ③ 幼児教育学科

退学者は、平成17年度入学生2名1.2%、平成18年度入学生4名2.4%、平成19年度入学生1名0.7%である。理由別に見ると、進路変更3名、修学意志の喪失2名、経済的な事情1名、病気療養1名となっている。本学科は幼稚園教諭、保育士の育成を目的としており、入学後に他の修学目的が見つかった場合には、進路変更や修学意志の喪失につながるケースもある。精神的な理由により休学する学生も増えてきており、担任の他、学生相談センターでのカウンセラーによる助言・指導も行われている。

### ④ 人間関係学科

退学者は、平成17年度入学生3名2.8%、平成18年度入学生3名2.9%、平成19年度入学生0名である。理由別では、進路変更4名、経済的な事情2名となっている。本学科は心理関係、レクリエーション関係の演習科目も多く、集団にうまく適応できずに進路変更をするケースもある。その都度、担任や学生相談センターで面接を行い、安易な進路変更を避ける努力をしている。また、経済的な問題を抱えた学生には、各種の奨学金や授業料延納制度があることを、スチューデントガイドに掲載し、担任からも説明している。

### ⑤ 健康・スポーツ学科

退学者は、平成17年度入学生3名3.7%、平成18年度入学生3名3.5%、平成19年度入学生1名1.0%である。理由別に見ると、進路変更3名、病気療養2名、経済的な事情1名、出産・育児1名となっている。本学科には、健康教育コースと生涯スポーツコースがあり、退学者は健康教育コースが多くなっている。また病気療養の2名は、身体的な負傷により競技ができなくなったための退学である。身体的な理由や経済的な理由の場合は、2年間まで認められている休学制度を利用するように、担任から指導をしているが、やむを得ず退学に至るケースもある。

### ⑥ 食生活学科

退学者は、平成17年度入学生3名1.6%、平成18年度入学生1名0.6%、平成19年度入学

生3名1.5%である。理由別では、進路変更5名、修学意志の喪失2名となっている。本学科は科目内容に理系的要素も多く、理系の勉学になじまず、進路変更や修学意志を喪失する学生もいる。このような学生に対しては、担任や科目担当者など学科全体でできるだけサポートしているが、毎年数名の退学者が出ており、そういった学生のほとんどが1年生のうちに退学している。

#### ⑦ 生活造形学科

退学者は、平成17年度入学生8名4.1%、平成18年度入学生5名2.4%、平成19年度入学生6名3.2%である。理由別に見ると、進路変更11名、修学意志の喪失5名、経済的な事情3名となっている。本学科はアパレルコース、インテリアコースに分かれているが、休退学者のコース間の差異はほとんどなく、他学科と比較して高い比率となっている。他学科と同様に丁寧な担任指導を行っているが、入学前に考えていた授業内容と異なっていたことによる修学意志の喪失や進路変更が目立つ。また、未修得単位多数による留年者も多い。

(4) 学長等は、短期大学全体の現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

3年間の退学者の合計は、3年間の入学者合計2,884名中60名(2.08%)である。その主な理由は、進路変更が34名、修学意志の喪失が13名、経済的理由が9名であった。進路変更については、これは他大学への進学や専門学校への進学であると受け止めている。修学意志の喪失も合わせると退学者の78%になる。これらの理由による退学は、入学前抱いていたものと実際に授業を受けた結果が異なることに起因していると考え、入試広報を通じてより受験者に各学科の特徴を理解してもらうとともに、入学後はクラス担任とのコミュニケーションをさらに密にすることにより、学科の設置理念や目標を理解してもらい、これらの数値を少なくする努力を行う必要がある。

留年者は2年間の合計で45名(2.36%)である。これは出席回数の不足や評価の不可により卒業単位が満たなかった学生であり、本学が行っている厳格な出席制度と評価の現われであるとも受け止められる。しかし、これらの学生数を少なくするために、1年次で開講されている初期演習を通じて学生のモチベーションを上げるとともに、欠席の多い学生に対するクラス担任や教科担当者からの指導をさらに徹底する必要がある。

#### 【資格取得の取組みについて】

(1)《Ⅱ 教育の内容》の【教育課程について】(3)で報告頂いた取得が可能な免許・資格、また教育課程とは別に取得の機会を設けている免許・資格の取得状況(取得をめざした学生数、取得者数、取得割合等)を学科等ごとに示して下さい。

平成13年度から、学生の学習意欲をサポートし、社会で幅広く活躍できる有為な女性を育成するため、「エクステンション講座」として、TOEIC、パソコン、Microsoft Office Specialist、秘書、色彩、簿記検定、公務員一般教養基礎、マスコミ就職対策等の講座を5~6限目に開講している。また特別学期(2~3月)の全学プログラムのなかでも資格対策講座(実践講座)として、語学・パソコン・秘書検定に関する科目を開講するほか、人間関係学科では公務員

受験、TOEIC 対策、保育士試験対策等の講座を、生活造形学科ではインテリアコーディネーター講座を独自に開講している。

平成 19 年度 エクステンション講座の検定試験受験状況

講座名	学科	受講者 (人)	受験者 (人)	合格(取得)者 (人)	合格(取得)率 (%)
パソコン3級	日本語文化	15	15	15	100.0
	英語コミュニケーション	12	12	12	100.0
	人間関係	5	5	5	100.0
	食生活	1	1	1	100.0
	生活造形	2	2	2	100.0
秘書検定2級	日本語文化	22	59	14	23.7
	英語コミュニケーション	20			
	幼児教育	3			
	人間関係	11			
	食生活	8			
	生活造形	1			
色彩検定 3級・2級	幼児教育	1	1	12	70.6
	食生活	1	1		
	生活造形	15	15		
MOS (Excel)	日本語文化	11	11	11	100.0
	人間関係	5	5	5	100.0
	食生活	7	7	7	100.0
	生活造形	4	4	4	100.0
簿記3級	日本語文化	2	7	0	0.0
	人間関係	5			
	生活造形	1			

◇添付資料(1) 「スチューデントガイド 2008-For Academic Studies-」p.130～p.131

◆参考資料(16) 「エクステンション講座案内 2008」

(2) 今後導入を検討している免許・資格があれば記述して下さい。

特になし

【学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価について】

(1) 学科等ごとに専門就職(当該学科等で学習した分野に関連する就職)の状況(専門就職数、割合等)について記述して下さい。また学科等ごとに専門就職先からの卒業生に対する評価について何か文書や資料があれば参考資料として準備して下さい。

学科ごとに専門就職先へ卒業生に対する評価の調査は実施していないが、キャリアセンターが2月に企業等に対して求人関係資料を発送する際に本学卒業生の「在籍調査書」を同封し、在籍確認とあわせ卒業生の勤務状況等について意見をもらった。

平成19年度は大学・短期大学部共通で8,044社に発送し、5月1日現在で305社から「在籍調査書」の提出を受け、その中で主な意見は以下のとおりである。

- ・ 弊社栄養士会役員として活躍している。とても明るい性格でスタッフとのコミュニケーションも上手く取れ、現場の要となっている。
- ・ 二人ともよく頑張っており、会社に貢献している。
- ・ 元気良く、お客様と接してくれるので、百貨店の受けも良く大変助かっている。
- ・ 責任感があり、積極的に職務を遂行できている。
- ・ 課員として必要な存在。非常に礼儀正しく有能な女性です。
- ・ 皆さんそれぞれの部署で前向きに仕事に取り組んで大変活躍している。
- ・ まじめに仕事に励んでいる。

#### ① 日本語文化学科

平成 19 年度年の卒業生は、幅広い分野の学習により、サービス・金融保険・小売・情報通信・製造・建設など幅広い業種の企業等へ就職が決定している。

就職者 58 名のうち職種で見ると一般職 41 名 (70.7%)、営業販売 13 名 (22.4%)、総合職 3 名 (5.2%)、情報処理 1 名 (1.7%)となっている。

#### ② 英語コミュニケーション学科

平成 19 年度の卒業生は、幅広い分野の学習により、運輸(航空)・サービス・金融保険・宿泊(ホテル)・小売・不動産・製造など幅広い業種の企業等へ就職が決定している。

就職者 68 名のうち職種で見ると一般職 40 名 (58.8%)、営業販売 11 名 (16.2%)、運輸通信 2 名 (2.9%)、総合職 4 名 (5.9%)、サービス 11 名 (16.2%)となっている。平成 19 年度も学生から希望の多い航空業界へ 2 名、ホテル業界へ 7 名、旅行業界へ 3 名が決定した。

#### ③ 幼児教育学科

平成 19 年度の卒業生は、幼児教育に関する専門的・技術的職業である公私立幼稚園教諭はもとより、公私立保育園や福祉施設を中心に多数就職が決定している。

就職者 112 名のうち職種で見ると幼稚園教諭 30 名 (26.8%)、保育士 73 名 (65.2%)となり、専門分野への就職者は合わせて 103 名 (92.0%)であった。

専門就職以外では一般職 7 名 (6.2%)、営業販売 2 名 (1.8%)が就職を決定した。

#### ④ 人間関係学科

平成 19 年度の卒業生は、幅広い分野の学習により、福祉・金融保険・小売・情報通信・製造など幅広い業種の企業等へ就職が決定している。

就職者 67 名のうち職種で見ると一般職 48 名 (71.6%)、営業販売 11 名 (16.4%)、保健医療 1 名 (1.5%)、総合職 3 名 (4.5%)、サービス 2 名 (3.0%)、情報処理 2 名 (3.0%)となっている。

#### ⑤ 健康・スポーツ学科

平成 19 年度の卒業生は、幅広い分野の学習により、教育・金融保険・小売・製造など幅広い業種の企業等へ就職が決定している。

就職者 37 名のうち職種で見ると一般職 15 名 (40.6%)、営業販売 7 名 (18.9%)、専門従事 9 名 (24.3%)、総合職 1 名 (2.7%)、教員 4 名 (10.8%)、生産 1 名 (2.7%)となっている。専門分野への就職としてはスポーツトレーナー 11 名 (29.7%)、教員(臨時) 4 名 (10.8%)が決定した。それ以外にも営業販売職においてはスポーツメーカー等関連企業へ 3 名が就職を決定した。

#### ⑥ 食生活学科

平成 19 年度の卒業生は、専門的就職である栄養士(病院・福祉施設・事業所・給食センター・幼稚園・保育所等)を中心に多数就職が決定している。

就職者 125 名のうち職種で見ると栄養士 39 名 (31.2%)、生産 2 名 (1.6%)、専門従事等 2 名 (1.6%)、で、専門分野への就職者は合わせて 43 名 (34.4%)であった。

専門就職以外では一般職 64 名 (51.2%)、サービス 6 名 (4.8%)、運輸 1 名 (0.8%)、営業販売 9 名 (7.2%)、総合職 2 名 (1.6%)となっているが食品関連企業へ 8 名が就職を決定した。

#### ⑦ 生活造形学科

平成 19 年度の卒業生は、幅広い分野の学習により、情報通信・サービス・金融保険・建設・小売・不動産・製造など幅広い業種の企業等へ就職が決定している。

就職者 110 名のうち職種で見ると一般職 40 名 (36.4%)、営業販売 47 名 (42.7%)、専門従事 5 名 (4.6%) 建築 9 名 (8.2%)、総合職 4 名 (3.6%)、情報処理 3 名 (2.7%)、サービス 2 名 (1.8%)となっている。一般職及び営業販売職においてはそのほとんどがアパレル・繊維・衣料関連企業への就職であった。

(2) 卒業生に対する就職先（専門就職に限らない）及びその他の進路先（編入先等）からの評価をどのように受け止めているかについて、短期大学全体については学長等が、学科等については学科長等が記述して下さい。

各地各業界で勤務する多くの卒業生の活躍に対する社会からの評価が、そのまま学生に対する評価となり、良好な進路状況に繋がっていると思われる。

わが国においても日々新たな課題に直面し、特に若い人々は生きていくための指針を失いがちである。このような厳しい社会と時代にあって、学生一人ひとりが学院の教育理念である「立学の精神」をしっかりと身につけ、実学的知識・技能を求める社会的要請に応えるため、思考力を兼ね備えた人材育成に努め、多様化した時代や現代の厳しい社会の中で良い教育と研究のあるべき姿を求め、さらなる努力を続けていきたい。

#### ① 日本語文化学科

多くの卒業生が各分野での活躍により評価を得ている。学科で学ぶ内容が「社会で役立つ知識や技能が身に付かない」「文学なんて就職に結びつかない」と思われるかもしれないが、実は企業等にとって最も望ましい新入社員とは、すぐれた日本語能力の持ち主。すなわち、正しく読み・書き・話す能力を備えた人材だと思われる。日本語文化学科ではこのような能力を備えた卒業生を今後も輩出していきたい。

#### ② 英語コミュニケーション学科

先輩の社会での活躍と評価が、後輩に対しての大きなサポートになっていると感じる。

企業が即戦力となる人材を求めている時代の中で、社会で活躍するためには英語を媒体として国際知識を学ぶことにより、高度な知識水準でのコミュニケーション能力を身につける必要がある。英語コミュニケーション学科ではこのような能力を備え、国際舞台で活躍できる人材の育成を目指したい。

#### ③ 幼児教育学科

多くの卒業生が各地の公私立幼稚園・保育所に勤務し、その活躍が評価され現在の就職状況に繋がっていると思う。今後も幼児教育学科の伝統である教員養成を中心に、これまでに卒業生が築いてきた社会的・教育的な評価や信頼をさらに発展させていきたい。

#### ④ 人間関係学科

本年度も含めここ数年の企業等からの求人数や高い就職率は、卒業生の活躍とそれに対する評価であると思われる。今後も幅広い分野で社会から求められる実践的能力と主体性を兼ね備えた人材を育成していきたい。

#### ⑤ 健康・スポーツ学科

専門分野等での卒業生の活躍とそれに対する評価が、そのまま学科の評価に繋がっている。スポーツの指導は人の心と身体を扱い正しい指導はもちろんのこと、多様なニーズに対応できるきめ細かな指導も求められる。今後も社会からの評価に応えることができるよう指導は勿論のこと、企画・運営・管理能力を身につけた実践的な指導者の育成を目指していく。

#### ⑥ 食生活学科

卒業生が栄養士会等それぞれのポジションにおいて評価された結果として、企業・事業所等から多くの求人が寄せられている。健康で心豊かな食生活を送るうえで「食」の重要性が見直され、「食」を中心とした関連分野は今後ますます大きな広がりを見せていく中で、社会のニーズに応えることができるよう、食に関する幅広く総合的な知識を持ち、さまざまな分野で活躍できる人材の育成を目指していく。

#### ⑦ 生活造形学科

卒業生がアパレル・衣料・繊維・住宅等さまざまな分野で活躍し、その勤務状態が評価を受けていることは大変光栄なことである。今後も生活を形づくる基礎的な事柄を学ぶとともに、衣と住の専門的・集中的な学習を通じて創造性と感性を磨き、社会で幅広く活躍できる人材を養成していきたい。

(3) 卒業生に対して「学生時代についてのアンケート（卒業後評価等）」等を実施している場合はその概要とその結果を記述して下さい。また教育の実績や効果を確認するための卒業生との接触、同窓会等との連携等を行っている場合もその取組みの概要と結果について記述して下さい。

卒業生に対して、アンケートという形式で実施はしていない。

卒業生の社会での活躍や教育の実績や効果を知る目的で、広報用パンフレット「キャンパスガイド」、在学生に対しては新入生に配布する「キャリアガイドブック」で多数の卒業生が誌面に登場し、目標を定めた学生生活の過ごし方、進路選択や就職活動時における取り組みの紹介や現在の職場における活躍の状況をインタビュー形式で掲載している。

また就職を控えた時期の在学生に対して、学内で実施する企業セミナー(企業の業務内容・採用状況の説明)においても人事担当者と一緒に本学卒業生の在籍者があれば、可能な範囲で同席してもらい、後輩に対して自らの経験をもとに在学中の取り組みや職業選択に関するさまざまなアドバイスを受けている。

実社会で経験を積んで活躍する卒業生は、在学生にとっては将来に向けての目標となり、各学科での学習や学生生活の過ごし方、職業観、キャリア観の育成など大変有効である。

夏季に本学・金沢・広島・高松で実施する保護者を対象とした地域別教育懇談会においても卒業生の協力を受け、就職体験談の時間を設けている。就職活動で苦労したこと、教員及びキャリアセンター等進路支援部署でサポートの内容、在学中に所属学科で学んだことを

社会でどのように活かしているかを発表している。

このように、卒業生の協力が教育の実績や効果を確認する機会でもあり、その意見の中で在學生への支援等再発見できる機会でもある。

◇添付資料(4)「キャンパスガイド 2009」

◆参考資料(17)「キャリアガイドブック」

(4) 卒業生が社会からどのように評価されているか、学科長等、学長等は現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。

本報告書 62 ページ(2)に記載のとおりである。

#### 【特記事項について】

(1) この《IV 教育目標の達成度と教育の効果》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、教育目標の達成度と教育の成果について努力していることがあれば記述して下さい。

特になし

(2) 特別な事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現(達成)できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

## <V 学生支援>

### 【入学に関する支援について】

(1) 入学志願者に対し、短期大学は建学の精神・教育理念や設置学科等の教育目的・教育目標、求める学生像をどのような方法、手段で明示しているかを記述して下さい。なおそれらが記載されている短期大学案内等の印刷物を添付して下さい。

立学の精神・教育理念や設置学科等の教育目的・教育目標、求める学生像は、「キャンパスガイド」に記載している。さらに各家庭や高等学校のパソコン普及率の向上に伴い、学院ホームページにおいても教育目標等を公開し、受験生がいつでも自由に閲覧できるよう心掛けている。

このように印刷物に加えインターネットでの広報にも力を入れているが、従来からの受験生と直接会話して内容を伝える「マンパワーの広報」にも重点を置いている。年6回実施するオープンキャンパスでは、参加者を講堂に一堂に集め本学の教育目標を説明するとともに、学科毎に実施しているプログラム(イベント)や相談コーナーにおいては、学科毎の教育目標や求める学生像について説明している。

「キャンパスガイド」はオープンキャンパスの他に、全国各地で本学単独または他大学と合同で実施している進学相談会や高等学校内のガイダンスでも内容を紹介し、配付している。また受験雑誌やインターネットを介して、資料請求があった受験生や保護者にも送付している。さらに本学に対して志願実績のある全国の高等学校にも毎年送付している。

「キャンパスガイド」では紹介しきれない学科の内容については、学科毎に「サブパンフレット」を作成し、特に志望学科が決定している受験生に対してより詳細に紹介し、ホームページにおいても学科別のページを掲載している。

広報室では、従来の新聞広告に加え新聞社と連携した企画広告の製作にも力を入れ、本学の内容をより適切な時期に、従来よりも幅広い多様な層に的確に伝わる広報を心がけている。

◇添付資料(4) 「キャンパスガイド 2009」

◆参考資料(18) 「学科別サブパンフレット」(全学科)

(2) 入学志願者に対し、入学者選抜の方針、選抜方法(推薦、一般、AO入試等)をどのような方法、手段で明示しているかその概要を簡潔に記述して下さい。なおそれらが記載されている募集要項等の印刷物を参考資料としてご準備下さい。

入学志願者の多種多様なニーズに応えながら、入学者の質及び適正な量を確保するために、平成19年度は一般入試(A・B・C・Dの4種類)及び推薦入試(公募制推薦・指定校推薦・スポーツ推薦・自己推薦・外国人留学生指定校推薦の5種類)を実施した。

選抜方法については「学生募集要項」を作成し、入学者選抜の方針や入試制度及び入学手続方法等を明示している。学生募集要項は、7月のオープンキャンパス以降から配付している。配付方法としては、一般入試や公募制推薦・自己推薦入試は、入学志願者全員に本人もしくは高等学校・予備校を通じて郵送あるいは手渡ししている。それ以外の入試については、本学が指定した高等学校や日本人学校を通じて配付している。

また例年 6 月上旬には「学生募集要項」に先がけ、入試情報(入学定員・入試日程・入試科目・入試結果等のデータ)を掲載した「入試案内」を作成し、受験生に配付している。「入試案内」は「キャンパスガイド」とセットで、本学に対して志願実績のある全国の高等学校にも毎年送付している。

オープンキャンパスや入試相談会においては、印刷物を補足するべく口頭での説明を重視している。平成 19 年度は約 1,200 校の高等学校や予備校を訪問し、説明を行った。教員対象入試説明会も本学及び学外で複数回開催し、平成 19 年度の参加者数は約 200 名だった。

またホームページや受験雑誌・新聞でも公開している。ホームページでは、インターネットの速報性の利点を活かし、印刷物の完成する以前から常に最新情報を迅速に伝えるよう工夫している。

入試問題については過去問題集を作成し、1 年分の各選抜の入試問題を配点・解答例とともに公表し、キャンパスガイド・入試案内とともに配付している。

- ◆参考資料(19) 「入試案内 2009」
- ◆参考資料(20-1) 「公募制推薦入試・一般入試 学生募集要項」
- ◆参考資料(20-2) 「指定校推薦入試 学生募集要項」
- ◆参考資料(20-3) 「外国人留学生指定校推薦入試 学生募集要項」
- ◆参考資料(20-4) 「武庫川女子大学附属高等学校用 学生募集要項」
- ◆参考資料(20-5) 「自己推薦入試 学生募集要項」
- ◆参考資料(20-6) 「スポーツ推薦 学生募集要項」

(3) 広報及び入試事務についての体制(組織等)の概要を記述して下さい。また入学志願者、受験生等からの問い合わせにはどのような体制で応じているかを記述して下さい。

広報業務は、入試センターと広報室がお互いに連携を取りながら行っている。オープンキャンパスや入試説明会等の企画・実施及び高等学校等への訪問業務は、入試センターが行っている。受験雑誌・新聞・専門誌などへの広告出稿及び新聞社・テレビなどマスコミへのプレスリリースは、広報室が行っている。

印刷物については、「学生募集要項」、「入試案内」、オープンキャンパスのポスターやチラシ及び合格者に配付する「入学ガイド」、「合格者の皆さんと保護者の方へ」は入試センターが作成し、「キャンパスガイド」や広報雑誌「リビエール」、「リバーサイド」は広報室が作成している。各学科が作成した「サブパンフレット」の取りまとめは、入試センターが行っている。

その他広報室は、ホームページを管轄し、入試に関する情報ページ(入試制度、オープンキャンパスの内容、出願期間中の志願者速報、合格発表日の合格者の受験番号等)は入試センターが作成している。

入試業務全般に関しては、学長・副学長(教学局長)と学科を中心に入試センターが連携をとりながら総括する。入試センターには、センター長(教員)・次長 2 名(教員)と事務系 10 名の合計 13 名で構成されている。これに加えて、常任委員 1 名と各学科から広報入試委員が各 1 名選出され、広報入試委員会を構成し、正確かつ迅速に入試業務を遂行できるよう努

めている。

受験生からの問い合わせに対しては、入試センターが窓口となり、広報入試委員(各学科の内容)や事務局他部署(就職→キャリアセンター、学寮・下宿・奨学金→学生課、編入学制度→教務課 等)と連携をとりながら行っている。

- ◆参考資料(18) 「学科別サブパンフレット」(全学科)
- ◆参考資料(21) 「入学ガイド 2008」
- ◆参考資料(22) 「合格者の皆さんと保護者の方へ」
- ◆参考資料(23) 広報誌「リビエール」
- ◆参考資料(24) 広報誌「リバーサイド」

(4) 願書受付から合否通知にいたる入学試験の流れについて、選抜方法ごとにその概要を記述して下さい。また多様な選抜を公正かつ正確に実施しているかどうか、入試事務の責任者は現状をどのように受け止めているかを記述して下さい。入学願書等を参考資料としてご準備下さい。

願書受付については、志願者が多い公募制推薦・一般入試は外部業者に委託している。入試センターの専任職員 1 名が作業現場に定期的に訪問し、チェック項目の点検及び不備確認を徹底して行っている。受付終了後に受験生に受験票を発送している。

入学試験実施後は速やかに採点するが、公募制推薦入試や一般入試は全てマークシート方式で実施しており、コンピュータが解答用紙(OMR)をプログラム通りに正しく採点しているかの事前チェックは言うまでもなく、判定資料を作成する前の抜き取りチェックも厳重に行っている。また指定校推薦、自己推薦入試、スポーツ推薦入試などの面接を実施する入試制度については、入試センターが面接要領を作成し、事前に説明会を行い、正確かつ適正に実施されるよう心がけている。

本学では複数の入試制度を実施しているが、合否判定はどの入試制度も公正性・妥当性を確保するために、当該学科内で原案を作成し、その原案を基に学院長・学長・副学長(教学局長)と入試センターが協議をした上で、教授会に諮っている。選考結果と合格最低点を高等学校や予備校に送付し、かつホームページにも公表し、透明性を確保するよう努めている。

多様な選抜を公正かつ正確に実施するために、毎月 2 回実施している「広報入試委員会」の他に、「入試運営委員会」を毎年 10 月に開催している。学長を入試運営委員長とし、副学長・事務局長・入試センター長等の運営委員で構成され、入学試験実施に向けた全学の意志統一と役割分担の確認を行っている。また入試運営委員長、各学科代表者(学科長、幹事教授、広報入試委員)及び入試センターとで構成する「入試連絡会」を毎年 2 回、推薦入試と一般入試の 1ヶ月前に開催し、入試実施から判定に至るまでの重要事項を確認している。各入学試験当日は、試験開始前に試験監督者全員に対して、重要事項の再確認を徹底している。このように本学では、入学試験の実施及びチェック体制は十分機能している。

(5) 合格者もしくは入学手続き者に対し、入学までの間、授業や学生生活についてどのような方法、手段で情報の提供を行っているかを記述して下さい。なおそのための印刷物等があれば参考資料としてご準備下さい。

合格者に対しては、合格通知書を発送する際に、入学後に役立つ情報を紹介する「入学ガイド」及び各学科が作成した入学前に取り組んでほしい課題や要望等をまとめた「学科からのメッセージ(プリントもしくは冊子)」を同封している。「学科からのメッセージ」には、学科の紹介や教育目標、入学前に読んでおいて欲しい本の一覧、入学前の心がまえや課題等を掲載している。また、各学科のホームページでも常に最新の情報を公開するよう心がけている。

◆参考資料(21) 「入学ガイド 2008」

◆参考資料(25) 「学科からのメッセージ」(全学科)

(6) 入学後(入学直前を含む)、入学者に対して行っている学業や学生生活のためのオリエンテーション等の概要を示して下さい。

入学時に全入学生に対して、1年次オリエンテーションとして、学長特別講義、教学局オリエンテーション、学科別企画オリエンテーション等を実施し、立学の精神の講義を通じて本学学生としての自覚を促すとともに、学生生活に円滑に適応できるように指導している。

また具体的な指導にあたっては、学科別・クラス別オリエンテーションを重ね、各学科の理念・目的と教育課程について詳細な説明を行い、学修の意義・目的の理解や将来の進路選択を見据えた学生生活の過ごし方について指導・助言を行っている。

平成20年度 新入生対象のオリエンテーション主要日程

月日	事 項	内 容
4/5(土)	担任オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任の自己紹介と担任制度の説明</li> <li>・「学生証(M.I.C.)」「記章」「在学確認票」の配付</li> <li>・「学生調書」の回収</li> <li>・学生住所等変更届、在学証明書の説明</li> </ul>
	教育説明会(保護者対象)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学長による本学の教育概要の説明</li> <li>・副学長による本学の教学局体制(授業・キャリア支援・諸資格・行事等)の説明</li> </ul>
	担任との面談(保護者対象)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任挨拶ならびに自己紹介</li> <li>・担任制度や学科の教育方針の説明、連絡方法の通知</li> <li>・本学の厚生援助制度の周知</li> </ul>
	学院キャンパスネットワーク利用講習会 情報教育研究センター利用説明会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MWU-net の利用者 ID とパスワードの交付</li> </ul>
	学科別企画 (実施する学科:短日・短英・短教・短健・短食)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学科長による特別講義、各学科の教育内容の説明等</li> </ul>
4/7(月)	学友会オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学友会の意義、仕組みの説明</li> <li>・委員会・クラブ・同好会の紹介</li> </ul>
	学科別オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修に関する説明(学科教務委員)</li> <li>(1)大学・学科の教務関係教育方針</li> <li>(2)履修規程等諸規程の説明</li> <li>(3)履修要項について</li> <li>(4)シラバス、Student Guide 等の説明</li> <li>(5)カリキュラムの構造及び履修便覧の読み方の説明</li> <li>(6)卒業要件の確認</li> <li>(7)入学前の既修得単位の認定について</li> <li>(8)単位互換制度の紹介</li> </ul>
	クラス別オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格についての説明(学科諸資格対策委員)</li> <li>(1)各学科独自に取得できる諸資格の確認</li> <li>(2)履修便覧の諸資格取得関連科目の履修方法概要</li> <li>・学生生活についての諸注意(学科学生委員)</li> <li>(1)学生証(M.I.C.)の利用について</li> <li>(2)学生生活について</li> <li>(3)課外活動について</li> <li>(4)褒章制度の説明</li> <li>(5)本学の主な禁止事項</li> </ul>
4/8(火)	学長特別講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス担任による授業・履修等の説明</li> <li>(1)授業時間・出欠について</li> <li>(2)オフィスアワーについて</li> <li>(3)教科書の購入について</li> <li>(4)ボランティア活動の単位認定について</li> <li>(5)学生相談について</li> <li>(6)クラス幹事・会計について</li> <li>(7)定期健康診断について</li> <li>(8)奨学金について</li> <li>(9)学生傷害見舞金制度について</li> </ul>
	本学の共通教育について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学長による立学の精神、学院教育綱領等の説明</li> </ul>
	キャリアプランニングについて (諸資格指導室・キャリアセンター共催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通教育部長による本学の共通教育科目の説明</li> <li>・学内で開催されるエクステンション講座の説明</li> <li>・卒業後の進路選択を見据えた大学生活の過ごし方について</li> <li>・近年の就職環境について</li> <li>・適性検査「自己発見レポート」の説明</li> </ul>
	新入生 Web 履修登録説明会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修登録方法の説明(事務職員)</li> </ul>
9/16(火)	後期担任ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス担任による授業・履修等の説明</li> </ul>

◆参考資料(21)「入学ガイド 2008」

## 【学習支援について】

(1) 入学時もしくは学期ごとに行っている学習や科目選択のためのガイダンス等の概要を示して下さい。

学生に対する履修指導は、クラス担任、オフィスアワー、教務部及び諸資格指導室の担当窓口で行っており、その中心はクラス担任である。クラス担任は入学時より卒業時まで一貫して履修指導にあたっている。入学時には全入学生を対象とした学長特別講義、教学局オリエンテーション、学科別企画オリエンテーション等を実施し、本学学生としての自覚を促すとともに、各学科における学生生活に円滑に適應できるように指導している。具体的な履修指導にあたっては、学科別・クラス別オリエンテーションを重ね、各学科の理念・目的と教育課程について詳細な説明を行い、学修の意義・目的の理解について指導・助言を行っている。2年次以降の学生についても、担任ガイダンスを各学期当初に開き、上記とほぼ同様の指導がなされている。

1年次のクラス担任は1年次必修の「初期演習」の時間を通じて前期・後期にわたって、履修指導を徹底することに心がけている。加えて、後期の初めには後期担任ガイダンスを実施し前期同様に学修意欲の向上を図るとともに、前期に履修した科目の成績を踏まえ、学生個々に対応した履修指導・助言を行っている。

クラス担任は履修の事務的な手続きの解説に終始することなく、学生個々の学修の達成度を\*MUSESにより随時確認しつつ、履修について指導することに努めている。クラス担任は、2年次も可能な限り担任クラスの授業を担当するように配慮しており、常に履修指導や生活指導等に心がけ、学生の意欲的な学修促進のための指導・助言を重ねるように努めている。なお後期中頃には、「特別学期特別教育科目履修便覧」を配布し、特別学期の理念・目的の理解を促すとともに、意欲的な履修を奨励し、学生が主体的に幅広い学修を深めるように指導している。さらに履修登録の手続きは、教務部の担当窓口でもいつでも詳細に説明が受けられるように担当者を配置している。担当者は手続きのみではなく、学生の履修が有効に行われるように適切な助言を行っている。

\*MUSES(教育支援システム)とは、Mukogawa Women's University System for Educational Supportの略である。学生生活におけるあらゆる学生情報や授業に関する履修・受講情報、さらには教員情報等をMUSESデータベースとして一元的に集約することで、事務処理の効率化や迅速化、学生・教員・職員間のコミュニケーションの緊密化を促し、より一層の『教育サービスの充実化』を実現することを開発目的としたシステムである。学生向けサービスとして、Webによる履修登録機能・確認機能、シラバス、出欠管理、受験資格、授業や試験の時間割、成績・休講・補講などの参照機能、また、教員向けサービスとして、Webによる担任クラスの履修確認機能や成績参照機能、シラバス、成績、教員業績、休講・補講などの入力機能を提供している。

◇添付資料(2) 「スチューデントガイド 2008-For Campus Life-」p.6、p.16～p.20

◆参考資料(26) 「特別学期特別教育科目履修便覧」

◆参考資料(27) 「MUSES 利用案内」

(2) 学習や科目選択のための印刷物(学生便覧等を除く)があれば参考資料としてご準備下さい。

◇添付資料(1)「スチューデントガイド 2008-For Academic Studies-」

◆参考資料(3)「履修便覧(平成 20 年 4 月入学生用)」

◆参考資料(5)「シラバス 2008」(全学科)

◆参考資料(28)「平成 20 年度前期時間割」(全学科)

(3) 基礎学力不足の学生に対し補習授業等の取組みを行っている場合は、その概要を記述して下さい。

基礎学力不足の学生に対し、特別な補習授業を行っていない。各教員が担当する科目において必要とする基礎学力が不足していると感じられた場合には、科目の授業内で工夫をすることにより基礎学力の補充を行っている。また、特別学期に学力補充の授業を学科プログラムとして開講している学科もある。

(4) 学生の学習上の問題、悩み等に対し指導助言のための取組みや体制があれば記述して下さい。

開学以来、クラス担任制を採用しており、学生の学習上の問題、個人的な相談、進路の相談等に対してクラス担任が適切なアドバイスを行っている。学生が抱えている問題が心理的なケアを要するものと判断された場合には、学生相談センターに行くように指導する。学生相談センターは月曜日から金曜日の午前 9 時 30 分から午後 5 時まで、土曜日は、奇数週に受付のみ開室している。

◇添付資料(2)「スチューデントガイド 2008-For Campus Life-」p.6、p.125～p.127

◆参考資料(29)「学生相談センターパンフレット」

(5) 進度の早い学生や優秀学生に対する学習上の配慮や学習支援を行っていれば、記述して下さい。

各教員のオフィスアワーやクラス担任に相談に来た学生については、知識や見聞を広げるような指導を行うとともに、さらに学習意欲のある学生には 4 年制大学への編入学を支援している。また成績優秀者に対しては、創設者公江喜市郎の篤志を基金とした褒賞金を毎年各学科から 1 名選んだ公江特待生に給付している。

◇添付資料(2)「スチューデントガイド 2008-For Campus Life-」p. ii

## 【学生生活支援体制について】

(1) 学生生活を支援するための組織や体制(教員組織、事務組織のいずれも)の現状を示して下さい。

学生生活支援体制は、学生部を中心として全教職員が関わる組織が機能している。卒業まで、必要事項や学生が受益できる内容の周知には担任があたっている。また、全学生が構成員となる学友会活動は、各学科幹事会と6委員会(総務委員会・厚生委員会・文化部委員会・運動部委員会・文化祭実行委員会・体育祭実行委員会)及び会計監査で組織運営がなされている。それぞれの委員会と運動部・文化部の各部活動には、専任教職員が指導と相談に当たっている。

指導を継続する中で、指導内容や各組織の運営について課題が発生した場合には、学生部常任委員の教員が協議して、当該委員会や部活動に助言や支援を行う。このような体制の下、学生は自主的に伸び伸びと活動に取り組んでいる。因みに、これらの活動中の安全の確保については学生の自覚を促すとともに教員が細心の注意を払い、万全を期して指導している。しかし、不幸にして負傷事故などが発生する場合も考えられるため、保健センターに看護師を常駐させている。加えて、医師資格を持つ本学教授が学内にスポーツクリニックを開院しており、受診できる体制となっている。

この他に最近の傾向として、学生相談センターを訪れ精神的な悩みを訴える学生が増加しており、センターの役割が増加している。本学の学生相談センターは来談者が入室し易く、他の学生には目立ちにくい点に配慮した場所を選んでいる。存在の周知については、入学時に学生と保護者の両方に案内リーフレットを配布している。職員体制としては学生相談員3名と精神科医1名及び3名の事務職員で運営している。取組内容は、グループワークやエンカウンタープログラムを実施し、コミュニケーション能力を高める活動を行っている。このような精神的な悩みを持つ学生に対してだけでなく、多くの一般学生が豊かな学生生活を送れるよう学術的内容も生活上の相談もともに対応できるようにするため、専任教員は週に1回は研究室に待機して質問や悩み・人生相談に応じるというオフィスアワーを実施している。

◇添付資料(2) 「スチューデントガイド 2008-For Campus Life-」p.81～p.104、p.125～p.127

◆参考資料(29) 「学生相談センターパンフレット」

(2) クラブ活動の現状、学友会の現状、学園行事(学園祭、短大祭等)の実施の状況を、その指導体制及び学生の活動状況を含めて記述して下さい。

### ① 学友会の現状、学園行事の実施の状況

学友会は、大学・短大に在籍するすべての学生により構成されている団体であり、単なる自治組織ではなく、大学公認の学生団体として位置付けされている。

各クラスにおいてクラス幹事が選出され、幹事により学科幹事会が組織されている。さらに学科幹事会の代表と文化・運動系クラブ代表により学友会の中心的組織である総務委員会が形成され、学友会の意思決定が全学生の代表によってなされている。また、学生による自律的な活動が行われている一方、各委員会・幹事会・クラブに指導教員をおいて、その指導、

助言の下に安全で健康・文化的な活動が行われるよう配慮し、2 大行事の体育祭、文化祭をはじめ多彩な年間行事を下記の一覧のとおり開催している。これらは学友会の各委員会が中心となり、指導教員の助言の下に企画運営している。

### 学友会各委員会が開催する各種行事

開催時期	行事名	担当委員会名	行事名	担当委員会名
4月	学友会オリエンテーション	総務委員会	体育系クラブ説明会 文化系クラブ説明会	運動部委員会 文化部委員会
5月	スプリング講習会 学友会総会	厚生委員会 総務委員会	体育祭	体育祭実行委員会
6月	DVD上映会 学友会献血	文化部委員会 総務委員会	運動部講習会	運動部委員会
7月	サマー講習会	厚生委員会		
9月	マリンスポーツ講習会（in 沖縄）	運動部委員会		
10月	文化祭	文化祭実行委員会	オータム講習会	厚生委員会
11月	映写会 学友会献血	文化部委員会 総務委員会	歴史遺産をめぐるツアー 学友会総会	文化部委員会 総務委員会
12月	クリスマスツリー点灯式	総務委員会	きれい year (不用品大回収)	厚生委員会
2月	学友会献血	総務委員会		
3月	スキー・スノーボード講習会（in 長野）	運動部委員会		

## ② クラブ活動の現状

公認団体(クラブ・同好会)には、平成 19 年度は文化部 23 団体に 101 名、運動部 25 団体に 108 名が所属し、全学生総数の 1 割弱が併設の大学生と一緒に活動している。

全国大会で毎年優秀な成績を収めるクラブにおいてレギュラーの一員として活躍し、卒業時に文化賞や体育賞の表彰を受ける学生もいる。

また全国私立短期大学体育大会では、硬式庭球部が平成 16 年、17 年と団体女子 1 位、平成 19 年には 2 位という好成績を収めている。

## ③合宿所の利用

課外活動の更なる振興のため、有恒会館(合宿所)を設置している。学寮として使用していた建物を学生の要望に応じて改修したもので、学校から徒歩 3 分の距離にあり、前述の活動の準備・打ち合わせ、対戦相手の招聘に供している。有恒会館は、団体としての凝集性を高め、また他大学選手の招聘の効果として本学学生の競技能力向上にも繋がっており、学友会活動の側面的支援を担っている。

◇添付資料(2) 「スチューデントガイド 2008-For Campus Life-」p.81～p.104

◆参考資料(30) 「虹 第 83 号(2008 春)」(学生部発行)

(3) 学生の休息のための施設・空間、保健室、食堂、売店の設置の概要について記述して下さい。なお訪問調査の際にご案内いただきます。

保健センターでは、急な発熱や腹痛、外傷などの思いがけない病気や怪我に対応して応急処置を行う他、常時 6 床のベッドを備えた休養室を設けており、体調不良の学生がゆっくりと休息できる空間になっている。

また授業の合間の休息スペースとしては、学内に食堂4店舗及びコンビニエンスストア 1 店舗(総席数 1,540 席)がある。時間割による昼休憩が 50 分であるため、昼の時間帯の一時的な混雑はあるものの、それ以外の時間帯はゆとりのあるスペースを確保している。いずれの食堂店舗も持ち込み可能であり、学生が自由に勉強や休憩、小グループでの打合せができるよう開放しており、学生の利便性に配慮している。このほか、ラウンジや庭園、中庭にはベンチを配置し、授業の合間や昼食時間帯に一息つける心地よいスペースを提供している。食堂の昼食時間帯の混雑を避けるため、自動販売機を効率よく設置したり、食堂におけるテイクアウトの内容を充実させるなどの工夫も行っている。

売店としては、武庫川学院事業課が運営する売店において、文具、学用品、衣料品、郵便切手等の販売、旅行相談などの斡旋を行っている。ここでは学生の経済的負担を少しでも軽減するため、良い商品を安く販売している。このほかコンビニエンスストアにおいても、文具、雑貨類の販売、公共料金の代行収納、宅配便の取り扱いなど多様なサービスを展開している。

書籍類については、教科書販売コーナー(業者に委託)、ブックセンター(業者に委託)を設置している。ここでは書籍の販売だけでなく、各種検定受験の取次ぎも行っている。いずれも書籍類が定価の 5%割引で購入できる(各種検定受験料は除く)など、学生の経済的負担を軽減するための配慮を行っている。

◇添付資料(2) 「スチューデントガイド 2008-For Campus Life-」p.77～p.80、p.128～p.131

(4) 短期大学が設置する学生寮の状況、下宿・アパート等の宿舍の斡旋の体制、通学のための便宜(通学バスの運行、駐輪場・駐車場の設置等)の概要を示して下さい。

自宅通学以外の学生は 402 人おり、全体の 20.5%に該当する。このうち、寮からは 8.3%、下宿・ワンルームマンションからは 12.2%の学生が通学している。

遠方からの学生受入れのため、5つの寮を設置している。併設大学と合わせた収容定員は 500 人で、大学・短大の定員区分はない。平成 20 年 5 月 1 日現在、短大生は 162 人在寮している。在寮生の約 32.6%は短大生である。

学寮については、教育寮として設置しており、教職員である寮監の指導のもと、共同生活の中で規律正しい生活を送りつつ、寮生個々の社会的適応力の向上と、寮生相互に思いやる気持ちを涵養している。

真の教育は、生活を共にすることから始まるという校祖 公江喜市郎の教育理念の実践の場として、社会の期待に応えている。

また下宿・ワンルームマンションを希望する学生のために、下宿紹介を行っている。紹介物

件には、女子専用で、家主が同一建物、又は近隣に居住、あるいは 24 時間管理という条件を設け、学生本人はもとより保護者も安心できる物件を斡旋している。なお平成 18 年度からは、外部業者に委託し、学内における相談回数を増加させるとともに、専門性をもった職員による対応で、遠方からの保護者・生徒の利便性の向上と多様化するニーズに対応している。

通学の手段としては、電車通学の学生が大半であることから、最寄り駅からの通学路に警備員を配し、登学時の安全確保とマナー指導に努めている。

自転車通学の学生のために、キャンパス周辺に駐輪場 1,500 台収容(併設大学と共同使用)を設けている。駐輪場内及び周辺の整備・管理は業者委託している。自動車、単車の通学は禁止としている。

◇添付資料(2) 「スチューデントガイド 2008-For Campus Life-」p.45、p.72～p.76

(5) 平成 19 年度の日本学生支援機構等の外部奨学金の取得状況を記述して下さい。また短期大学独自の奨学金等があればその概要を記述して下さい。

### ① 本学独自の奨学金

平成 19 年度の受給状況は次のとおりである。

奨学金の名称	学内・学外の別	概要	給付・貸与の別	対象学生数
武庫川学院奨学	学内	授業料の支弁が困難で、学業継続意志のある者、及び入学後の家計急変により、授業料の納入が困難になった者に対し、学業の達成を援助する。	給付	10
武庫川学院鳴松会奨学	学内	授業料の支弁が困難であり、学業優秀・品行方正であると認められる者に対し、学業の達成を援助する。	給付	4
武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部教育後援会奨学金	学内	卒業学年に在籍する学生で、当年度末に在学期間・修得単位数などの卒業要件を満たし、卒業が見込まれる者で、家計困窮により当期授業料の納入が困難となっている者に対し、学業の達成を援助する。	貸与	0
武庫川女子大学日本語日本文学科・武庫川女子大学短期大学部日本語文化学科外国人留学生奨学金	学内	日本語文化学科に在籍する私費外国人留学生で、学業優秀、品行方正、身体強健で授業料の支弁が困難な者に対し、学業の達成を援助する。	給付	0

### ② 学外団体の奨学金

日本学生支援機構奨学金取得状況(平成 19 年度実績 延べ数)は次のとおりである。

学外の奨学金として、都道府県奨学など募集はしているが、平成 19 年度は日本学生支援機構のみである。

学 科 名	第一種		第二種		計
	1年	2年	1年	2年	
日本語文化学科	9	11	32	23	75
英語コミュニケーション学科	14	10	21	16	61
幼児教育学科	13	20	35	26	94
人間関係学科	17	6	26	14	63
健康・スポーツ学科	15	10	32	19	76
食生活学科	23	15	43	29	110
生活造形学科	18	24	34	46	122
計	109	96	223	173	601

◇添付資料(2) 「スチューデントガイド 2008-For Campus Life-」p.57～p.66

(6) 学生の健康管理、メンタルケアやカウンセリングの体制の概要を示して下さい。

学生の健康の保持は、豊かな学生生活を送る上で最も大切な条件の一つである。その基本となるのが健康診断である。本学では4月、5月の2ヶ月をかけて全学生の健康診断を実施し、受診率は96%台である。大切なことは心身の健康の保持であり、健康診断結果の学生への通知が前提になる。従来は胸部X線の結果のみ配付していたが、現在は学生に保健センターへの来室を促し、個別に保健指導をしながら結果を配付している。これらの対応は保健センターが全て行っており、2名の看護師が常駐している。また教授で、内科医である2名の医師が顧問として兼務している。ベッドは6床あり、一台は電動式である。因みに部屋の広さは221㎡で8部屋に模様替えが可能な6室を備えている。

#### ① 保健センターの活用状況

年間延べ1,400名強が利用しており、全学生数の約76%が利用したことになる。このうちベッドを利用した者は約10%の152人である。さらにその内で医療機関に搬送もしくは紹介した者は27名である。医院等での受診科は様々であるが、内科がやや多い。

#### ② 健康相談

平成7年度から保健センターにおいて顧問の医師が、日常生活を送る上での健康に関する不安や悩みの相談を受付けてアドバイスする機会を週4日設けている。これとともに婦人科に関する相談日を月に1回設けている。それらの取り組みの中で、必要に応じて医療機関を紹介している。

#### ③ ハラスメントの防止について

ハラスメントの防止に向けては、ガイドラインを設け、セクシュアル・ハラスメントにとどまらず、アカデミックハラスメント等の防止も含め、「ハラスメント防止委員会」を学内に設置し、未然防止と救済体制を整えたところである。また、毎年、防止に向けての研修会を夏季休暇中に実施しているところである。

◇添付資料(2) 「スチューデントガイド 2008-For Campus Life-」p.44、p.128～p.131

(7) 学生支援のために学生個々の情報等を記録していれば、それらはどのように保管・保護されているかを記述して下さい。

学生個人の記録としては、学校教育法施行規則で定められた学習の記録及び健康状況の記録は「学籍簿」、「学生健康診断票」として保管・管理されている。学籍簿については用紙の他、CD-ROM、マイクロフィルムでも保管している。いずれも帯出禁止とし、施錠し管理保管している。

また MUSES では、履修・成績・学籍・出席状況などの業務担当部署からの情報更新と、学生自身が、学友会活動(役員履歴・クラブ活動記録・褒賞記録など)や就職活動(自己PR・希望進路・資格取得・留学記録・英語能力[TOEIC・TOEFL]の推移など)等の情報を登録することにより、学生個々の統合的な「Personal file」が作成できる。これらの情報は、学生指導・支援に係わる担任及び教務部、学生部、諸資格指導室、キャリアセンター、学生相談センター等の関連部署で活用され、きめ細やかな学生サービスと修学支援に役立てている。

個人情報収集に関しては、平成 15 年 5 月に「個人情報の保護に関する法律」が制定されたことを受け、「個人情報保護及び管理に関する規程」を定めた。個人情報の取り扱い及び使用目的・利用については、規定に基づいて入学時に同意を得ており、取り扱いには慎重を期している。

なお MUSES は、情報教育研究センターが発行する ID・パスワードにより利用を許可している。利用権限は学生・教員・職員の利用者別に区分し、利用者の所属や業務内容等で参照・更新権限を制限し、情報保護に努めている。MUSES のサーバは、入室の際に IC カードとパスワードが必要な情報システム室に設置し、許可された者しか入れないように管理されている。

各種データは、管理年限を定めてそれぞれの保管場所で管理され、管理期間を過ぎたものは粉碎処理・焼却処分とし、不要な記憶媒体はメディアシュレッダーで破棄している。

◇添付資料(2) 「スチューデントガイド 2008-For Campus Life」p.16～p.20

◆参考資料(31) 「武庫川学院個人情報保護及び管理に関する規程」

◆参考資料(27) 「MUSES 利用案内」

### 【進路支援について】

(1) 進路状況表(平成 20 年 3 月 31 日現在、例あり)を作成し、過去 3 ヶ年(平成 17 年度～19 年度)の就職状況等を学科等ごとに記載して下さい。また進路一覧表等の印刷物があれば参考資料としてご準備下さい。

(平成 17・18 年度については 5 月 1 日現在のデータ。自己開拓就職者数は調査していない。)

平成17年度～19年度 日本語文化学科の進路状況表

区 分		17年度		18年度		19年度	
a	卒業生数	126 人		109 人		103 人	
b	就職希望者数	b/a	77 人 61.1%	75 人 68.8%	68 人 66.0%		
c	うち学校で斡旋した就職者数	c/b	75 人 97.4%	75 人 100.0%	53 人 77.9%		
d	うち自己開拓分の就職者数	d/b	0 人 0.0%	0 人 0.0%	5 人 7.4%		
e	就職未定者	e/b	2 人 2.6%	0 人 0.0%	10 人 14.7%		
f	進学・留学希望者数	f/a	27 人 21.4%	18 人 16.5%	22 人 21.4%		
g	その他	g/a	22 人 17.5%	16 人 14.7%	13 人 12.6%		

平成17年度～19年度 英語コミュニケーション学科の進路状況表

区 分		17年度		18年度		19年度	
a	卒業生数	145 人		112 人		98 人	
b	就職希望者数	b/a	98 人 67.6%	82 人 73.2%	70 人 71.4%		
c	うち学校で斡旋した就職者数	c/b	96 人 98.0%	80 人 97.6%	65 人 92.9%		
d	うち自己開拓分の就職者数	d/b	0 人 0.0%	0 人 0.0%	3 人 4.3%		
e	就職未定者	e/b	2 人 2.0%	2 人 2.4%	2 人 2.9%		
f	進学・留学希望者数	f/a	30 人 20.7%	22 人 19.6%	23 人 23.5%		
g	その他	g/a	17 人 11.7%	8 人 7.1%	5 人 5.1%		

平成17年度～19年度 幼児教育学科の進路状況表

区 分		17年度		18年度		19年度	
a	卒業生数	186 人		171 人		163 人	
b	就職希望者数	b/a	140 人 75.3%	118 人 69.0%	119 人 73.0%		
c	うち学校で斡旋した就職者数	c/b	138 人 98.6%	116 人 98.3%	94 人 79.0%		
d	うち自己開拓分の就職者数	d/b	0 人 0.0%	0 人 0.0%	18 人 15.1%		
e	就職未定者	e/b	2 人 1.4%	2 人 1.7%	7 人 5.9%		
f	進学・留学希望者数	f/a	25 人 13.4%	34 人 19.9%	26 人 16.0%		
g	その他	g/a	21 人 11.3%	19 人 11.1%	18 人 11.0%		

平成17年度～19年度 人間関係学科の進路状況表

区 分		17年度		18年度		19年度	
a	卒業生数	130 人		106 人		102 人	
b	就職希望者数	b/a	82 人 63.1%	65 人 61.3%	74 人 72.5%		
c	うち学校で斡旋した就職者数	c/b	81 人 98.8%	65 人 100.0%	61 人 82.4%		
d	うち自己開拓分の就職者数	d/b	0 人 0.0%	0 人 0.0%	6 人 8.1%		
e	就職未定者	e/b	1 人 1.2%	0 人 0.0%	7 人 9.5%		
f	進学・留学希望者数	f/a	28 人 21.5%	25 人 23.6%	19 人 18.6%		
g	その他	g/a	20 人 15.4%	16 人 15.1%	9 人 8.8%		

平成17年度～19年度 健康・スポーツ学科の進路状況表

区 分	17年度		18年度		19年度	
a 卒業者数	111 人		78 人		76 人	
b 就職希望者数	b/a	66 人 59.5%	46 人 59.0%	41 人 53.9%		
c うち学校で斡旋した就職者数	c/b	65 人 98.5%	46 人 100.0%	35 人 85.4%		
d うち自己開拓分の就職者数	d/b	0 人 0.0%	0 人 0.0%	2 人 4.9%		
e 就職未定者	e/b	1 人 1.5%	0 人 0.0%	4 人 9.8%		
f 進学・留学希望者数	f/a	31 人 27.9%	20 人 25.6%	23 人 30.3%		
g その他	g/a	14 人 12.6%	12 人 15.4%	12 人 15.8%		

平成17年度～19年度 食生活学科の進路状況表

区 分	17年度		18年度		19年度	
a 卒業者数	194 人		184 人		163 人	
b 就職希望者数	b/a	155 人 79.9%	155 人 84.2%	132 人 81.0%		
c うち学校で斡旋した就職者数	c/b	153 人 98.7%	152 人 98.1%	117 人 88.6%		
d うち自己開拓分の就職者数	d/b	0 人 0.0%	0 人 0.0%	8 人 6.1%		
e 就職未定者	e/b	2 人 1.3%	3 人 1.9%	7 人 5.3%		
f 進学・留学希望者数	f/a	20 人 10.3%	19 人 10.3%	18 人 11.0%		
g その他	g/a	19 人 9.8%	10 人 5.4%	13 人 8.0%		

平成17年度～19年度 生活造形学科の進路状況表

区 分	17年度		18年度		19年度	
a 卒業者数	221 人		187 人		196 人	
b 就職希望者数	b/a	144 人 65.2%	105 人 56.1%	120 人 61.2%		
c うち学校で斡旋した就職者数	c/b	142 人 98.6%	100 人 95.2%	100 人 83.3%		
d うち自己開拓分の就職者数	d/b	0 人 0.0%	0 人 0.0%	10 人 8.3%		
e 就職未定者	e/b	2 人 1.4%	5 人 4.8%	10 人 8.3%		
f 進学・留学希望者数	f/a	47 人 21.3%	50 人 26.7%	51 人 26.0%		
g その他	g/a	30 人 13.6%	32 人 17.1%	25 人 12.8%		

(2) 学生の就職を支援する組織や体制(教員組織、事務組織いずれも)の現状を記述して下さい。

学生の希望進路に応じて複数の部署が指導に当たっている。キャリアセンターは、教員及び保育士を除く一般就職と公務員就職を指導し、企業等からの求人情報を学生に提供するとともに、就職に備えた各種ガイダンス等を実施している。諸資格指導室は、教員、保育士就職を指導し、都道府県市町村の教員募集や私立学校等の求人情報を学生に提供するとともに、採用試験対策講座を実施している。各学科においても所属学生のニーズや専門性に応じた学科独自の支援を実施し、進路についてきめ細かく指導している。

また学生に対して有効な支援プログラムを提供し、一人でも多くの学生を支援していくには教員との連携が不可欠である。教員の就職支援の意識も高まりつつあり、キャリアセンターでは常任委員会、就職問題連絡協議会(連絡委員は各学科代表教員)、諸資格指導室では常

任委員会、諸資格対策委員会において就職やキャリア支援に関する諸問題について協議し、支援体制・支援内容の確立に努めている。

学科には就職支援担当教員がおり、学生への個別指導だけでなく学科独自のガイダンス等特色を活かした支援に取り組んでいる。

(3) 就職支援室、就職資料室等の現状を示し、学生にどのように就職情報等を提供しているかを記述して下さい。

キャリアセンターでは、13名のスタッフが学生の支援に従事している。

就職資料室等の内容は次の通りである。

- ・ 就職資料室……約 5,000 社の企業ファイルと就職関連図書を設置。
- ・ 求人情報掲示コーナー……求人情報、セミナー情報などの資料を掲示。
- ・ 就職相談コーナー……企業経験豊かな専門職員が予約制で相談。
- ・ 公務員コーナー・Uターンコーナー……関連資料を掲示及びファイリング。
- ・ 就職情報検索用パソコンコーナー……パソコン 15 台とプリンター 2 台を設置。
- ・ ガイダンス室……各種ガイダンス、企業セミナー、キャリアカウンセリング(キャリアディベロップメントアドバイザーの資格を持つキャリアセンター職員と学外アドバイザーが対応)等を実施。

また求人情報・企業情報等の提供については、求人情報の掲示や資料のファイリングだけでなく、キャリアセンターの利用時間外でも学生が情報収集できるようにインターネットを活用し、MUSESを利用してキャリアセンター及び諸資格指導室が受理した求人情報等を提供している。

情報量の限られている地方求人については、職員が対象となる学生に電話をかけて紹介するなどの個別対応も行っている。また学生の進路登録がまとまる 10 月頃からは、各学科ごとに担当職員を決め、学生に対して個別に電話をかけて活動状況の確認や求人の紹介等の対応も実施し、学生の希望する就職が実現できるように支援している。

◇添付資料(2) 「スチューデントガイド 2008-For Campus Life-」p.135～p.148、

◆参考資料(17) 「キャリアガイドブック」

(4) 過去 3 ヶ年(平成 17 年度～19 年度)の就職状況について、就職率及び就職先を学長等、学科長等はどのように受け止めているかを記述して下さい。

景気回復と団塊世代の大量退職により新卒者の求人倍率は上昇し、一部では売り手市場とも言われているが、企業は学生に対して「コミュニケーション能力」「協調性」「問題解決力」のあるより質の高い人材を求め、採用の厳選化の結果、人気企業へは依然厳しい環境であった。

このような環境の中で短期大学部全体として就職希望者に対する就職率は平成 17 年度 98.4%、平成 18 年度 98.1%、平成 19 年度 90.2%と高い水準を確保できた。

## ① 日本語文化学科

ここ数年常に高い就職率を上げ、金融、保険、サービス、製造等の幅広い業種と一般職、総合職、営業販売等の幅広い職種に就職が決定している。これも企業等採用側の本学に対する高い評価の結果の表れであると思われる。

### ② 英語コミュニケーション学科

就職率は全体的に高いが、特に人気のある航空・旅行・ホテル業界への就職実績を上げている。これも在学生の努力だけではなく、これまで数多くの卒業生を世に送り出し、先輩の社会での活躍が、大いにサポートとなった結果であると思われる。

### ③ 幼児教育学科

幼児教育に関する専門的・技術的職業である公私立幼稚園教諭はもとより、公私立保育園や福祉施設を中心に多数就職している。その他、学習を通して自らを磨き、その豊かな人間性と資質が評価され、金融・情報・サービス業等の一般企業にも就職している。

### ④ 人間関係学科

多くの学生が、自分の目標と興味と関心にあわせて「キャリアデザイン系」と「総合系」の科目の中から幅広く学習し、その成果を活かしてさまざまな資格を取得し、堅実な「職業観」を持って、商社・金融・サービス業などの幅広い業種の一般企業に就職している。

### ⑤ 健康・スポーツ学科

健康・スポーツ施設でのインストラクターやトレーナー、一般企業(スポーツ関連等)での営業や事務、医療・福祉分野でのスポーツ・運動指導員や事務、公務員など専門知識を活かした企業・事業所等に就職している。

### ⑥ 食生活学科

総合的な視点から食生活を見つめることのできる実践力のある栄養士の育成を目指し、栄養士(病院・福祉施設・事業所・給食センター・幼稚園・保育所等)の就職だけでなく、一般企業での事務・営業・販売・品質管理者、公務員にも就職している。

### ⑦ 生活造形学科

ファッション、デザイン、インテリア、住宅産業等の企画・販売・品質管理等の分野で生産者や生活者(消費者)の視点に立った就職だけでなく、販売職や営業職や事務職等にも幅広く就職している。

(5) 過去3ヶ年(平成17年度～19年度)の進学(四年制大学、専門学校等)及び海外留学の実績について、その支援はどのような方法、体制で行ったかを記述して下さい。

### 進学状況(進学者数および卒業者に対する割合)

	17年度	18年度	19年度
日本語文化学科	27 (21.4%)	18 (16.5%)	22 (21.4%)
英語コミュニケーション学科	27 (18.6%)	21 (18.8%)	23 (23.5%)
幼児教育学科	25 (13.4%)	32 (18.7%)	26 (16.0%)
人間関係学科	28 (21.5%)	24 (22.6%)	19 (18.6%)
健康・スポーツ学科	31 (27.9%)	20 (25.6%)	23 (30.3%)
食生活学科	20 (10.3%)	19 (10.3%)	18 (11.0%)

生活造形学科	46 (22.4 %)	50 (26.7 %)	50 (25.5 %)
計	204(18.3 %)	184 (19.4 %)	181 (20.1 %)

平成 19 年度の進学者 181 名の内訳は大学進学 140 名、専門学校等 41 名である。

大学進学 140 名のうち他大学への進学は 21 名、本学の大学への進学は 119 名で 85%を占めている。学生への支援については本学の大学への希望者は各学科で行い、他大学の情報提供は入試センター等が支援を行っている。

#### 留学状況(留学および留学希望者数および卒業者に対する割合)

	17 年度	18 年度	19 年度
日本語文化学科	0 (0 %)	0 (0 %)	0 (0 %)
英語コミュニケーション学科	3 (2.1 %)	1 (0.9 %)	0 (0 %)
幼児教育学科	0 (0 %)	2 (1.1 %)	0 (0 %)
人間関係学科	0 (0 %)	1 (0.9 %)	0 (0 %)
健康・スポーツ学科	0 (0 %)	0 (0 %)	0 (0 %)
食生活学科	0 (0 %)	0 (0 %)	0 (0 %)
生活造形学科	1 (0.5 %)	0 (0 %)	1 (0.5 %)
計	4 (0.4 %)	4 (0.4 %)	1 (0.1 %)

留学については国際交流室が相談等に常時対応している。留学に関する書籍の閲覧や貸出、インターネット検索も自由にでき、教員による留学相談も実施している。

◇添付資料(2) 「スチューデントガイド 2008-For Campus Life-」p.110、p.149～p.152、

◆参考資料(32) 「交換留学ハンドブック 2008」

#### 【多様な学生に対する支援について】

(1) 過去 3 ヶ年(平成 17 年度～19 年度)の留学生・社会人・帰国子女・障害者・長期履修学生・科目等履修生の受け入れ状況を示し、その学習支援、生活支援はそれぞれどのような方法、体制で行っているかを記述して下さい。なお、学生数はいずれの年度も 5 月 1 日時点とします。

#### 多様な学生の受入状況(平成 17 年度～19 年度)

種 別	17 年度	18 年度	19 年度	計
留学生 (人)	0	0	0	0
社会人 (人)	0	0	0	0
帰国子女 (人)	0	0	0	0
障害者 (人)	0	0	0	0
長期履修学生 (人)	0	0	0	0
科目等履修生 (人)	9	20	16	45

#### ① 留学生

留学生については、日本語文化学科において平成 16 年度より外国人留学生指定校推薦入試を実施しているが、これまで受け入れ実績はない。正規学生ではないが、毎年協定校か

ら1ヶ月の短期留学生を受け入れ、日本語教育及び日本文化の紹介などの特別なプログラムを設定して対応し、本学短大生との交流を図っている。

## ② 社会人

社会人入試を実施しておらず、過去3ヶ年において受け入れはない。

## ③ 帰国子女

帰国子女入試を実施しておらず、過去3ヶ年において受け入れはない。

## ④ 障害者

障害者の受け入れは、過去3ヶ年では実績がないが、受け入れても支障がないように障害者用トイレやスロープを設置するなど、毎年、バリアフリー化に努めている。

## ⑤ 長期履修学生

本学では、長期履修学生制度を設けていない。

## ⑥ 科目等履修生

社会の多様な要請に対応するため、学則第10章において科目等履修生の制度を規定し、科目等履修生規程により必要な事項を定めている。科目等履修生については、安易な受け入れに流れることなく、本学の教育課程に十分対応できる学修能力が備わっていることや、立学の精神を理解して真摯に学修に立ち向かう姿勢をもった履修生であることが求められる。科目等履修生は受け入れ学科において選考に関する慎重な審議を経て、教授会で承認されている。その結果、毎学期相当数の社会人を受け入れており、内訳としては、本学卒業生が資格取得を目的として授業科目を受講する場合が最も多く、自己学習を深めるために申し込む履修生もいる。本学としては、積極的に受け入れており、単位修得が必要でない科目等履修も認められている。基本的には学科の承認があれば、本人の希望する科目を自由に登録することができる。履修指導については、学科又は諸資格指導室あるいは両者が協議して、指導担当を定めており、教育的配慮も適切に行っている。

◇添付資料(2)「スチューデントガイド 2008-For Campus Life-」p.110～p.111

◆参考資料(19)「入試案内 2009」

◆参考資料(20-1)「公募制推薦入試・一般入試 学生募集要項」

◆参考資料(20-2)「指定校推薦入試 学生募集要項」

◆参考資料(20-3)「外国人留学生指定校推薦入試 学生募集要項」

◆参考資料(20-4)「武庫川女子大学附属高等学校用 学生募集要項」

◆参考資料(20-5)「自己推薦入試 学生募集要項」

◆参考資料(20-6)「スポーツ推薦 学生募集要項」

◆参考資料(33)「武庫川女子大学短期大学部科目等履修生規程」

### 【特記事項について】

(1)この《V 学生支援》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば学生の個人情報保護への取組み、成績不良者への支援、長期欠席者への援助、学生に対する表彰制度等、学生支援について努力していることがあれば記述して下さい。

## ① 学生の個人情報保護への取組み

本学では、個人情報の保護に関する法律(平成17年4月1日施行)に即応し、学内の規

則等を整備し、関係法令を遵守しながら、学生及び保護者等に関する個人情報の取扱いに慎重を期している。取り扱う在学生等の個人情報の利用目的及び個人データの共同利用を入学試験合格者に対する手続き書類に記載し、入学前から周知徹底している。また第三者に提供する個人情報を明示し、本人の同意を得ている。

## ② 成績不良者への支援及び長期欠席者への援助

成績不良者に対しては、前・後期それぞれ定期試験後に再試験期間を設け、再試験を実施している。成績表は、毎年保護者に送付するほか、クラス担任に、クラス別の学生総合成績一覧表と卒業学年の9月に卒業警告者一覧表を配付して、適時、成績不良者の把握と適切な指導助言ができる体制を整備している。

また開学以来、出席制度を導入し、所定回数以上授業に出席しなければ、定期試験を受験できないように措置しているため、クラス担任が、自クラスの学生のすべての授業科目の出欠状況が把握できる。所定回数以上欠席し、受験不可科目が多い学生に対して、クラス担任は該当学生を指導助言し、欠席理由によっては、休学をすすめるなどの対応を行っている。

## ③ 学生に対する表彰制度

学業、学友会活動その他在学中に優秀な成績・特筆すべき行いを修めた学生に与えられる栄誉ある賞として、褒賞制度がある。褒賞には、在学時に「公江特待生」（各学科から推薦を受けた学術優秀で、本学の学生として真にふさわしい者。）、「学院長賞」（体育活動又は文化活動において一定基準以上の成績を収めた個人及び団体、又はオリンピック等世界レベルの大会に出場した個人。）、卒業時に「学長賞」、「功労賞」、「文化賞」、「体育賞」、「善行賞」がある。

## ④ 本学独自の奨学金制度

経済的に困窮し、かつ人物・能力的に優秀な学生に対する支援策として、本学独自の奨学金制度を設けている。

ア. 武庫川学院奨学(給付):入学後の家計急変者及び家計困窮者を対象として、授業料支弁を援助する。

イ. スポーツ奨学(給付):人格・運動技能に優れ、スポーツ活動において優秀な成績を収めた学生に奨学金を給付する。

## ⑤ 学生相談について

大学教育の一環としての学生支援・学生相談という理念に基づき、学生の多様化という現状を常に把握し、学生の個別ニーズに応じた学生相談が真に学生の人間形成に役立つよう、学生相談センターがその役割を担っている。

◇添付資料(2)「スチューデントガイド 2008-For Campus Life-」p. ii、p.57～66、  
p.125～127

(2) 特別な事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現(達成)できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

<VI 研究>

【教員の研究活動全般について】

(1) 「専任教員の研究実績表」を作成し、過去3ヶ年(平成17年度～19年度)の専任教員の研究状況を記載し、その成果について記述して下さい。

(平成20年5月1日現在)

所属名称略称	氏名	資格	著書数	論文数	学会等発表数	その他	国際的活動の有無	社会的活動の有無
1	日本語文化学科	柴田 清継	教授	6	4	8	0	○
2	日本語文化学科	菅 宗次	教授	8	13	2	0	○
3	日本語文化学科	寺島 修一	准教授	0	0	1	0	
4	日本語文化学科	西山 明美	准教授	0	0	0	22	○
5	日本語文化学科	羽生 紀子	講師	0	4	0	0	○
6	英語コミュニケーション学科	大槻 和子	教授	0	0	0	0	
7	英語コミュニケーション学科	竹島 信夫	教授	0	0	0	0	
8	英語コミュニケーション学科	西嶋 久雄	教授	0	2	0	0	○
9	英語コミュニケーション学科	郷路 行生	准教授	0	0	1	0	
10	英語コミュニケーション学科	笹部 徹	准教授	4	0	2	0	○
11	英語コミュニケーション学科	山根 明敏	准教授	2	0	0	0	
12	英語コミュニケーション学科	三宅 弘晃	講師	2	1	1	0	
13	幼児教育学科	生地 加代	教授	0	0	0	4	
14	幼児教育学科	藤谷 智子	教授	0	2	4	0	○
15	幼児教育学科	萬代 悟	教授	0	0	0	0	
16	幼児教育学科	大貝 茂	准教授	0	1	0	0	
17	幼児教育学科	小野 賢太郎	准教授	0	0	0	0	
18	幼児教育学科	木本 素美子	准教授	0	0	0	0	○
19	幼児教育学科	宮澤 是	准教授	0	0	0	0	
20	幼児教育学科	大津 尚志	講師	3	8	1	0	
21	幼児教育学科	崎山 ゆかり	講師	2	1	5	0	
22	幼児教育学科	山下 由佐	講師	0	0	0	0	
23	幼児教育学科	山田 隆	講師	0	0	0	0	
24	人間関係学科	本玉 元	教授	6	1	1	0	○
25	人間関係学科	水田 英男	教授	0	1	2	0	
26	人間関係学科	井関 良美	講師	0	4	0	0	○
27	人間関係学科	長岡 雅美	講師	0	5	2	0	
28	健康・スポーツ学科	伊達 萬里子	教授	0	7	7	0	
29	健康・スポーツ学科	永田 隆子	教授	2	18	0	0	○
30	健康・スポーツ学科	目連 淳司	教授	0	2	0	0	
31	健康・スポーツ学科	北島 見江	准教授	0	8	6	4	○
32	健康・スポーツ学科	田嶋 恭江	准教授	0	7	0	0	○
33	健康・スポーツ学科	中西 匠	准教授	1	7	10	0	
34	健康・スポーツ学科	松本 裕史	講師	2	4	4	0	
35	健康・スポーツ学科	保井 俊英	講師	0	6	0	0	
36	食生活学科	谷郷 悦子	教授	4	0	8	0	
37	食生活学科	松井 徳光	教授	2	10	11	0	○
38	食生活学科	小関 泰平	准教授	0	0	0	0	
39	食生活学科	鈴木 一永	准教授	6	6	44	0	○
40	食生活学科	花崎 憲子	准教授	2	7	14	0	
41	食生活学科	升井 洋至	准教授	3	4	13	0	
42	食生活学科	吉田 徹	准教授	0	4	19	0	
43	食生活学科	石井 裕子	講師	0	0	1	0	
44	食生活学科	石崎 由美子	講師	0	0	11	0	○
45	食生活学科	岸本 三香子	講師	0	3	10	0	
46	食生活学科	澤田 小百合	講師	0	3	8	0	
47	食生活学科	谷野 永和	講師	2	1	10	0	
48	食生活学科	堤 理恵	講師	0	2	1	0	
49	食生活学科	長尾 幸子	講師	0	0	0	0	
50	食生活学科	山本 周美	講師	0	0	1	0	
51	生活造形学科	奥野 温子	教授	0	0	0	0	
52	生活造形学科	濱田 雅子	教授	2	2	5	0	○
53	生活造形学科	黒田 智子	准教授	0	0	0	0	
54	生活造形学科	中尾 時枝	准教授	0	1	0	0	
55	生活造形学科	森 幹雄	准教授	0	1	0	0	
56	生活造形学科	吉田 恭子	准教授	0	0	0	0	
57	生活造形学科	田中 由佳理	講師	0	5	6	2	
58	生活造形学科	山本 泉	講師	0	0	0	0	
59	共通教育科	小西 すず	准教授	4	4	8	0	
60	共通教育科	木村 麻衣子	講師	0	1	1	0	

(注)その他…作品発表、演奏会等の件数を記載している。

(2) 教員個人の研究活動の状況を公開していれば、その取組みの概要を記述し、公開している印刷物等を訪問調査の際にご準備下さい。

教員の研究活動状況は、本学が毎年発行している紀要に研究成果の年間報告を記載している。本学の紀要は、(自然科学編)と(人文・社会科学編)の2分野に分かれて発行しており、それぞれの巻末に論文などの研究活動報告を公表している。その他、学科で独自の刊行物やホームページでも公開している。

◆参考資料(34)「武庫川女子大学紀要」

(3) 過去3ヶ年(平成17年度～19年度)の科学研究費補助金(以下、「科研費」という)の申請・採択等、外部からの研究資金の調達状況を一覧表にして下さい。

#### 外部研究資金の申請・採択状況(平成17年度～19年度)

外部資金調達先等		17年度		18年度		19年度	
		申請	採択	申請	採択	申請	採択
科学研究費補助金	新規件数(件)	10	3	12	2	10	2
	金額(千円)	/	3,600	/	3,200	/	1,800
	合計件数(継続含む)(件)	14	7	15	5	13	5
	合計金額(継続含む)(円)	/	6,600	/	5,500	/	4,300
その他の外部研究資金 (受託研究費・特別寄付金等)	受入件数(件)	/	9	/	14	/	4
	金額(千円)	/	14,510	/	18,080	/	3,525

(4) 学科等ごとのグループ研究や共同研究、短期大学もしくは学科等の教育に係る研究の状況について記述して下さい。

すべての研究活動は、併設の武庫川女子大学の各学部・学科と一体的に行われている。各学科においては、後述するようにそれぞれ独自に学術講演会や研究発表会の開催または学術雑誌の編集・刊行などを行い、全体としては非常に活発な研究活動を展開している。

また、教員の中には、武庫川女子大学の附置研究所などに研究員として参画することによって自らの研究を深化させている者もあり、研究の高度化・活性化に努めている。

## 【研究のための条件について】

(1) 研究費（研究旅費を含む）についての支給規程等（年間の支出限度額等が記載されているもの）を整備していれば訪問調査時に拝見します。なお規程等を整備していない場合は、過去3ヶ年（平成17年度～19年度）の決算書から研究に係る経費を項目（研究費、研究旅費、研究に係る施設、機器・備品等の整備費、研究に係る図書費等）ごとに抽出し一覧表にして参考資料として準備して下さい。

研究費については、専任教員個人の研究活動に直接的に要する諸経費（機器備品・図書を含む）に充てている。学科の研究予算は、実験系または非実験系ごとに積算単価を設定し、その単価に教員数を乗じて算出している。個人研究費は、各学科に一括配賦し学科の判断により一律配分以外は部門共通として保有し重点配分することができる。なお、研究費は単年度に計画的な執行ができない場合は、予算の年度繰越制度を利用することができる。

研究旅費は、専任教員一律に配分し、国内の学会発表参加や研究資料の収集等に充てることができる。また、研究旅費は研究費への流用を弾力的に行うことができる。

過去3ヶ年の研究費及び研究旅費は、次のとおりである。

個人研究費		(単位:千円)		
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	
個人研究費	73,646	82,690	82,270	
専任教員数	250	271	267	
教員一人当たりの研究費	295	305	308	

研究旅費		(単位:千円)		
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	
研究旅費	35,101	38,667	40,450	
専任教員数	250	271	267	
教員一人当たりの研究費	140	143	151	

研究費以外に、本学独自に「特別研究経費」予算の制度を設けている。これは、新任教員研究室整備費・個人研究費で購入できない事業費や大型の研究設備・図書等の購入に充てることができ、平成18年度には36件77,906千円(1件当たり平均交付額2,164千円)の予算配賦をしている。

本学の専任及び嘱託の教育職員が科学研究費補助金に応募することを奨励し、併せて本学の研究活動の高度化・活性化を図るために支給する研究費として、「武庫川女子大学科学研究費補助金学内奨励金」を平成16年度に発足させ、選考の上、一人当たり200千円～700千円交付している。

◆参考資料(35)「武庫川女子大学科学研究費補助金学内奨励金規程」

(2) 教員の研究成果を発表する機会（学内発表、研究紀要・論文集の発行等）の確保について、その概要を説明して下さい。なお過去3ヶ年（平成17年度～19年度）の研究紀要・論文集を訪問調査の際に拝見いたしますのでご準備下さい。

教員の研究成果については、短大を含む高等教育機関では一般的にみられるように、

各教員とも自らが加入している学会や研究会の研究大会や講演会などの場において口頭で、もしくは当該学会や研究会が刊行している学術雑誌などにおいて学術論文という形で活発に発表している。

短大に所属するすべての教員は、併設の武庫川女子大学紀要編集委員会が編集・発行する『武庫川女子大学紀要』に学術論文を掲載する形で研究成果を発表することになっている。また大学紀要のほかに各学科で編集・発行している学術雑誌（大学との共同）でも、学術論文などを発表する機会を設けている。

その他、武庫川女子大学の附置研究所や文部科学省の私立大学学術研究高度化推進特別補助として採択されている同大学の研究プロジェクトに研究員として参画している教員については、附置研究所や補助対象となっている研究プロジェクトが主催する学術講演会やシンポジウムなどでの口頭発表または研究成果報告書において研究成果を発表している。

◆参考資料(34)「武庫川女子大学紀要」

(3) 教員の研究に係る機器、備品、図書等の整備状況について、平成 19 年度の決算よりその支出状況を記述して下さい。また訪問調査の際の校舎等案内時に教員の研究に係る機器、備品、図書等の状況を説明して下さい。

平成 19 年度に各学科の個人研究費の予算で購入した機器備品及び図書は、機器備品が 7,265 千円、図書が 7,072 千円である。その他に、新任教員研究室整備、共同研究、大型プロジェクト事業など個人研究費では購入できない高額な研究設備・特別図書の整備に充てることができる特別研究費の予算で取得した機器備品及び図書は、機器備品が 29,412 千円、図書が 33,302 千円である(いずれも大学含む)。

本学短大部の決算額としての教育研究用機器備品は 56,798 千円、教育研究用図書(雑誌含む)は 18,556 千円である。

なお研究費で購入した機器備品については、要求のあった研究室・教員が原則として備品管理者となり、研究・教育目的のため自由に利用できるようにしている。また特別研究費(または教育費)で購入した機器備品については、要求のあった学科またはプロジェクトの代表者が原則的に備品管理者となるが、補助金などにより用途が特定されない限り、学科を越えて可能な限り教育研究活動の目的のために有効利用できるよう、共同機器室を整備することや学科準備室に機器を設置するなどして、短大及び併設する大学との共用資産として取扱いすることとしている。特に図書館資料として位置付けられる図書については、研究用として個人研究費で購入された場合においても、共用図書として学生に開放されることを推進している。これらの対応には研究活動への支障が生じないように研究者への特別貸出制度等の配慮を行っている。

またキャンパスネットワークの整備により、研究室等学内外から学術関連データベースへのアクセスが可能となり、検索をはじめ各専門分野での情報収集が容易となることで、学術研究の高度化と教育の充実が期待される。

(4) 教員の教員室、研究室または研修室、実験室等の状況を記述して下さい。なお訪問調査の際に研究室等をご案内願います。

建物の新築により教員研究室の整備を行ってきた結果、専任の教授、准教授、講師の教員研究室は、現在 60 名中 57 名が個室の研究室（個室率 95%）である。共同の研究室を含めた教員 1 人当たりの平均の教員研究室の面積は 26.1 m<sup>2</sup>である。なお、主に実験系では教育・研究の都合上、助手・副手と同室の場合もある。研究室は、学科ごとに基本的には同一建物内に設けており、学科運営、教育・研究活動に支障がないよう配置している。

実験系の教員の研究室の近くには、研究に必要な機器を備えた実験・実習室を設置している。また、食生活学科所属の実験系教員の研究室は、室内で簡単な実験ができる仕様となっている。

研究室は必要に応じ改善・整備しており、教育研究に支障のない状況である。

◇添付資料(1)「スチューデントガイド 2008-For Academic Studies-」p.193～p.221

(5) 教員の研修日等、研究時間の確保の状況について記述して下さい。

役職を持たない専任教員の授業担当基準時間数は原則、週当たり通年で 14 時間としている。また教務部ハンドブックの「教員の勤務に関する申し合わせ」に、週 2 日を研究日に充てることができるとし、授業以外の時間を研究に充てるよう配慮している。一方で、学生に対する授業時数の増加、教育実習校や栄養士実習に伴う訪問などで、研究に充てる時間も制約を受けるなど学科によって多少の差はあるものの、申し合わせ事項に基づき、研究日が運用されているため、問題はない。

また研修制度は、「武庫川学院在職研修規程」「武庫川学院在外研修規程」「武庫川学院教員国内研修規程」に基づき運用している。対象はいずれも本学にて 3 年以上勤務している専任教職員である。いずれの研修も、研究活動または学位取得を目的としたもので、研修期間中の必要経費の一部または全額を学院から補助するなど、活性化に寄与している。

- ◆参考資料(36) 「教務部ハンドブック」
- ◆参考資料(37-1) 「武庫川学院在職研修規程」
- ◆参考資料(37-2) 「武庫川学院在外研修規程」
- ◆参考資料(37-3) 「武庫川学院教員国内研修規程」

#### 【特記事項について】

(1) この《VI 研究》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、教員の研究について努力していることがあれば記述して下さい。

特になし

(2) 特別な事由や事情があり、評価項目や評価の観点を求めることが実現（達成）できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

## ＜Ⅶ 社会的活動＞

### 【社会的活動（国際的活動は別項で記述）への取組みについて】

(1) 社会的活動への取組みについて、その理念や方針等、教育・研究における位置づけについて、短期大学ではどのように考え、また今後どのように取組む予定かを記述して下さい。

短期大学の使命・役割に教育と研究並びに社会への貢献がある。本学では、教育・研究の成果の公表や学生の社会活動の中で社会との文化交流等を推進することにより、教育システムを充実させている。

社会的活動への取組みについては、各学科の教員が大学の教員と共同で地域社会との連携と貢献のために各種委員への就任、公開講座や各種講演、地域イベントへの参加などを積極的に行っている。

ボランティア活動は、学生が自主的に社会貢献をする機会であり、社会の一員としての自覚をうながすと同時に学生として修得した知識を実践する機会である。また学生自身がどのように社会と関わることができるのか、どのように関わるべきであるかを自らのボランティア活動を通して学び体得する機会でもある。本学では阪神大震災でのボランティア活動の本格化を受け、卒業要件単位に含めない特別単位として、ボランティア活動の単位を認定することにより、積極的に推奨している。今後もボランティア活動の意義を十分に理解する教育の充実とともに、各地域社会で求められている各種ボランティア活動についての情報（西宮市のボランティア活動については、学内のコンピュータにより入手が可能）を学生が容易に入手できるシステムを導入する予定である。

◇添付資料(2)「スチューデントガイド 2008-For Campus Life-」p.107～p.109

(2) 社会人受け入れの状況について、生涯学習の観点から短期大学では社会人の受け入れを今後どのように考えているかを記述して下さい。

社会人の受け入れは、科目等履修生の受け入れを通じて、その体制を整えている。現在は主に資格取得を目的としている履修生が多いものの、自主学習を目的とする履修生も見受けられる。このような学生は目的意識が明確であり、他の学生にも良い刺激を与えている。今後、自主学習や生涯学習を目的とする履修生も増えてくると予想され、科目等履修生の制度を積極的に活用することにより、このような社会人の要望に応えていきたい。

(3) 過去3ヶ年(平成17年度～19年度)に短期大学が行った地域社会に向けた公開講座、生涯学習授業、正規授業の開放等の実施状況を記述して下さい。

本学は大学も併設しており、短期大学のみではなく大学との共同で地域社会に向けた活動を行っている。以下に示す内容は大学との共同で行っている活動である。

本学が独自で開設している公開講座(有料)としてオープンカレッジがある。このオープンカレッジは、上甲子園キャンパス甲子園会館で行なっている一般社会人を対象とした生涯学習講座で、6コースを開設している。各コースには複数の科目を設けており、年間約2,700人

が受講している。公開講座としては、日本語文化学科が毎年春秋 2 回行う公開学術講演会、英語コミュニケーション学科が行う年 1 回の講演会、幼児教育学科が行う年 2 回のオープンカレッジ、食生活学科が行う年 1 回の公開講座、教育研究所が行う年 1 回の学術講演会、発達臨床心理学研究所が行う年 1 回の公開講座、言語文化研究所が行う年 1 回のセミナー、生活習慣病オープン・リサーチ・センター主催の公開講座、関西文化研究センターが行う年 20 回の公開講座、高齢者栄養科学研究センターが平成 19 年に行った公開シンポジウムと健康フェスタが挙げられる。

◆参考資料(38)「武庫川女子大学オープンカレッジ講座案内」

(4) 過去 3 年(平成 17 年度～19 年度)の短期大学と地域社会(自治体、商工業、教育機関、その他団体等)との交流、連携等の活動について記述して下さい。

本学と地域社会との交流・連携等の活動は、主に地域との共同で行う公開講座や単位互換などが挙げられる。

本学が位置する鳴尾地区の財団法人鳴尾会が主催する「生涯学習鳴尾大学」への講師派遣をはじめ、兵庫県の「ひょうご震災記念 21 世紀研究機構(平成 19 年度まで、ひょうご大学連携事業推進機構)」(県内 35 大学が参加)が行う数々の講座において、講師派遣や本学主催の講座の開講を行っている。西宮市と共同したものとして「市民対象講座」及び「大学共同講座」があり、いずれへも毎年教員を派遣している。さらに西宮市とは、西宮市立総合教育センターで実施されている西宮市生涯学習大学「宮水学園」にも教員を派遣している。

### 【学生の社会的活動について】

(1) 過去 3 年(平成 17 年度～19 年度)の学生による地域活動、地域貢献あるいはボランティア活動等社会的活動の状況して下さい。

学生が自主的に行うボランティア活動に対して、卒業要件には含まれない特別単位を、30 時間につき 1 単位、各年度 4 単位を上限として与えている。ボランティア活動内容としては、中学・高校でのクラブ指導や野外活動の指導、国体準備、市民まつりの手伝いなど多岐に亘っている。特に幼稚園教諭、保育士の資格が得られる幼児教育学科では、保育園や幼稚園での園内清掃や保育補助のボランティア活動が多い。

### ボランティア活動の状況(過去3カ年)

	所属(学科)	活動人数	延活動時間	平均修得単位数	活動先
17年度	幼児教育	9	609.5	2.2	保育園(4名)幼稚園(3名)野外活動団体(2名)
	人間関係	2	129	2.0	小学校(1名)映画祭(1名)
	合計	11	738.5		
18年度	幼児教育	6	297.5	1.7	保育園(4名)幼稚園(1名)児童センター(1名)
	健康・スポーツ	9	380	1.4	高校(2名)中学校(2名)スポーツセンター(6名)
	生活造形	2	225	4.0	小学校(1名)野外活動団体(1名)
	人間関係	4	136	1.3	児童養護施設(1名)国体実行委員会(3名)
	合計	21	1038.5		
19年度	幼児教育	23	1647.5	2.4	保育園(10名)幼稚園(10名)小学校(1名)児童施設(1名)御堂公会堂(1名)
	食生活	2	166	3.0	龍野ボランティア協会(1名)野外活動団体(1名)
	日本語文化	3	209	2.3	児童養護施設(2名)小学校(1名)
	人間関係	1	90	3.0	野外活動(1名)
	合計	29	2112.5		

◇添付資料(2)「スチューデントガイド 2008-For Campus Life-」p.107～p.109

(2)短期大学では学生の地域活動、地域貢献あるいはボランティア活動等についてどのように考え、どのように評価しているか記述して下さい。

学生の地域活動やボランティア活動は、学生に社会の一員としての自覚を促し、修得した知識・技術や本人の本来持てる能力等が実践を通して深められる絶好の機会である。加えて、その結果が社会に貢献できる面もあり素晴らしい活動である。

具体例を挙げると大きく二つに分けられる。その一つは、単位認定の対象となる活動である。卒業要件の単位には含めないが、特別単位として認めるものである。この活動では、ここ数年間、20人から30人の学生が、毎年2ないし3単位の認定を受けている。学生の感想は「地域への連帯感とともに自身の満足感や達成感が味わえる。その上に成績証明書に記載されるので満足感が大きい。」ということである。

もう一つの活動は単位と関係なく行われる活動で、学生の組織である学友会の委員会や役員が呼びかけ、兵庫県赤十字血液センターの指導を得ながら自分達で運営する年3回の全学献血活動や全国の非常災害発生時に行う募金活動などがある。献血に関しては長年継続しており、本学の献血者数が通算4万人を達成したことにより、平成19年度には兵庫県赤十字血液センターから感謝状を贈呈されている。この他に地域の大学コンソーシアムが実施する「地域貢献に関わる企画」に本学の代表として参画し、地元商店街や市商工会議所から賞賛の言葉を頂いたり、アイデア商品を開発して経営者から喜ばれたりしている。

大学としては学生の活動に取り組む姿勢を評価し、今後とも学生を支援して社会人としての素養を磨く一助として活かしていきたい。

◇添付資料(1)「スチューデントガイド 2008-For Academic Studies-」p.87～p.88

**【国際交流・協力への取組みについて】**

(1) 過去3ヶ年(平成17年度～19年度)の学生の海外教育機関等への派遣(留学〈長期・短期〉を含む)の状況を記述して下さい。

各学科等が主催する短期の海外留学・研修は、いずれも大学の学生と一緒にの留学・研修であるが、短期大学の学生参加数は次表のとおりである。

**学生の海外教育機関等への派遣状況(平成17～19年度)**

主催者	行先	17年度	18年度	19年度
幼児教育学科	セント・マーチンズ大学(アメリカ)	11	22	12
生活造形学科	スペイン、フランス、ドイツ等	17	13	41
健康・スポーツ学科	ルイスクラーク大学等(アメリカ)	10	2	3
国際交流室	サンシャインコースト大学(オーストラリア)	—	4	0
兵庫県 (大学洋上セミナーひょうご)	中国、シンガポール、オーストラリア等	—	4	—

◆参考資料(32)「交換留学ハンドブック 2008」

(2) 過去3ヶ年(平成17年度～19年度)の短期大学と海外教育機関等との交流の状況を記述して下さい。

海外教育機関との交流は、短期大学部単独ではなく大学と一体となって行っている。

現在 アメリカ9大学、オーストラリア2大学、韓国2大学、中国2大学と学術教育協定を締結しており、これらの協定大学と、教員交流や国際シンポジウムの開催などを行っている。アメリカワシントン州のイースタン・ワシントン大学とは、平成6年から相互に教員を1週間程度派遣し、学生への講義や公開講座を行っている。また MFWI の近くのゴンザガ大学とは、昨年、本学教員が MFWI に滞在しながら約3ヶ月間、同大学の教員と共同研究を行った。

この他、平成16年度に開設された関西文化研究センターでは、イギリス、ドイツ、フランス、カナダ、アメリカ、中国、韓国の研究者と関西文化の国際的なあり方について共同研究を展開し、国外研究者のセミナーへの参加、国際シンポジウム、国際学術交流フォーラムを開催して国際的な共同研究としての成果を挙げている。

(3) 過去3ヶ年(平成17年度～19年度)の教職員の留学、海外派遣、国際会議出席等の状況を記述して下さい。

**教職員の留学、海外派遣、国際会議出席の状況(平成17～19年度)**

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	16	16	7

上記は、本学教員が海外において、自己の研究目的の為に資料収集や共同研究プロジェクトでの研究発表等を行った件数である。

**【特記事項について】**

(1) この《Ⅶ 社会的活動》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば高大連携等の他の教育機関との連携、外国人への日本語教育等、社会的活動について努力していることがあれば記述して下さい。

**① 高大連携について**

武庫川女子大学附属高校に対し、特別学期において大学と共同して種々高大連携を行っている。高校3年生に対しては入学前教育を、高校2年生に対しては出張講義を、各学科の設置理念・目的に応じた授業を行うことにより、生徒の進学意欲を高めるとともに、学科の選択にミスマッチが起らないようにしている。

**② 大学コンソーシアムひょうご神戸**

平成18年度に兵庫県下の29大学、8短期大学・短期大学部が加盟して発足した。本学も発足時から加盟をしており、理事校として運営に参加しているとともに、教育連携委員会の委員長校として県下の単位互換やインターンシップのシステム作りを行っている。

(2) 特別な事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現(達成)できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

## <Ⅷ 管理運営>

### 【法人組織の管理運営体制について】

(1)短期大学を設置する法人のトップである理事長は、短期大学の運営に対して適切にリーダーシップを発揮しているか、また短期大学に係る重要事項はどのような流れで決定し、その流れのなかで理事長はどのように関与しているかを、できれば理事長自身が率直に現状を記述して下さい。

最高意思決定機関としての理事会を頂点に、学長、学科長等の執行機関や副学長、教学局長等の学長補佐機関等を置き、各種の規程・規則によってその権限や役割を定めており、これまで十分な意思疎通のもとに良好な協調関係を築いている。

理事長は学院長を兼ね、設置する各学校の校務を統理し、各学校長に指導、助言できる立場にあるとともに、学長、副学長(教学局長を兼務)も理事に就任しているため、経営と教学が融合した一元的な関係を保ち、管理運営上の重要事項を審議するにあたっては教学側の意向を十分反映できる、バランスの取れた決定を行っている。

(2)過去3ヶ年(平成17年度～19年度)の理事会の開催状況(主な議案、理事の出席状況等を含む)の表(様式例あり)を開催日順に記述して下さい。加えて理事会についての寄附行為上の規定を記述して下さい。平成20年5月1日現在の理事・監事・評議員名簿等を準備し、理事の構成に著しい偏りがないことをお示し下さい。また理事会議事録は必要に応じて閲覧いたします。)

理事会については、寄附行為第17条第1項に「この法人に理事をもって組織する理事会を置く。」と規定。過去3ヶ年の理事会開催状況は下表のとおり。

### 理事会開催状況(平成17年度～19年度)

#### 【平成17年度】

回	開催日	主 な 議 案	理事 定数	出席 理事
1	4月18日	1 大学学科および大学院専攻の設置申請等	7	7
2		1 新学科、新専攻の学費等	7	7
3		1 平成16年度収支決算	7	7
4	5月30日	1 平成18年度短大等の入学検定料と諸規則の変更 2 短大食生活学科の定員変更 他	7	7
5		1 任期満了に伴う評議員の選任 2 平成18年度短大等の入学金の改定と諸規則の変更 他	7	7
6	7月4日	1 新校舎「ザ・インテグレーション」ならびに校舎新築工事指名型設計プロポーザル	7	7
7	7月25日	1 任期満了に伴う理事および評議員の選任	7	6
8		2 平成17年度兵庫県私学振興協会融資希望計画 他		
8	10月31日	1 平成18年度短大等の学費改定と学則・規定の変更	7	7
臨時	11月21日	1 短大の学位授与にともなう学則変更と短大学位規程の制定 他	7	7
9	12月19日	1 平成17年度更正予算案 他	7	7
10	2月13日	1 任期満了に伴う理事および理事長の選任	7	7
臨時		2 私立学校法改正にともなう寄附行為変更 他		
臨時	2月27日	1 学長の辞任申し出 他	7	7

回	開催日	主 な 議 案	理事 定数	出席 理事
臨時	3月6日	1 学長の選任 2 理事の選任	7	7
11	3月23日	1 寄附行為変更認可時における理事、評議員の選任区分の変更 2 平成18年4月1日付の理事、評議員の選任 3 平成18年度学則の変更および届出 他	7	7
12	3月23日	1 平成18年度事業計画ならびに予算案 2 平成19年度大学編入学の入学検定料、入学金の改定と諸規則の変更 他	7	7

【平成18年度】

回	開催日	主 な 議 案	理事 定数	出席 理事
1	4月17日	1 MFWI (アメリカ分校) に関する事項	8	8
2	5月29日	1 第3回理事会議案の事前説明	8	8
3		1 平成17年度第2回更正予算案 2 平成17年度収支決算および事業の実績報告	8	8
4		1 平成19年度短大等の入学検定料の改定と諸規則の変更 他	8	8
5	6月19日	1 任期満了に伴う評議員の選任 2 平成19年度短大等の入学金の改定と諸規則の変更 他	8	8
6	7月24日	1 MFWI (アメリカ分校) の理事の選任 他	8	8
臨時	8月2日	1 不動産の買収	8	8
7	10月30日	1 平成18年度日本私立学校振興・共済事業団融資希望計画の増額 2 平成19年度短大等の学費改定と学則・規程の変更 他	8	7
8	12月18日	1 学校教育法改正に伴う短大等の学則変更 2 平成20年度の短大等の認証評価 他	8	8
9	2月5日	1 任期満了に伴う評議員の選任 他	8	8
臨時	2月7日	1 不動産の買収	8	7
臨時	3月12日	1 学長の選任 2 任期満了に伴う理事・評議員の選任 他	8	8
10	3月26日	1 平成18年度第2回更正予算案 2 平成19年度事業計画ならびに予算案 3 平成19年度学則の変更および届出 他	8	8

【平成19年度】

回	開催日	主 な 議 案	理事 定数	出席 理事
1	5月28日	1 第2回理事会議案の事前説明	8	8
2		1 平成18年度第3回更正予算案 2 平成18年度収支決算および事業の実績報告 他	8	8
3		1 平成20年度短大等の入学検定料と諸規則の変更 他	8	8
4	6月18日	1 任期満了に伴う評議員の選任 2 平成20年度短大等の入学金と学則等の変更	8	8
5	7月23日	1 任期満了に伴う評議員の選任 他	8	8
臨時	10月1日	1 不動産の買収 他	8	8
臨時	10月17日	1 不動産の買収	8	8
6	10月29日	1 平成20年度短大等の学費改定と学則・規程の変更 他	8	8
7	12月17日	1 平成19年度固定資産の取得に伴う取崩しと第2号基本金の組入計画の実行 2 平成19年度更正予算案 他	8	8
臨時	1月29日	1 学長の辞任の申し出	8	8
臨時	2月12日	1 学長の選考 2 学長選考規程の変更 他	8	8
臨時	2月25日	1 不動産売買契約の決済日変更と当該施設の利用	8	8
10	3月25日	1 理事・評議員の選任 2 教育目標 3 平成19年度第2回更正予算案 4 平成20年度事業計画ならびに予算案 5 平成20年度学則等の変更および届出 他	8	8

※ 出席理事には委任状提出者を含む。

◇添付資料(5)「学校法人武庫川学院 寄附行為」

◆参考資料(39)「理事・監事・評議員名簿」

◆参考資料(40)「理事会議事録(平成 19 年度)」

(3)理事会の下に理事会の業務を一部委任する常任理事会、幹部会等を置いている場合は、その名称と根拠規程、理事会との関係、構成メンバー等を記述して下さい。

「常任理事会規則」に基づき、常勤の理事で構成された常任理事会を設置している。常任理事会は、「理事会業務委任規則」の定めにより、理事会の職務権限を理事会の包括的授権に基づいて決定するほか、第 3 条の各号に定めた業務の決定または審議を行う。

◆参考資料(41)「常任理事会規則」

◆参考資料(42)「理事会業務委任規則」

(4)監事の業務についての寄附行為上の規定、平成 19 年度における監事の業務執行状況について、できれば監事自身が率直に現状を記述して下さい。

寄附行為において監事の定数は 2 人又は 3 人と定め、現在外部有識者 2 人を置いている。監事の職務は、法人の業務監査、財産の状況監査、毎年監査報告書作成し理事会・評議員会に提出、理事会に出席し意見を述べるなどを規定している。

平成 19 年度の監事による監査については次のとおりである

学校法人の業務の中心である学校の運営に関しては、新学科設置、教育改革進捗状況、志願者状況をはじめ補助金等財務関連書類に基づき教育研究活動、管理運営が適正に執行されているかを確認している。また理事会・評議員会及び常任理事会の議事録等を閲覧し、適法性の観点に限らず法人の運営上必要な承認手続き等が適正に行われているかの監査を実施している。期中監査や決算監査時には、公認会計士との面談を行い、監査業務の役割分担や監査内容等の意見交換を実施している。

毎回理事会・評議員会に原則出席し、理事会の業務執行状況や、評議員会の学校法人の重要事項(土地買収取引など)について諮問を受ける機関が適正な運営が行われているか等を監査している。

学校法人の財産の状況については、毎会計年度終了後、公認会計士による会計監査との連携を図りながら監事監査を行っている。決算監査時には、理事会へ監査報告書を提出し、評議員会において監査結果を報告している。

(5)平成 19 年度の評議員会の開催状況(主な議案、評議員の出席状況等を含む)を開催日順に記述(表形式、様式例あり)し、評議員会についての寄附行為上の規定を記述して下さい。

評議員会については、寄附行為第 21 条第 1 項に「この法人に、評議員会を置く。」と規

定。

平成 19 年度の開催状況は下表のとおり。

回	開催日	主 な 議 案	定数	出席 評議員
1	5月28日	1 平成18年度第3回更正予算 他	19	19
2		1 平成18年度収支決算および事業の実績報告 2 平成20年度短大等の入学検定料の改定 他	19	19
3	6月18日	1 平成20年度短大等の入学金の改定	19	19
4	7月23日	1 平成20年度附属幼稚園納付金の改定	18	19
5	10月29日	1 平成20年度短大等の学費改定 他	19	19
6	12月17日	1 平成19年度固定資産の取得に伴う取崩しと第2号基本金の組入計画の 実行 2 平成19年度更正予算案 他	19	19
7	3月25日	1 平成19年度第2回更正予算案 2 平成20年度事業計画ならびに予算案 他	19	19

※ 出席評議員には委任状提出者を含む。

(6) 法人の管理運営について今後改善や変更をしたいと考えている事項があれば記述して下さい。また法人が抱えている問題あるいは課題について差し支えのない範囲で記述して下さい。

法人の管理運営の重要性に鑑み、法令遵守・説明責任等をこれまで以上に果たしていくとともに、全ての理事が法人の運営に責任を持って参画し、さらに機動的な意思決定ができる体制に充実させたい。また経営の安定を図るため、法人全体の消費支出超過額を解消し、財政基盤の強化を図っていききたい。

#### 【教授会等の運営体制について】

(1) 短期大学の教育・研究上のトップである学長は、短期大学の教育活動全般について適切にリーダーシップを発揮しているか、また短期大学に係る教育・研究上の事項はどのような流れで決定し、その流れのなかで学長はどのように関与しているかを、できれば学長自身が率直に現状を記述して下さい。なお学長選考規程等があれば訪問調査の際に拝見することがありますのでご準備下さい。

学長は、理事会業務委任規則第4条及び学則第4条の規定により、教育・研究に関する学務を掌理する責任者として、常に副学長や学科長等と緊密な連携を取り合い、それぞれが担う機能を適切に分担しつつ、その職責を果たしている。意思決定のプロセスは、各学科や各種委員会からの提案を受けて、教授会や評議会、また人事委員会での審議を経るが、十分な意思疎通を図った上で決定している。また理事にも就き、法人の管理運営にもかかわっており、常に経営と教学の融合した一元的な関係の保持に努めている。

◇添付資料(3)「武庫川女子大学短期大学部 学則」

◆参考資料(42)「理事会業務委任規則」

◆参考資料(43)「武庫川女子大学学長選考規程」

(2)教授会についての学則上の規定(教授会で議すべき事項等を含む)、平成19年度における開催状況(主な議案、構成メンバー、出席状況等を含む)を年月日の順に記述して下さい。なお、学則を添付して下さい。

1 [短期大学部学則(抜粋)]

第48条 本学に教授会を置く。

第49条 教授会は、学長、副学長及び専任教授をもって組織する。ただし、学長が必要と認めるときは、専任の准教授、講師及び助教を加えることができる。

2 教授会は、学長が招集し、その議長となる。

第50条 教授会は、次の事項を審議する。

- (1) 教育課程に関する事項
- (2) 学生の入学・再入学・転学科・転学・退学・休学・復学・除籍及び卒業に関する事項
- (3) 学生の単位認定に関する事項
- (4) 学生の生活指導に関する事項
- (5) 科目等履修生及び特別聴講生の取扱いに関する事項
- (6) その他、短期大学部に関する事項

第51条 本学に短期大学部評議会(以下「評議会」という。)を置く。

第52条 評議会は、学長の申請に基づき理事長が任命した次に掲げる評議員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 各学科長
- (4) 共通教育科長
- (5) 教育研究所長
- (6) 附属図書館長
- (7) その他、学長が必要と認めた者

2 評議会は、学長が招集し、その議長となる。

第53条 評議会は、次の事項を審議する。

- (1) 学則その他重要な規程の制定改廃に関する事項
- (2) 教員人事の方針に関する事項
- (3) 教育研究予算の基本方針に関する事項
- (4) 学科の設置廃止に関する事項
- (5) 学務に関する全般的事項
- (6) 学生定員に関する事項
- (7) 学生の入学及び卒業の基準に関する事項
- (8) 学生の賞罰に関する事項
- (9) 教育、研究に関する事項
- (10) その他、短期大学部の運営に関する重要事項

### 教授会開催状況(平成 19 年度)

月	日	主な議案	定員	出席者
4	3	1 学籍異動について 2 科目等履修生について	54	51
5	2	1 学籍異動について	54	53
6	6	1 学籍異動について	54	51
7	4	1 学籍異動について 2 平成 19 年度後期所属変更試験の合否判定について	54	49
8	21	1 学籍異動について 2 後期科目等履修生について	54	51
9	14	1 学籍異動について	55	52
10	3	1 学籍異動について 2 9 月 30 日付卒業判定について	55	53
10	18	1 2008 年度自己推薦入試の合否判定について 2 学籍異動について	55	50
11	7	1 学籍異動について	55	54
11	12	1 2008 年度推薦入試の合否判定について(公募制・推薦入試・指定校推薦入試及びスポーツ推薦入試)	55	42
12	5	1 学籍異動について	55	55
2	5	1 2008 年度一般入試 A 及び附属高校入学試験合否判定について 2 平成 20 年度前期所属変更試験合否判定について	55	50
2	6	1 学籍異動について	55	53
2	18	1 2008 年度一般入試 B・D 入学試験合否判定について 2 学籍異動について 3 平成 20 年度前期所属変更試験合否判定について	55	37
3	5	1 学籍異動について 2 原級留置願について	55	53
3	13	1 卒業判定・諸資格取得判定について 2 学籍異動について 3 2008 年度一般入試 C 入学試験合否判定について	55	48

### 評議会開催状況(平成 19 年度)

月	日	主な議案	定員	出席者
4	3	1 審議事項 (1) 2008 年度 入学試験 入試内容・出願期間等(案)について (2) 大学学位規程の一部改正について(案) 2 報告事項 (1) 英語力の向上について	15	15
5	2	1 審議事項 (1) 特別学期特別教育科目運営基本計画(案)について (2) 2008 年度 入学試験 入試区分毎の募集人員および出願期間等(案)について (3) 短大基準協会の認証評価について 2 報告事項 (1) 平成 18 年度特別学期担当コマ数一覧表(担当者別) (2) 共通教育科目前期開講及び履修登録状況 (3) 平成 19 年度前期受講者僅少科目について	15	15
6	6	1 報告事項 (1) 平成 19 年度 科学研究費補助金の採択状況について (2) ひょうごオープンカレッジについて (3) 「点検・評価報告書」の作成について	15	14
7	4	1 報告事項 (1) 鳴松会・学科ニュース発刊のご依頼 (2) 学院 70 年史編集について	15	13
9	14	1 報告事項 (1) 大学設定基準等の一部を改正する省令等の施行について (2) 点検・評価報告書の取りまとめについて	15	14
10	3	1 審議事項 (1) 平成 20 年度学年暦について(案) (2) 中学校及び高等学校教職課程科目の時間割の固定化(案) 2 報告事項 (1) 共通教育科目 後期開講及び履修登録状況	15	14
10	18	1 審議事項 (1) 短期大学基準協会による第三者評価を受けるにあたっての今後の進め方	15	13

月	日	主な議案	定員	出席者
11	7	1 報告事項 (1) 平成 19 年度 後期 受講者僅少科目について (2) 来年度からの初期演習について (3) 中学校及び高等学校教職課程科目の時間割の固定化について (4) 地域別教育懇談会保護者出席状況について (5) 平成 20 年度 シラバスの点検について(依頼) (6) FD 推進委員会の設置について	15	14
1	9	1 報告事項 (1) 特別学期 特別教育科目における外部委託講座について (2) 平成 20 年度 非常勤講師懇談会 学科別講師懇談会について	15	15
2	6	1 審議事項 (1) 短大基準協会の「第三者評価」への取り組みについて 2 報告事項 (1) 短大全学英語科目「英語会話」の開設について 3 その他 (1) 募金計画と趣意書の骨組み(案)	15	12
3	5	1 審議事項 (1) 学則・履修規程等の一部改正について (2) 授業評価アンケートについて 2 報告事項 (1) 教育目標について (2) 平成 20 年度 収容定員一覧	15	13

人事委員会は、「武庫川女子大学短期大学部人事委員会規程」に基づき、短大教育職員の任用、昇格等に関する事項を審議する。なお教員の選考基準は、「武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部教育職員選考規程」に明記している。

#### 短期大学部人事委員会開催状況(平成 19 年度)

回数	月	日	主な議案	定員	出席者
1	5	2	平成 19 年度採用予定 短大専任教育職員の資格審査について	18	14
2	1	16	(1) 平成 20 年度新規採用予定 短大嘱託教育職員の資格審査について (2) 平成 20 年度採用予定(嘱託から専任へ任用換え)短大専任教育職員の資格審査について	18	15
3	2	6	(1) 平成 20 年度新規採用予定 短大嘱託教育職員の資格審査について (2) 平成 20 年度 専任教育職員の所属変更について (3) 平成 20 年度 嘱託教育職員の所属変更について	18	14

◇添付資料(3)「武庫川女子大学短期大学部 学則」

◆参考資料(44)「武庫川女子大学短期大学部人事委員会規程」

◆参考資料(9)「武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部教育職員教育職員選考規程」

(3) 学長もしくは教授会の下に教育・研究上の各種の委員会等を設置している場合は、その名称と根拠規程、主な業務、構成メンバー、平成19年度の開催状況等を記述して下さい。

番号	委員会名	構成員	主な審議事項	開催回数	根拠規程
1	短大評議会	学長、副学長、各学部長、共通教育科長、教育研究所長、附属図書館長、その他学長が必要と認めたる者	学期その他重要な規程の制定改廃・教員人事の方針に関する事項、教育研究予算の基本方針に関する事項、学科の設置廃止に関する事、学生定員・学生の入学及び卒業の基準に関する事項、学生の賞罰に関する事項	11	武庫川女子大学短期大学部評議会規程
2	短大教授会	学長、副学長、専任教授、学長が必要と認めるときは専任の准教授、講師、助教	教育課程に関する事項、学生の学籍に関する事項、単位認定に関する事項、生活指導に関する事項、科目等履修生及び特別聴講生の取扱いに関する事項	16	武庫川女子大学短期大学部教授会規程
3	短大人事委員会	学院長、学長、副学長、専任教授	教授・准教授・専任講師及び助手の任用並びに昇格等に関する事項	3	武庫川女子大学人事委員会規程
4	英語力向上委員会	教育職員8名	主に短大学生の英語力向上に向けた検討	9	
5	短大英会話科目開設準備委員会	教育職員4名、事務職員6名	短大英会話教育に関する検討	2	
6	教務部常任委員会	教学局長、教務部長、教務部次長、教務部常任委員、教務課長補佐	教務関係諸規程の制定・改廃、教務部内規の制定・改廃、学年層等授業運営、教育計画、履修及び試験に関する事	21	
7	教務委員会	学科教務委員・教務部常任委員会のメンバー・学部事務長	授業及び試験欠、代替履修、試験の不正行為、科目等履修生受入れ	22	
8	共通教育委員会	共通教育部長、共通教育委員会常任委員、共通教育委員	共通教育の教育課程編成、共通教育の教育課程の実施に関する事項等	15	武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部共通教育委員会規程
9	広報入試委員会	入試センター長、次長、常任委員、課長、センター長代理、広報入試委員	入学者選抜実施方法、入試実施計画、入試広報企画、入試実施	12	
10	学生部常任委員会	教学局長、学生部長、次長、課長、常任委員	学友会活動に関する諸問題。運動部及び文化部活動全般に関する諸問題・学生の生活全般にわたるマナー・マールールの指導、対外試合に係わる公欠の審議	18	
11	学生委員会	教学局長、学生部長、次長、課長、常任委員、学生委員	学友会活動に関する諸問題。運動部及び文化部活動全般に関する諸問題・学生の生活全般にわたるマナー・マールールの指導	18	
12	キャリアセンター常任委員会	キャリアセンター長、次長、支援課長、常任委員、常勤顧問	キャリアガイダンス計画・実施・検討、就職支援、就職相談	10	
13	就職問題連絡協議会	キャリアセンター長、次長、支援課長、常任委員、常勤顧問、各学部・学科代表委員、諸資格指導室・運学部事務室	キャリアセンター及び各学部で実施する各進路・就職支援の実施・検討	1	
14	諸資格指導室常任委員会	諸資格指導室長、次長、課長、常任委員、教職専門員	教育実習履修判定及び成績評価、教育実習/日程・引率等、聴講制度による教職課程間の科目履修、資格課程科目のカリキュラム、教員採用試験、課程履修資格判定、諸資格取得判定、インターンシップ、諸資格指導室の運営方針・重点目標	18	
15	諸資格対策委員会	諸資格指導室長、次長、課長、常任委員、教職専門員、(参与)	教育実習履修判定及び成績評価、教育実習/日程・引率等、聴講制度による教職課程間の科目履修、資格課程科目のカリキュラム、教員採用試験、課程履修資格判定、諸資格取得判定、インターンシップ、諸資格指導室の運営方針・重点目標	16	
16	図書館委員会	図書館長、薬学分館長、学科幹事教授、教務部長、経理部長	附属図書館開館スケジュールに関する事、機関リポジトリに関する事、卒業論文保管の見直しに関する事、選書に関する事、図書館利用に関する事	6	
17	学生相談センター専門委員会	学生相談センター長、カウンセラー、センター長代理	相談センターの運営、相談事例についての対処方法、研修出張の内容、KSCAの運営	38	武庫川学院の事務分掌に関する規程
18	情報教育研究センター常任委員会	センター長、センター常任委員、助手、事務職員 計8名	情報教育研究センターの業務に係わる事項全般	41	武庫川女子大学情報教育研究センター規程
19	情報処理教育委員会	委員長(センター長)、各学部・学科の専任教員から委嘱された委員 計16名	全学の情報処理教育及びカリキュラムの総合的な企画並びに調整、情報処理教育に関する教材整備、情報処理教育に関する将来計画の策定、立案並びに調整・研究	9	武庫川女子大学・武庫川女子短期大学部情報処理教育委員会規程
20	武庫川学院キャンパスネットワーク運営委員会	委員長(センター長)、大学・研究所・関係部署から委嘱された委員 計16名	学院キャンパスネットワーク利用に関する電磁データの取扱い、IDの申請及び発行、ホームページなど情報の作成及び運用、運用規約及び運用細則に関する事項	9	武庫川学院キャンパスネットワーク運営委員会規程
21	教学局会議	教学局長、教務部長、教務部次長、教務課長、学生部長、学生部次長、学生課長、学生相談センター長、キャリアセンター長、キャリアセンター次長、キャリア支援課長、入試センター長、入試センター次長、入試センター庶務課長、諸資格指導室長、諸資格指導室次長、指導課長	教学局内に関する諸課題全般	10	
22	人権教育推進委員会	人権教育・障害児教育担当・各学科及び附属中高代表教職	本年度にかかる具体的研究・研修内容の決定	2	
23	国際交流室常任委員会	国際交流室長・次長・課長・常任委員ア	海外の大学との協定、夏季短期留学生受入制度、交換留学制度、来学者対応 等	13	
24	国際研究交流委員会	国際研究交流委員	海外の協定大学との研究者交流	4	
25	交換留学委員会	国際交流常任委員、教務部常任委員、国際交流室長	交換留学派遣候補学生の選考、交換留学受入候補学生の審議	4	
26	武庫川女子大学・同短期大学部研究倫理委員会	5名以上で構成(うち2名は外部委員とする)	研究責任者から申請された研究計画に基づいて、倫理的・社会的観点から審査を行う。	5	武庫川女子大学・同短期大学部研究倫理委員会規程
27	教育改革推進委員会	学長、学院長、副学長、学部長、共通教育部長、事務局長、事務局次長、教務部長、入試センター長、情報教育研究センター長、法人室長、法人室次長、教務部次長、教務課長補佐	カリキュラムに係わる事全般について	9	
28	武庫川女子大学FD推進委員会	教務部長を含む、教育職員16名、事務職員3名	FD推進委員会の今後の方向性 等	3	武庫川女子大学FD推進委員会規程

(4)短期大学の運営全般について抱えている問題あるいは課題について差し支えがない範囲で記述して下さい。

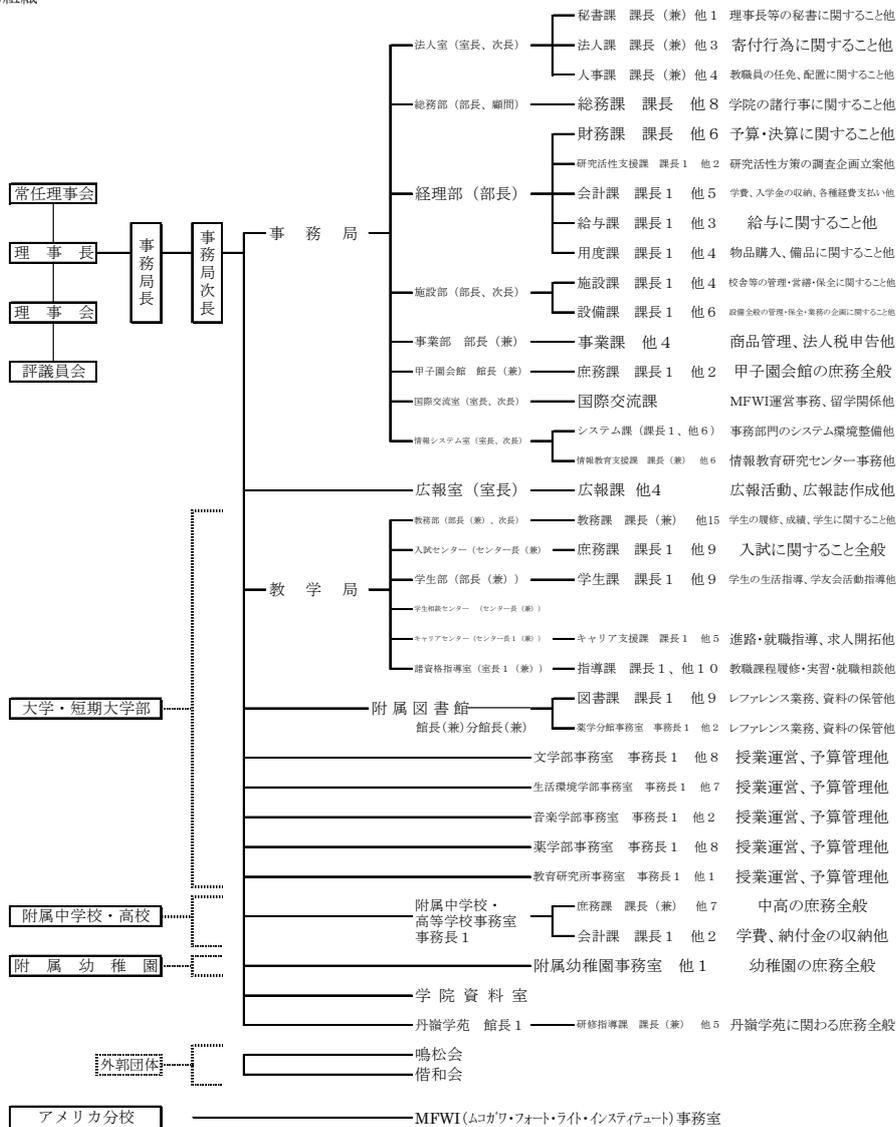
特になし

【事務組織について】

(1)現在の法人全体の事務組織図を記載し、その中に短期大学の事務部門を記入して下さい。また組織図には短期大学の事務部門の役職名(課長、室長相当者以上。兼職の有無を含む)、各部門の人員(専任・兼任を別を含む)、各部門の主な業務を含めて記入して下さい。また事務組織が使用している部屋等は、機器・備品を含めて訪問調査の際に案内いただきます。

本学の事務組織は下図の通りである。

事務組織



(2) 事務職員の任用(役職者の任免を含む)について現状を訪問調査時にご説明下さい。

「人事評価制度ハンドブック」に基づき、主に人事評価の結果により昇進昇格等、任用を決定している。

◆参考資料(45)「人事評価制度ハンドブック」

(3) 事務組織について整備している諸規程名を列記して下さい。なお諸規程等は訪問調査の際に拝見することがありますのでご準備下さい。

◆参考資料(46-1)「武庫川学院の事務組織に関する規則」

◆参考資料(46-2)「武庫川学院の事務分掌に関する規程」

(4) 決裁処理の概要と流れ、また公印や重要書類(学籍簿等)の管理、防災の状況、情報システムの安全対策等の現状を記述して下さい。

決裁は、「文書の処理要領」(平成 13 年 4 月 1 日改定)に従い、起案文書を作成して行うことを原則としている。起案文書は、起案用紙を用いて担当部課が作成する。複数の部署に関係のある事案は、最も関係の深い所属において起案を行う。起案文書の内容が他の所属に関係のある場合は、関係の所属に合議を行う。合議欄の所属の記載は、関係の深い順又は組織順にする。合議の起案文書の回付を受けた場合は、すみやかに必要な処理を行い、起案した所属に返付する。起案文書で決裁を終えたときはすみやかに施行する。

公印は、「武庫川学院公印取扱規程」(平成 17 年 4 月 1 日改定)に従い管理責任者を指定し、この管理責任者が必要に応じて取扱責任者を定めて公印の保管、使用などの取り扱いに当たらせている。

学籍簿は、鍵のかかる書庫に収納し、近年度分は教務課室内に、過年度分は別建物の倉庫に収納している。またすべての学籍簿をマイクロフィルム化して、学院金庫に保管している。

防災については、「武庫川学院災害対策本部規程」(平成 10 年 7 月 6 日制定)を制定し、緊急事態に人的並びに物的被害を軽減させることを目的とした体制を整えている。その他、毎年、非常招集連絡表を作成、配付して緊急時の連絡体制も整えている。

情報システムについては、全学的なセキュリティ委員会を組織するほか、学内ネットワーク上の情報漏えいを防ぐためファイヤーウォールを設置、利用者 ID・パスワードを設定することでシステム利用者の限定及び利用権限を設定している。また障害対策としてサーバの二重化も実施している。専用サーバ室には IC カード認証による入退管理を行っている。

◆参考資料(47)「文書の処理要領」

◆参考資料(48)「武庫川学院公印取扱規程」

◆参考資料(49)「武庫川学院災害対策本部規程」

(5) 事務職員は教員や学生から支持され信頼されているか、できれば事務組織の責任者(事務局長等)が現状を率直に記述して下さい。

各所に意見箱等を設置し学生の意向を集めており、学生満足度調査や各クラスの幹事懇談会、教務部のカウンター対応アンケート調査等の実施からも、概ね事務職員の対応は良好という結果が出ている。学生対応のための研修受講を積極的に奨励し、履修相談、資格取得に関する相談、キャリアガイダンス等の進路支援等の業務を行っている。今後も学生対応において、「親切・丁寧な対応(指導)」を心がけていく。

また教員との関係も良好で、教員、事務職員が協同で取り組むプロジェクトも活性化しており、協力体制は取れている。

(6) 事務組織のスタッフ・デベロップメント(SD)活動(業務の見直しや事務処理の改善等、授業改善を支援する職員等の研修等、事務職員の能力開発、内部研修、外部への研修等)の現状を記述して下さい。

短大を取りまく厳しい状況の中で、環境変化に機敏に対応し、様々な改革に着手できる人材を育成することは重要である。事務職員に対する研修機会は、人事課主催の各種集合研修(年間7回程度)のほか、各課予算で受講する職能別研修、個人単位で受講する自己啓発研修があり、業務に支障をきたさない範囲で研修を推奨している。

キャリア形成やSDの一環として、学院独自の制度で、「在職研修制度」がある。本学院で3年以上勤務し、かつ研修開始年度の4月1日現在で50歳以下の者が条件となっている。3年以内に大学院等の課程を修了することができれば、その入学金や授業料、論文審査料の補助をする。

OFF-JTでは、私立大学情報教育協会や大学コンソーシアム、大学行政管理学会、日本経営協会等からの研修も事務局内にWebで公開し参加を呼びかけており、多くの事務職員が参加している。

(7) 短期大学の事務組織が抱えている問題あるいは課題について差し支えがなければ記述して下さい。

本学は、大学と短期大学を併設しており、事務組織について大きな問題は見当たらない。

### 【人事管理について】

(1) 教職員の就業について、現在、短期大学が抱えている問題あるいは課題について差し支えない範囲で記述して下さい。なお教職員の就業についての規程(就業規則、給与規程等)を訪問調査の際にご準備下さい。

業務内容の多様化、複雑化により、教職員の業務が増加している。中でも、事務職員の業

務負担が大きくなっていることから、時間外勤務削減が課題のひとつとなっている。今後、組織改編や業務の見直しを進めていく必要がある。

(2) 法人(理事長及び理事会等)と短期大学教職員の関係について、できれば理事長及び学長がそれぞれ記述して下さい。

教育職員である学長、副学長が常任理事を兼務していることから、理事会での決定事項等、経営に関することも教授会等の教学部門へ、また教授会・評議会での教育研究に関する事項についても、理事会にフィードバックされるなど、情報の共有化が図られており、連携協力体制が確立されている。

(3) 教員と事務職員との関係について、できれば学科長等及び事務局長がそれぞれ記述して下さい。

教員と事務職員との関係は良好で、お互いに協力体制がとられている。今後は、SD を含め、事務職員の専門性の向上と業務の効率化を図り、教員と事務職員との協力関係だけでなく、お互いに意見交換が活発にできるような関係をさらに築いていく。

(4) 教職員の健康管理、就業環境の改善、就業時間の順守等の現状を率直に記述して下さい。

教職員の健康管理は、保健センターが行っている。定期健康診断の実施、その結果、再検査の職員には職務専念義務を免除するなど、検査を受けやすい環境を整えている。また職員全員に産業医との面談を課すなど、健康相談も行っており、就業を制限する必要がある職員には、総務課長、保健センター職員、人事課長、産業医とで面談を行ったうえで、就業を許可している。

就業環境については、教員には研究室が1人1室あり、空調管理も行き届いている。職員に対しても、業務のシステム化が近年急速に行われたこともあり、ほぼ1人1台パソコンがある。

就業時間は就業規則に定めており、教育職員は、月～金が 9:00～17:10、土 9:00～13:20 で、週 2 日を研究日に充てることができるとしている。事務職員は月～金 8:50～17:20、土 8:50～13:10 と定めており、出退勤は出勤簿により管理している。

◆参考資料(50)「武庫川学院職員就業規則」

**【特記事項について】**

(1)この《Ⅷ 管理運営》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、管理運営について努力していることがあれば記述して下さい。

特になし

(2)特別な事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現(達成)できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

## <IX 財務>

### 【財務運営について】

(1) 学校法人もしくは短期大学において「中・長期の財務計画」を策定している場合は、計画の名称、策定した経緯等を簡潔に記述して下さい。なお中・長期の財務計画は訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。

創設以来 経営と教学が一体となり、立学の精神に基づく教育目標を掲げて、中長期的な将来計画については常任理事会を核として審議し、新学科設置計画、教育改革等の実質化を図ってきた。

中長期的な将来計画の適切な策定には、財政的な検証が不可欠である。しかしながら、今日の短期大学を巡る社会経済環境の変化は、予想を超えて激しく厳しい状況下にあるので、これまで以上に経営と教学が一体となり、短期大学の充実発展に取り組んでいく。

(2) 学校法人及び短期大学の毎年度の事業計画及び予算決定に至る過程、手続を簡潔に記述して下さい。

事業計画の立案、予算編成及び手続きは、毎年 10 月に行う次年度予算編成基本方針の学内通知から始まる。本学では予算の執行機関として重要な役割を担う事務局予算担当課（経理部財務課）が、学院総合予算と部局別予算に分けて予算編成作業を行い、学内各予算部門の予算要求を一元的かつ包括的に取りまとめて予算編成することになっている。

年度事業計画と予算の決定過程、手続きは次のとおりである。

- ・ 学内の各学部学科、中高・幼稚園、事務局各部署の予算部門がそれぞれ当該部門の予算申請書類を事業概要書(含む中長期)及び教育計画・研究計画・管理運営に区分する事業・勘定科目別予算総括表として取りまとめて作成する
- ・ これらの予算要求は、入学見込数や教職員見込数を基本資料として整え、積算の要求内容の精査、過年度実績、現場ヒアリングなどにより優先順位付け・金額査定を行い、本学の予算の審議機関となる予算会議を経て部門別予算案として取りまとめている。
- ・ 新規事業については、教育目標・事業効果・規模の適切性など事業内容を検討し費用対効果により予算化を図っている。継続事業については、点検評価しスクラップアンドビルドにより経費節減に努めている。また各学科の事業計画と本学重点施策事業には、予算ヒアリング(理事長・学長・副学長・事務局長から構成)により予算審議を経て、経営目標と教育研究計画のすり合わせを行っている。
- ・ 学院総合予算の編成においては、先ず部局別予算を基にして収入予算・支出予算の原案を作成し、合わせて財政状況を見ながら全体調整に努めて、消費収支の改善に取り組んでいる。
- ・ 部局別予算案は常任理事会において審議し決定される。その上で、学院総合予算の編成に入り法人全体の総合予算案として予算の編成を行う。法人全体の総合予算案は、3月に開催する評議員会の意見を聞き理事会において決定する。

(3) 決定した予算の短期大学各部門への伝達方法、予算執行に係る経理、出納の業務の流れを必要な承認手続きを含めて簡潔に記述して下さい。なお経理規程等の財務諸規程について、整備している規程名を列記して下さい。財務諸規程は訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。

#### ① 予算の確定と各部門への伝達

理事会で決定された学院総合予算は、本学の予算執行機関である予算担当課において、学校会計基準に従い年度当初予算として勘定科目ごとに学院財務会計システムに入力する。部門別予算は、この段階でサブシステム予算管理システムに決定済み部門別予算として既に入力されている

部門別予算については、予算単位別、部門別に構成された予算体制下で、各部門に予算責任者(学科長、部・室長)を置いており、当該部門予算の伝達は、予算担当課から予算責任者を通じて各部署の申請部門に予算配賦の通知文書によりこれを行う。

#### ② 予算執行に係る業務の流れ

予算通知を受けた各部署では、予算執行留意事項に従い、本学経理規程に基づく適正かつ効率的な予算の執行に努めている。具体的には各部署で作成された物品購入等各種申請書は、当該部門の予算担当者による点検、予算取扱責任者・予算責任者の承認を経てすべて本学経理部(図書など主管課委任を除く)に提出する。

経理部は、見積書等根拠資料の確認、支出科目の妥当性を判断の上予算管理システムに入力し、学内決裁権限の範囲で回付され決裁を受ける。各部署では、物品購入等各種申請書の決裁承認の連絡を受け、月初めに予算担当課からの予算執行状況報告書及び予算差引簿等の配付を受けて、予算執行状況を最終確認して事業別勘定科目別に事業計画の実施が把握できる仕組みとしている。

#### ③ 出納業務の流れ

各部署で申請され承認・実行された事業(経費支出を含む)については、予算管理データとして前述した財務会計システムへ連携し、経理部においてそのデータ及び関連書類を精査し、納入先への業者支払い手続きから起票・元帳作成までの電算作業を行い、予算執行業務・支払い業務に関する出力帳票を点検し、会計処理の適正化に努めている。

(4) 過去3ヶ年(平成17年度～19年度)の公認会計士監査状況の概要を開催日順に記述(表形式、様式例あり)して下さい。公認会計士の監査と監事がどのように連携しているか、また公認会計士から指摘を受けた事項があれば、その対応について記述して下さい。

#### ① 過去3ヶ年の公認会計士監査状況の概要

私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づく監査法人による会計監査、私立学校法第37条第3項に基づく監事による業務監査を行っている。

過去3ヶ年の公認会計士監査状況の概要(開催日順)は次のとおりである。

年	月	日	概 要
17	5	16-18	平成 16 年度期末監査
17	6	6-8	平成 16 年度期末監査
17	6	22	期中監査
17	8	5	期中監査
17	9	22	期中監査
17	10	18	期中監査
17	11	29	期中監査
17	12	26	期中監査
18	2	3	期中監査
18	3	7	期中監査
18	5	16-18	平成 17 年度期末監査
18	6	5-7	平成 17 年度期末監査
18	7	7	期中監査
18	8	4	期中監査
18	9	27	期中監査
18	10	17	期中監査
18	11	20	期中監査
18	12	26	期中監査
19	2	14	期中監査
19	3	2	期中監査
19	5	14-16	平成 18 年度期末監査
19	6	5-7	平成 18 年度期末監査
19	7	11	期中監査
19	8	6	期中監査
19	9	12	期中監査
19	10	16	期中監査
19	11	17	期中監査
19	12	26	期中監査
20	2	14	期中監査
20	3	10	期中監査

公認会計士による期中監査は、原則毎月実施し、学校法人会計基準・経理規程等に基づき各種申請書類・会計帳簿・予算の執行状況・固定資産の取得内容等を点検・確認し、監査を実施している。期中監査では、会計上の諸問題を早期解決する場としても活用しており、決算時の監査では監事との意見交換により、監査の精度が毎年高くなっている。

## ② 会計士の監査と監事との連携

公認会計士による会計監査と監事による業務監査の連携については、期中監査や決算監査時において公認会計士と監事の面談を随時に行い、監査業務の役割分担や監査内容等の意見交換を実施している。

監事 2 名は、毎回理事会・評議員会に出席し、理事会の業務執行状況や、評議員会の学校法人の重要事項について諮問を受ける機関が適正な運営を行っているか等を監査している。また学校法人の財産の状況については、毎会計年度終了後、公認会計士による会計監査との連携を図りながら監事監査を行っており、決算監査時には、理事会へ監査報告書を提出し、評議員会において監査結果を報告している。

(5) 財務情報の公開は今までのどのように行ってきたか。また私立学校法第 47 条第 2 項に基づき、財務情報の公開をどのように実施しているか。それぞれの概要を記述して下さい。

平成 14 年度より学院の財政情報（資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表及び概要説明）を学院広報に公開し、教職員が情報を共有することで学院の財政状況に対する理解を深め、学院の目指す方向を共有することとしている。

平成 16 年度に私立学校法の一部が改正され、財務書類・事業報告書等を閲覧に供することが義務付けられたことを契機に、平成 17 年 4 月 1 日に「学校法人武庫川学院書類閲覧に関する規則」を制定し、教職員やその他の利害関係者からの請求に応じて広く閲覧に供することとし、必要な財務書類等を総務部において閲覧できるようにしている。また詳細な説明が求められる場合には、経理部財務課において対応することとしている。

平成 19 年度には、財務情報を記載した資料「平成 18 年度決算の概要」を、在学生に対して発行している「虹」に添え、保護者に対しては大学機関紙の「学園通信」に添えて配付した。

また卒業生・受験生・地域社会等に対しては、平成 20 年 3 月に本学ホームページにおいて公開した。

◆参考資料(51)「平成 18 年度決算の概要」

(6) 寄附行為に基づき、どのような基本方針で資金等の保有と運用を考えているか簡潔に記述して下さい。なお資金等の保有と運用に関する規程等が整備されていれば、訪問調査の際に参考資料として拝見いたしますのでご準備下さい。

寄附行為に基づき、経理規程及び経理規程施行細則その他資金運用規程により、長期的な総合収益の確保を目指して効率的に運用することが求められ、安全確実に運用を行い、財政の安定を実現することを最優先の課題としている。

資産の運用は、確実な有価証券を購入し、または確実な金融機関に信託若しくは預貯金として、安全性を重視し元本を確保する方針で行っている。具体的には奨学基金・国際交流基金等運用果実を必要とする特定資産については、債券運用を中心とした 10 年のラダー型運用を基本に米国債も一部組み入れながら、運用益の確保に努めている。第 2 号基本金または退職給与・減価償却等引当特定資産については、信託銀行と包括信託の契約締結した委託運用や市場動向を見ながら運用成績の向上を図る目的で、特定金銭信託の自主運用などを行っている。

(7) 寄附金・学校債の募集を行っていればその概要を記述して下さい。なお寄附金・学校債の募集についての印刷物等を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

平成 20 年度において、「創立 70 周年記念事業募金」を実施することが決定され、学院一体となって取り組み、①教育改革と研究の高度化、②学生生徒園児の学園生活の充実、③地球環境に配慮した施設設備の整備 を三本柱とする事業を計画してその事業資金に充当

するため、広く学院関係者に賛同される記念事業・企画を展開することとしている。寄附金募集先は、個人では教職員・卒業生・保護者を中心に、法人では取引先企業をはじめ就職・採用先等関係企業としている、

なお、学校債の募集は行っていない。

◆参考資料(52)「創立70周年記念事業募金」趣意書

**【財務体質の健全性と教育研究経費について】**

(1) 過去3ヶ年(平成17年度～19年度)の資金収支計算書・消費収支計算書の概要を、別紙様式1にしたがって作成し、添付して下さい。

◇添付資料(6)「資金収支計算書・消費収支計算書の概要(過去3ヶ年)」

(2) 平成20年3月31日現在の貸借対照表の概要を、別紙様式2にしたがって作成し、添付して下さい。

◇添付資料(7)「貸借対照表の概要」

(3) 財産目録及び計算書類(資金収支計算書、資金収支内訳表・人件費支出内訳表・消費収支計算書・消費収支内訳表・貸借対照表・固定資産明細票・借入金明細表・基本金明細表)について、過去3ヶ年(平成17年度～19年度)分を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

◆参考資料(53)「財産目録及び計算書類(平成17年度～19年度分)」

(4) 過去3ヶ年(平成17年度～19年度)の短期大学における教育研究経費比率(消費収支計算書の教育研究経費を帰属収入で除した比率)を、小数点以下第2位を四捨五入1位まで求め記述(表形式、様式例あり)して下さい。

**教育研究経費比率(平成17年度～19年度)**

区分	17年度	18年度	19年度
教育研究経費支出(千円) (a)	5,968,902	6,171,798	6,315,390
帰属収入(千円) (b)	18,838,324	19,286,386	19,293,817
教育研究経費比率(%) (a)/(b)	31.7	32.0	32.7

## 【施設設備の管理について】

(1) 固定資産管理規程、図書管理規程、消耗品及び貯蔵品管理規程等、施設設備等の管理に関する諸規程を、財務諸規程と含めて一覧表として示して下さい。なお整備した諸規程を訪問調査の際に参考資料としてご準備下さい。

	自己点検・評価項目	本学の規則・規程など
1	財務諸規程 消耗品及び貯蔵品 管理規程等	武庫川学院経理規程
2		武庫川学院経理規程施行細則
3		武庫川学院固定資産及び物品管理規程
4		武庫川学院物品購入規程
5	図書管理規程	武庫川女子大学附属図書館規程
6		図書館資料収集・管理規程
7		図書館利用規程
8	施設設備等の管理に 関する諸規程	武庫川学院学舎等管理規程
9		武庫川学院上甲子園キャンパス甲子園会館運営規程
10		武庫川学院公江記念講堂管理規程
11		武庫川学院北摂キャンパス丹嶺学苑運営規程
12		北摂キャンパス丹嶺学苑使用細則
13		武庫川学院名塩野外活動センター使用規程
14		武庫川学院公江記念総合グラウンド使用規程
15		武庫川学院レルヘンヒュッテ使用規程
16		武庫川学院施設使用に関する規程
17		武庫川学院上甲子園キャンパス甲子園会館使用細則
18		武庫川学院研究室使用細則

- ◆参考資料(54-1) 「武庫川学院経理規程」
- ◆参考資料(54-2) 「武庫川学院経理規程施行細則」
- ◆参考資料(54-3) 「武庫川学院固定資産及び物品管理規程」
- ◆参考資料(54-4) 「武庫川学院物品購入規程」
- ◆参考資料(55-1) 「武庫川女子大学附属図書館規程」
- ◆参考資料(55-2) 「図書館資料収集・管理規程」
- ◆参考資料(55-3) 「図書館利用規程」
- ◆参考資料(56-1) 「武庫川学院学舎等管理規程」
- ◆参考資料(56-2) 「武庫川学院上甲子園キャンパス甲子園会館運営規程」
- ◆参考資料(56-3) 「武庫川学院公江記念講堂管理規程」
- ◆参考資料(56-4) 「武庫川学院北摂キャンパス丹嶺学苑運営規程」
- ◆参考資料(56-5) 「北摂キャンパス丹嶺学苑使用細則」
- ◆参考資料(56-6) 「武庫川学院名塩野外活動センター使用規程」
- ◆参考資料(56-7) 「武庫川学院公江記念総合グラウンド使用規程」
- ◆参考資料(56-8) 「武庫川学院レルヘンヒュッテ使用規程」
- ◆参考資料(56-9) 「武庫川学院施設使用に関する規程」
- ◆参考資料(56-10) 「武庫川学院上甲子園キャンパス甲子園会館使用細則」
- ◆参考資料(56-11) 「武庫川学院研究室使用細則」

(2)火災等の災害対策等、以下の危機管理対策について現状を簡潔に記述して下さい。

- ① 火災等の災害対策
- ② 防犯対策
- ③ 学生、教職員の避難訓練等の対策
- ④ コンピュータのセキュリティ対策
- ⑤ 省エネ及び地球環境保全対策

#### ① 火災等の災害対策

学内各建物に消防設備を設置し、消防法に基づいた定期点検を行っているほか、「武庫川学院防火管理規程」に基づいて組織・対策の体制を整えている。

#### ② 防犯対策

大学内に入出できる箇所を限定し、各箇所(門)に守衛を配備しているほか、守衛勤務時間外の対応として電子錠を設置して IC カード認証により通行を許可するシステムを稼働している。また夜間・休日は、外部業者に警備を委託しており、加えて夜間には赤外線センサーによる侵入者警報システムも稼働させている。

#### ③ 学生、教職員の避難訓練等の対策

事務職員を対象に防火訓練を実施しているほか、各学寮でも避難訓練を行い、特に火気への対応が必要な部門(学科)では教員を中心に部分訓練を行っている。

#### ④ コンピュータのセキュリティ対策

関連規約、ガイドラインを整備し、利用講習会の受講を義務付けている。加えて事務各部署には情報管理責任者、情報管理担当者を定めて定期的に説明会を実施している。学内 LAN のインターネット接続にはファイアーウォールを設置するとともに、パソコン及びサーバにはウイルス対策ソフトを導入している。

#### ⑤ 省エネ及び地球環境保全対策

省エネ対策として、高効率の照明器具へ順次更新を行っている。エコ活動としてリサイクル古紙の回収や学内文書封筒のリサイクル使用などを行っているほか、地球環境保全教育プロジェクトを結成、平成 20 年 5 月 14 日に武庫川女子大学環境宣言を行うこととしている。

◆参考資料 (57)「武庫川学院環境宣言」(武庫川学院報第 337 号より抜粋)

#### 【特記事項について】

(1)この《IX 財務》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、財務管理について努力していることがあれば記述して下さい。

特になし

(2)特別な事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現(達成)できないときはその事由や事情を記述して下さい。

特になし

## <X 改革・改善>

### 【自己点検・評価について】

(1)短期大学では自己点検・評価を、短期大学の運営のなかでどのように位置づけているか。また自己点検・評価を実施するための組織、規程等の整備状況を記述して下さい。また今後、自己点検・評価をどのように実施しようと考えているかについても記述して下さい。

学則第4条に「本学は、その教育研究水準の向上を図り、第1条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、教育研究の改善に努める。」と規定。平成3年11月1日に武庫川女子大学短期大学部自己評価委員会規則を定め、自己評価委員会を設置している。当該委員会は、教育研究活動について、自己点検及び自己評価を実施するための基本方針を審議することを目的としており、構成員は2年の任期を定め、学長名で発令する常設機関であり、今後も学則及び委員会規則に則って自己点検・評価活動を実施していく。

◆参考資料(58)「武庫川女子大学短期大学部自己評価委員会規則」

(2)過去3ヶ年(平成17年度～19年度)の自己点検・評価報告書の発行状況を記述して下さい。またその報告書の配付先の概要を記述して下さい。なお過去3ヶ年(平成17年度～19年度)にまとめられた自己点検・評価報告書を訪問調査の際にご準備下さい。

これまで報告書は発行していない。

### 【自己点検・評価の教職員の関与と活用について】

(1)平成19年度までに行った自己点検・評価に関わった教職員の範囲を記述して下さい。また今後、どのような教職員の関わり方が望ましいと考えているかを記述して下さい。

本学での自己点検・評価活動は全学を挙げて行っており、自己評価委員会のメンバーをはじめとして、学科長や法人室・経理部・教務部・学生部等の関係教職員が関与しており、今後も全教職員が関わる全学的な体制で自己点検・評価活動を行っていく。

(2)平成19年度までに行った自己点検・評価結果の活用についてその実績を記述して下さい。また今後、自己点検・評価の結果をどのように活用しようと考えているかについても記述して下さい。

授業評価アンケート調査や満足度アンケート調査を全学挙げて実施してきているが、その実績等は既述のとおりである。そのほか、様々な取り組み等については、117～118 ページの【特記事項について】(1)に記述する。

### 【相互評価や外部評価について】

(1)平成 19 年度までに行った相互評価及び外部評価の概要を示し、評価結果の活用についてその実績を記述して下さい。

これまでは実施していない。

(2)相互評価や外部評価を実施するための組織、規程等の整備状況を記述して下さい。また今後、相互評価や外部評価をどのように実施しようと考えているかについても記述して下さい。

組織は、既述の自己評価委員会で行うことになるが、相互評価等の実施については、今回の第三者評価の結果を受けて検討したい。

### 【第三者評価（認証評価）について】

(1)第三者評価を実施するための学内組織の概要を記述して下さい。

組織は、既述の自己評価委員会で行う。

(2)第三者評価に当たって短期大学の決意を述べて下さい。理事長、学長、各部門の長及び ALO(第三者評価連絡調整責任者)がそれぞれ記述されても結構です。

来る平成 21 年に学院創立 70 周年を迎えるにあたり、その前年度に全学挙げて第三者評価を受けることによって、今後一層の改革を推し進めたい。そのため大学・大学院についても平成 20 年度 大学基準協会の「大学評価」を受けるための自己点検・評価活動を並行して行っている。

### 【特記事項について】

(1)この《X 改革・改善》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、例えば評価に関する教職員への研修の実施等、当該短期大学が改革・改善について努力していることがあれば記述して下さい。

本学では、自己評価委員会のみならず、学院挙げて改善・改革に取り組んでいるが、その概要は次のとおり。

常任理事会では、平成 13 年 11 月に今後の学院の進むべき方向を定め、さらに充実・発展に資する諸施策に取り組んでいく方針を打ち出し、平成 10 年度の大学基準協会への「相互評価」において全学挙げて取り組んだ自己点検・評価の結果から、改善すべき課題やその後要望される新規の計画や構想、新たな問題等を積極的に拾い上げ、「武庫川学院の課題」として整理した上で、約 250 項目に及ぶテーマを丹念、かつ精力的に審議し、改善・改革

に向けた取り組みを継続的に行っている。さらに平成 19 年 2 月の常任理事会では、短大の“さらなる活性化”についての検討が諮問され、大学附置の教育研究所が中心となって検討がなされている。

自己評価委員会では、平成 14 年度及び平成 17 年度に在学生満足度アンケート調査の実施とその結果を受けた改善改革に取り組むほか、平成 19 年 3 月に日本私立学校振興・共済事業団私学経営相談センターより講師を招き、全国の短大及び本学の置かれている状況の研修会を常任理事、専任教員及び役職付の事務職員を対象に開催している。

また教育のさらなる活性化を図る観点から、平成 16 年 6 月に「授業活性化に関する支援プロジェクト」を組織し、授業の取り組みに関するアンケートを実施し、平成 17 年 6 月に報告書をまとめた。さらには、平成 17 年 6 月に授業の工夫事例・アイデア等に関するアンケート結果の報告書を作成し、これらの結果はいずれも、評議会や教授会等で説明するとともに、報告書を教職員に配布し、周知を図るほか、平成 18 年 6 月には学長を中心とした「教育改革推進委員会」を設置し、学科設置の趣旨及び人材養成の目的に照らし、現在のカリキュラムや諸制度が真に学生のためのものになっているかどうかについて、カリキュラムの適正化・スリム化など諸改革に取り組んでいる。

◆参考資料(59)「授業の取り組みに関するアンケート 集計報告書」

◆参考資料(60)「授業の工夫事例・アイデア等に関するアンケート 集計報告書」

(2)特別な事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現(達成)できないときはその事由や事情を記述して下さい。
---

特になし

### ＜将来計画の策定（自由記述）＞

この「将来計画の策定」は自由記述です。したがって、必ずしも記述する必要はありません。しかし短期大学の現在を理解するためには、将来どのような方向に向かおうとしているのかを知ることが重要です。その意味で、短期大学の将来計画(中期・長期計画)がありましたら、差し支えない範囲で記述して下さい。

本項目に関して、現時点における長期将来計画は存在していない。本学では、短大が置かれた状況について年次的推移を見ながら、柔軟に問題点を明らかにし、必要と判断された場合には即時改革がなされてきている。したがって、近い将来における、短期大学部の4年制化、共学化、学科増設などの計画はなされていないと言えよう。

本学の基本方針は、女子短期大学を存続させるというものである。そのことが、本学の歴史と伝統を守り、日本の高等教育の多様性を維持することにつながると考えるからである。

もちろん、今後の18歳人口の減少加速や、女子高校生の4年制大学、特に共学大学志向などへの対応も含め、中・長期的展望に立った将来計画が本学にも必要である。4年制大学、4年制共学大学、専門学校と比較したとき、女子短期大学に期待されているものはなにかを、総合的に検討し、その期待にそった改革が求められている。

これらを受け、過去5年にわたり教育研究所を中心として、調査研究が進められている。今後これらに基づいた中・長期計画の策定がなされることになると考えている。

**財団法人 短期大学基準協会による  
第三者評価のための「自己点検・評価報告書」**

**添 付 資 料**

- 添付資料(1) 「スチューデントガイド2008-For Academic Studies-」
- 添付資料(2) 「スチューデントガイド2008-For Campus Life-」
- 添付資料(3) 「武庫川女子大学短期大学部 学則」
- 添付資料(4) 「キャンパスガイド 2009」
- 添付資料(5) 「学校法人武庫川学院 寄附行為」
- 添付資料(6) 「資金収支計算書・消費収支計算書の概要」 (過去3ヶ年)
- 添付資料(7) 「貸借対照表の概要」

**武庫川女子大学短期大学部「自己点検・評価報告書」 参考資料**

資料番号	資料名	備考
参考資料(1)	「校祖の日」配布資料	
参考資料(2)	「教育目標と教育目的」(武庫川学院報第336号より抜粋)	
参考資料(3)	「履修便覧(平成20年4月入学生用)」	
参考資料(4)	「共通教育要覧2008」	別綴
参考資料(5)	「シラバス2008」(全学科)	別綴
参考資料(6-1)	「学生による授業評価アンケート 質問・回答用紙」	
参考資料(6-2)	「平成19年度後期 授業評価アンケート結果集計表」	
参考資料(7)	「武庫川女子大学FD推進委員会規程」	
参考資料(8)	「教員個人調書」	
参考資料(9)	「武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部教育職員選考規程」	
参考資料(10)	「各階教室平面図」	
参考資料(11)	「武庫川学院安全衛生委員会規程」	
参考資料(12)	「図書館利用案内2008」	
参考資料(13)	「武庫川女子大学短期大学部履修規程」	
参考資料(14)	「学生満足度アンケート在学生アンケート2002 報告書」	
参考資料(15)	「在学生満足度アンケート調査 結果報告書(平成17年度)」	
参考資料(16)	「エクステンション講座案内2008」	
参考資料(17)	「キャリアガイドブック」	
参考資料(18)	「学科別サブパンフレット」(全学科)	
参考資料(19)	「入試案内2009」	
参考資料(20-1)	「公募制推薦入試・一般入試 学生募集要項」	
参考資料(20-2)	「指定校推薦入試 学生募集要項」	
参考資料(20-3)	「外国人留学生指定校推薦入試 学生募集要項」	
参考資料(20-4)	「武庫川女子大学附属高等学校用 学生募集要項」	
参考資料(20-5)	「自己推薦入試 学生募集要項」	
参考資料(20-6)	「スポーツ推薦 学生募集要項」	
参考資料(21)	「入学ガイド 2008」	
参考資料(22)	「合格者の皆さんと保護者の方へ」	
参考資料(23)	広報誌「リビエール」	
参考資料(24)	広報誌「リバーサイド」	
参考資料(25)	「学科からのメッセージ」(全学科)	
参考資料(26)	「特別学期特別教育科目履修便覧」	別綴
参考資料(27)	「MUSES利用案内」	
参考資料(28)	「平成20年度前期時間割」(全学科)	
参考資料(29)	「学生相談センターパンフレット」	
参考資料(30)	「虹 第83号(2008春)」(学生部発行)	
参考資料(31)	「武庫川学院個人情報保護及び管理に関する規程」	
参考資料(32)	「交換留学ハンドブック2008」	
参考資料(33)	「武庫川女子大学短期大学部科目等履修生規程」	
参考資料(34)	「武庫川女子大学紀要」	別綴
参考資料(35)	「武庫川女子大学科学研究費補助金学内奨励金規程」	
参考資料(36)	「教務部ハンドブック」	
参考資料(37-1)	「武庫川学院在職研修規程」	
参考資料(37-2)	「武庫川学院在外研修規程」	
参考資料(37-3)	「武庫川学院教員国内研修規程」	
参考資料(38)	「武庫川女子大学オープンカレッジ講座案内」	
参考資料(39)	「理事・監事・評議員名簿」	
参考資料(40)	「理事会議事録」(平成19年度)	別綴

資料番号	資料名	備考
参考資料(41)	「常任理事会規則」	
参考資料(42)	「理事会業務委任規則」	
参考資料(43)	「武庫川女子大学学長選考規程」	
参考資料(44)	「武庫川女子大学短期大学部人事委員会規程」	
参考資料(45)	「人事評価制度ハンドブック」	
参考資料(46-1)	「武庫川学院の事務組織に関する規則」	
参考資料(46-2)	「武庫川学院の事務分掌に関する規程」	
参考資料(47)	「文書の処理要領」	
参考資料(48)	「武庫川学院公印取扱規程」	
参考資料(49)	「武庫川学院災害対策本部規程」	
参考資料(50)	「武庫川学院職員就業規則」	
参考資料(51)	「平成18年度決算の概要」	
参考資料(52)	「創立70周年記念事業募金」趣意書	
参考資料(53)	「財産目録及び計算書類(平成17年度～19年度分)」	
参考資料(54-1)	「武庫川学院経理規程」	
参考資料(54-2)	「武庫川学院経理規程施行細則」	
参考資料(54-3)	「武庫川学院固定資産及び物品管理規程」	
参考資料(54-4)	「武庫川学院物品購入規程」	
参考資料(55-1)	「武庫川女子大学附属図書館規程」	
参考資料(55-2)	「図書館資料収集・管理規程」	
参考資料(55-3)	「図書館利用規程」	
参考資料(56-1)	「武庫川学院学舎等管理規程」	
参考資料(56-2)	「武庫川学院上甲子園キャンパス甲子園会館運営規程」	
参考資料(56-3)	「武庫川学院公江記念講堂管理規程」	
参考資料(56-4)	「武庫川学院北摂キャンパス丹嶺学苑運営規程」	
参考資料(56-5)	「北摂キャンパス丹嶺学苑使用細則」	
参考資料(56-6)	「武庫川学院名塩野外活動センター使用規程」	
参考資料(56-7)	「武庫川学院公江記念総合グラウンド使用規程」	
参考資料(56-8)	「武庫川学院レルヘンヒュッテ使用規程」	
参考資料(56-9)	「武庫川学院施設使用に関する規程」	
参考資料(56-10)	「武庫川学院上甲子園キャンパス甲子園会館使用細則」	
参考資料(56-11)	「武庫川学院研究室使用細則」	
参考資料(57)	「武庫川学院環境宣言」(武庫川学院報第337号より抜粋)	
参考資料(58)	「武庫川女子大学短期大学部自己評価委員会規則」	
参考資料(59)	「授業の取り組みに関するアンケート 集計報告書」	
参考資料(60)	「授業の工夫事例・アイデア等に関するアンケート 集計報告書」	